

**測定記録支援システム BLuE
Windows 版 ユーザーズマニュアル**

第4版

**2025 年 1 月 27 日
株式会社アネステック**

目次

1	製品概要	1
2	動作条件	1
3	システム仕様	1
4	測定器の確認	2
5	用語集	7
6	インストール/アンインストール方法	7
7	操作フロー	8
8	各アプリの画面とボタンの説明	10
9	事前準備	13
9.1	Excel 帳票、CAD 図面の準備	13
9.2	測定器のペアリング	13
9.3	測定器側の事前設定	17
9.4	測定ポイントの作成(AutoCAD のみ)	21
10	起動/連携する	22
10.1	BLuE の起動	22
10.2	起動/連携する(Excel)	23
10.2.1	Excel の起動	23
10.2.2	試験記録表を読み込む	23
10.2.3	BLuE と Excel を連携する	23
10.3	起動/連携する(AutoCAD)	24
10.3.1	AutoCAD の起動	24
10.3.2	CAD 図面を読み込む	24
10.3.3	BLuE と AutoCAD を連携する	25
11	接続/切断する	26
11.1	測定器と接続する	26
12	測定する	32
12.1	測定を行う(Excel)	32
12.2	測定を行う(AutoCAD)	38

13 終了する	44
13.1 試験記録表・図面を保存する	44
13.2 BLuE を終了する	44
14 その他	44
14.1 BLuE の設定	44
14.2 Excel の設定	53
14.3 AutoCAD の設定	54
15 FAQ	90

1 製品概要

当システムは、各種測定器で測定した測定値を無線通信によって Windows PC で受信します。
Excel や AutoCAD と連携し帳票上・図面上で指定した箇所に測定値を直接入力することができます。

2 動作条件

使用する Windows PC の動作条件は以下となります。

CPU	1GHz 以上
メモリ	8GB 以上推奨
HDD	20GB 以上

※当システムを使用する上での注意点

ライセンス認証を行う際は、インターネットへの接続が必要です。

ライセンス認証成功後、30日間はオフラインで起動できます。

3 システム仕様

当システムは、下記環境で動作させる事を前提とします。

OS	Microsoft Windows10/Microsoft Windows11
OS バージョン	20H2、21H1、21H2
Excel バージョン	2013~2019
通信方式	Bluetooth 4.0 以降 (Bluetooth Low Energy)

4 測定器の確認

当システムは下表に示す測定器に対応しています。ご使用の測定器が対応しているか確認してください。

機種名	メーカー	種類	備考
AF101	アリアテクニカ株式会社	風速温度計	
AF111	アリアテクニカ株式会社	風速温湿度計	
BT3554-50	日置電機株式会社	バッテリーテスタ	測定器本体のほか、Bluetoothアダプタ「Z3210」が別途必要
CD-AXシリーズ ※1	株式会社ミットヨ	デジタルノギス	測定器本体のほか、接続ユニット「02AZF300」Bluetoothアダプタ「U-WAVE-TCB」が別途必要
CEM3-BTS ※2	株式会社東日製作所	トルクレンチ	
CM4371-50	日置電機株式会社	クランプメータ	測定器本体のほか、Bluetoothアダプタ「Z3210」が別途必要
CM4373-50	日置電機株式会社	クランプメータ	
CM4375-50	日置電機株式会社	クランプメータ	
CM4376	日置電機株式会社	クランプメータ	
DCL31DRBT	三和電気計器株式会社	クランプメータ	
DDM-102L3/L5	株式会社ディジ・テック	デジタルメジャー	
DLC470BT	三和電気計器株式会社	クランプメータ	
DTC-N-REV ※3	株式会社中村製作所	トルクレンチ	測定器本体のほか、接続ユニット「02AZD790E」Bluetoothアダプタ「U-WAVE-TCB」が別途必要

機種名	メーカー	種類	備考
DT4261-50	日置電機株式会社	デジタルマルチメータ	測定器本体のほか、Bluetoothアダプタ「Z3210」が別途必要
FT3425	日置電機株式会社	照度計	
FT6380-50	日置電機株式会社	接地抵抗計	測定器本体のほか、Bluetoothアダプタ「Z3210」が別途必要
GAシリーズ ※4	大崎電気工業株式会社	電力量計	測定器本体のほか、「C-EM6用赤外線通信機器(TP-BT)」が別途必要
GDCシリーズ ※5	新潟精機株式会社	デジタルノギス	測定器本体の他、「BluetoothBOX」が別途必要
IES-5000/5000R ※6	柴田科学株式会社	室内環境測定器	
IR4052-50	日置電機株式会社	デジタル絶縁抵抗計	測定器本体のほか、Bluetoothアダプタ「Z3210」が別途必要
IR4055-11	日置電機株式会社	PV用デジタル絶縁抵抗計	
ISA-101	柴田科学株式会社	風速温度計	
ISA-111	柴田科学株式会社	風速温湿度計	
KDM30	株式会社クローネ	圧力計	
KEW2433RBT	共立電気計器株式会社	クランプリーカ	
KEW3441BT	共立電気計器株式会社	絶縁抵抗計	
KEW3552BT	共立電気計器株式会社	デジタル絶縁抵抗計	
KEW4105DLBT	共立電気計器株式会社	接地抵抗計	
KEW4300BT	共立電気計器株式会社	簡易接地抵抗計	
KEW4500BT	共立電気計器株式会社	コンセントテスタ	
KEW4505BT	共立電気計器株式会社	コンセントテスタ	

機種名	メーカー	種類	備考
KEW5204BT	共立電気計器株式会社	照度計	
KEW6041BT	共立電気計器株式会社	絶縁接地抵抗計	
LR8514	日置電機株式会社	温湿度計	
M-1140X	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1140XR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1141X	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
M-1141XR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MCL-800DX	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MCL-800DXR	マルチ計測器株式会社	クランプリーカ	
MDC-MXシリーズ ※7	株式会社ミットヨ	マイクロメータ	測定器本体のほか、 接続ユニット 「02AZF310」 Bluetoothアダプタ 「U-WAVE-TMB」 が別途必要
MET-10X	マルチ計測器株式会社	接地抵抗計	
MPOR-FP-BT	株式会社フィッシャー・ インストルメンツ	膜厚計	
NLシリーズ ※8	リオン株式会社	騒音計	測定器本体のほか、 三工社製 Bluetoothアダプタ 「BA-01」が 別途必要
PD3259-50	日置電機株式会社	検相器	測定器本体のほか、 Bluetoothアダプタ 「Z3210」が 別途必要
PM300BT	三和電気計器株式会社	デジタルマルチメータ	
PTA-BT ※9	株式会社東日製作所	バッテリー式 トルクドライバ	
SK-110TRH-B	株式会社 佐藤計量器製作所	温湿度計	

機種名	メーカー	種類	備考
SSC-650/ SSC-750/ SSC-850	株式会社テクロック	デジタルノギス	
SSD-215	株式会社テクロック	デジタルデプスゲージ	
SSM-750/ SSM-850	株式会社テクロック	デジタルマイクロメータ	
STC2-BT ※10	株式会社東日製作所	トルクドライバ	
TKR12M	レッキス工業株式会社	満水試験器Ⅲ型 (みるみるくん)	
TKR12P	レッキス工業株式会社	圧力試験器Ⅲ型 (みるみるくん)	
6006-BT	日本カノマックス 株式会社	風速計	

注記

- ※1 BLuE に対応している「CD-AX シリーズ」は、
【CD-10AX、CD-15AX、CD-20AX、CD-30AX、CD-15AXW、CD-15AXWW、
CD-20AXW、CD-20AXWW、CD-15AXR】となります。
- ※2 BLuE に対応している「CEM3-BTS」は、
【CEM10N3X8D-BTS、CEM20N3X10D-BTS、CEM50N3X12D-BTS、CEM100N3X15D-BTS、
CEM200N3X19D-BTS、CEM360N3X22D-BTS、CEM500N3X22D-BTS、
CEM850N3X32D-BTS】となります。
- ※3 BLuE に対応している「DTC-N-REV」は、
【DTC-N10REV、DTC-N50REV、DTC-N100REV、DTC-N200REV、DTC-N300REV、
DTC-N500REV、DTC-N1000REV】となります。
- ※4 BLuE に対応している「GA シリーズ」は、
【A1GA-RLS31、A2GA-RLS31、A3GA-RLS31、A1GA-TLN2r、A2GA-TLN2r、A3GA-TLN2r、
A1GA-TLN2、A2GA-TLN2、A3GA-TLN2、A1GA-TLN1、A2GA-TLN1、A3GA-TLN1、
A1GA-TLN1r、A2GA-TLN1r、A3GA-TLN1r、A1GA-TLN11、A2GA-TLN11、A3GA-TLN11、
A1GA-TLN11r、A2GA-TLN11r、A3GA-TLN11r】となります。

- ※5 BLuE に対応している「GDC シリーズ」は、
【GDCS-100、GDCS-150、GDCS-200、GDCS-300、GDCS-150W、GDCS-200W、
GDCS-300W、GDCS-150CD、GDCP-100、GDCP-150、GDCP-200、GDCP-300、
GDCT-100、GDCT-150、GDCT-200、GDCT-300、GDCS-150P、GDCS-200P、
GDCS-150B、GDCS-150NP、GDCS-200NP、GDCS-150F、GDCS-100WR、
GDCP-150MU、GDCP-200AA、GDCP-200TA、GDCP-150A、GDCP-150A2、
GDCS-150T、GDCS-150IR、GDCP-150IT、GDCP-150I、GDCP-150I2、
GDCS-150IK、GDCS-200IK、GDCS-150IK2、GDCS-200IK2、GDCS-125H】
となります。
- ※6 測定器本体のみを購入すると、基本測定として、【温度(℃)、湿度(%rh)、CO(ppm)、
CO2(ppm)、気流(m/s)】ができますが、
そのほか、別途付属品を購入することにより、以下の測定ができます。
粉じん測定：「粉じん計 LD-2I」
低位置用温度測定：「低位置用温度計 IES3000/4000/5000 用 LTM-1 型」
放射熱測定：「黒球温度計 IES-4000/5000 用 GTM-1 型」
照度測定：「デジタル照度計 CANA-0010S 型（接続用ケーブル付）」
騒音測定：「普通騒音計 NL-27 型(検定なし or 検定あり) + 騒音計ケーブル NL-27 型接続用」
- ※7 BLuE に対応している「MDC-MX シリーズ」は、
【MDC-25MX、MDC-50MX、MDC-75MX、MDC-100MX、MDC-25MXT、MDC-50MXT】
となります。
- ※8 BLuE に対応している「NL シリーズ」は、
【NL42A、NL52A、NL62A】となります。
- ※9 BLuE に対応している「PTA-BT」は、
【PTA5N-BT、PTA10N-BT】となります。
- ※10 BLuE に対応している「STC2-BT」は、
【STC50CN2-BT、STC200CN2-BT、STC400CN2-BT】となります。

5 用語集

本書で使用する用語の説明です。

- BLuE
測定器の接続管理、測定結果を各入力先アプリケーション(Excel・AutoCAD)に受け渡すアプリケーション。
- Excel アドイン
BLuE を使用するうえで必要な機能の提供、AP コントローラから Excel へ測定結果を受け渡すために必要なアドイン。
- AutoCAD アドイン
BLuE を使用するうえで必要な機能の提供、AP コントローラから AutoCAD へ測定結果を受け渡すために必要なアドイン。

6 インストール/アンインストール方法

インストール/アンインストール方法については、別紙「インストール手順書」を参照してください。

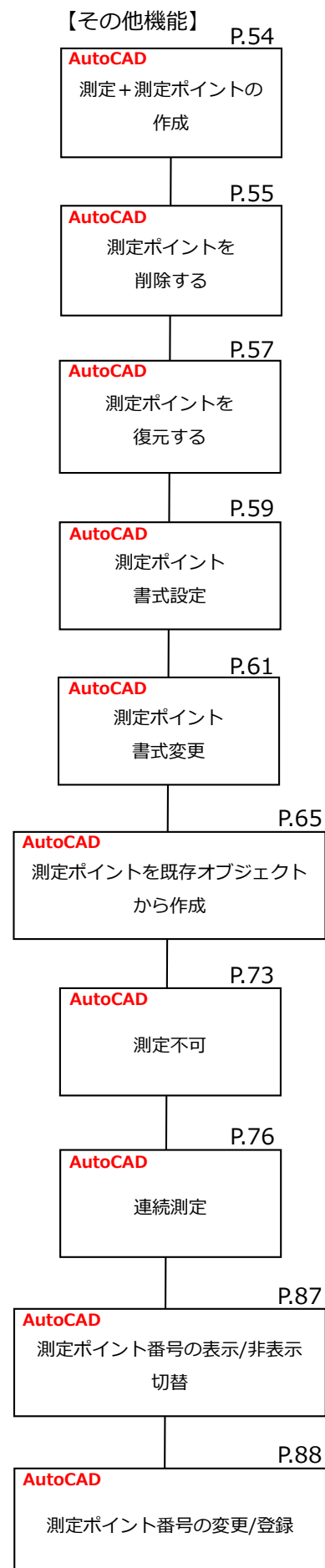
サイト URL : [BLuE for Windows - BLuE \(smart-blue.net\)](http://smart-blue.net)

7 操作フロー

「BLuE」と「Excel」



「BLuE」と「AutoCAD」



8 各アプリの画面とボタンの説明

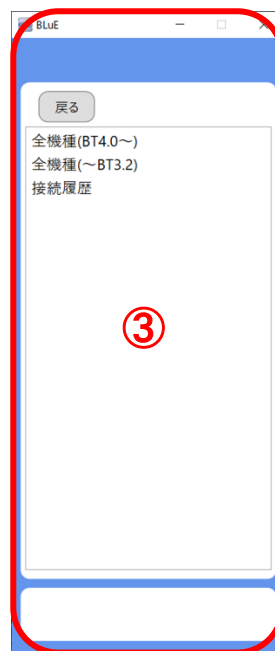
当システムは、

「BLuE」と「Excel」

「BLuE」と「AutoCAD」

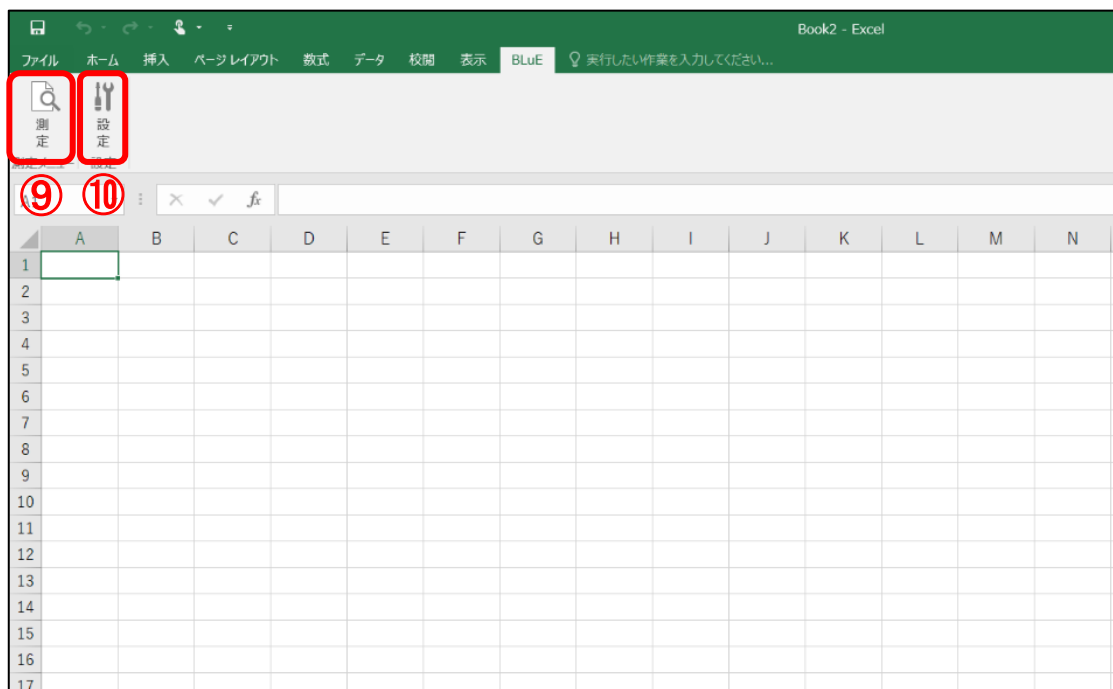
を組み合わせতেご利用ください。以下にアプリの画面とボタンについて説明します。

【BLuE】



No.	リボンメニュー	機能内容
①	設定ボタン	本ボタン押下後、設定画面へ遷移します。
②	測定器接続ボタン	本ボタン押下後、③測定器選択画面へ遷移します。
③	測定器選択画面	接続する測定器の Bluetooth 規格を確認し、選択します。 詳細については、P.26「11.1 測定器と接続する」を参照してください。
④	測定器リスト	一度接続した測定器の情報を表示し、2回目以降はリストに表示している測定器の「接続」ボタン押下で接続できます。
⑤	測定値表示画面	現在接続されている測定器の情報を表示します。
⑥	個別設定ボタン	本ボタン押下後、接続されている測定器の各種設定ができます。
⑦	測定値入力ボタン	本ボタン押下後、測定値が入力されます。
⑧	既連携入力先アプリケーション表示画面	現在連携している入力先アプリケーションを表示します。

【Excel アドイン】



No.	リボンメニュー	機能内容
⑨	測定ボタン	本ボタン押下後、AP コントローラと連携し、測定ができます。
⑩	設定ボタン	本ボタン押下後、設定画面へ遷移します。

【AutoCAD アドイン】



No.	リボンメニュー	機能内容
⑪	測定ボタン	本ボタン押下後、AP コントローラと連携し、測定ができます。
⑫	測定種別ボタン	測定種別を選択できます。
⑬	新規ポイントの作成ボタン	本ボタン押下後、任意の箇所を選択すると、測定ポイントが作成されます。
⑭	既存オブジェクトの指定ボタン	(コンセントテストのみ) Tfas 等で作成したコンセントシンボルを自動的に測定ポイントとして指定します。
⑮	測定ポイントの削除ボタン	本ボタン押下後、削除したい測定ポイントを選択すると、削除できます。
⑯	測定ポイントの復元ボタン	本ボタン押下後、復元したい測定ポイントを選択すると、復元できます。
⑰	ポイント書式編集ボタン	本ボタン押下後、任意の測定ポイントを選択すると、ポイントの大きさや色、形状等の各種設定変更ができます。
⑱	測定不可ボタン	(コンセントテストのみ) コンセントシンボルの色変更ができます。
⑳	表示切替ボタン	順番リスト番号の表示/非表示を切り替えます。
㉑	順番リスト登録ボタン	順番リストを登録します。
㉒	連続測定ボタン	順番リストに従い、連続測定を行います。

9 事前準備

Windows PC、測定器の基本的な操作については本書では説明しません。それぞれのマニュアルを参照してください。

9.1 Excel 帳票、CAD 図面の準備

測定で使用する帳票・図面を使用するWindows PC にコピーして保存します。

9.2 測定器のペアリング

以下の測定器に限り、事前に Windows PC とのペアリング作業を実施してください。

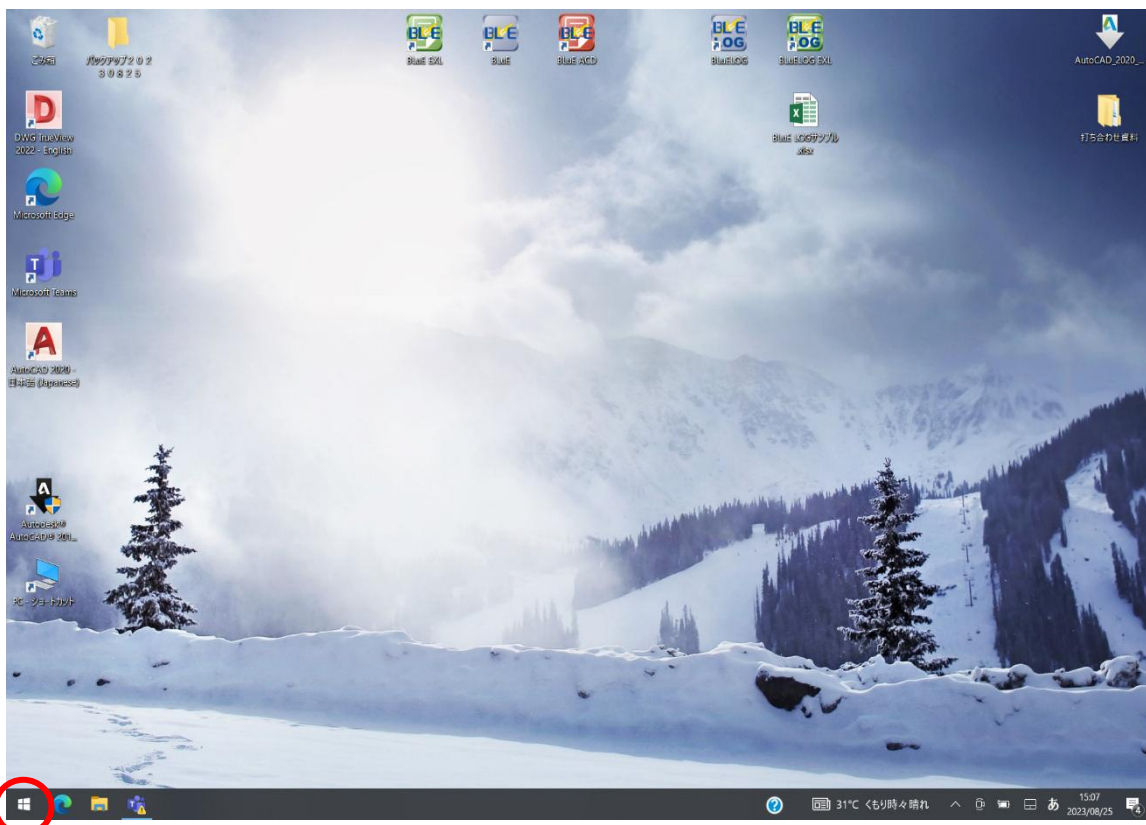
- ・ CEM-3BTS 東日製作所製 トルクレンチ
- ・ STC2-BT 東日製作所製 トルクドライバ
- ・ LR8514 日置電機製 温湿度計
- ・ KDM30 クローネ製 圧力計
- ・ MP0R-FP-BT フィッシャー・インストルメンツ製 膜厚計
- ・ PTA-BT 東日製作所製 バッテリー式トルクドライバ

手順は下記の通りです。

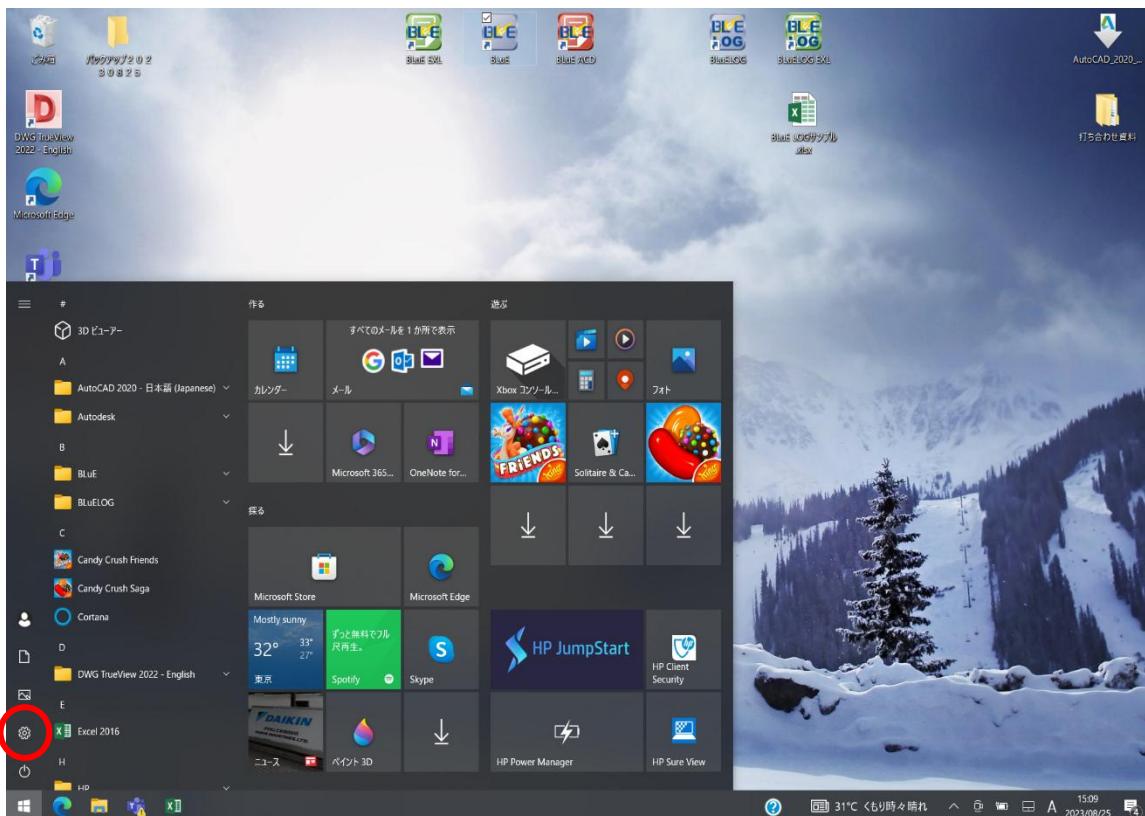
注記

◇ 圧力計を例に手順を記載してありますが、ほかの測定器も同様の手順となります。

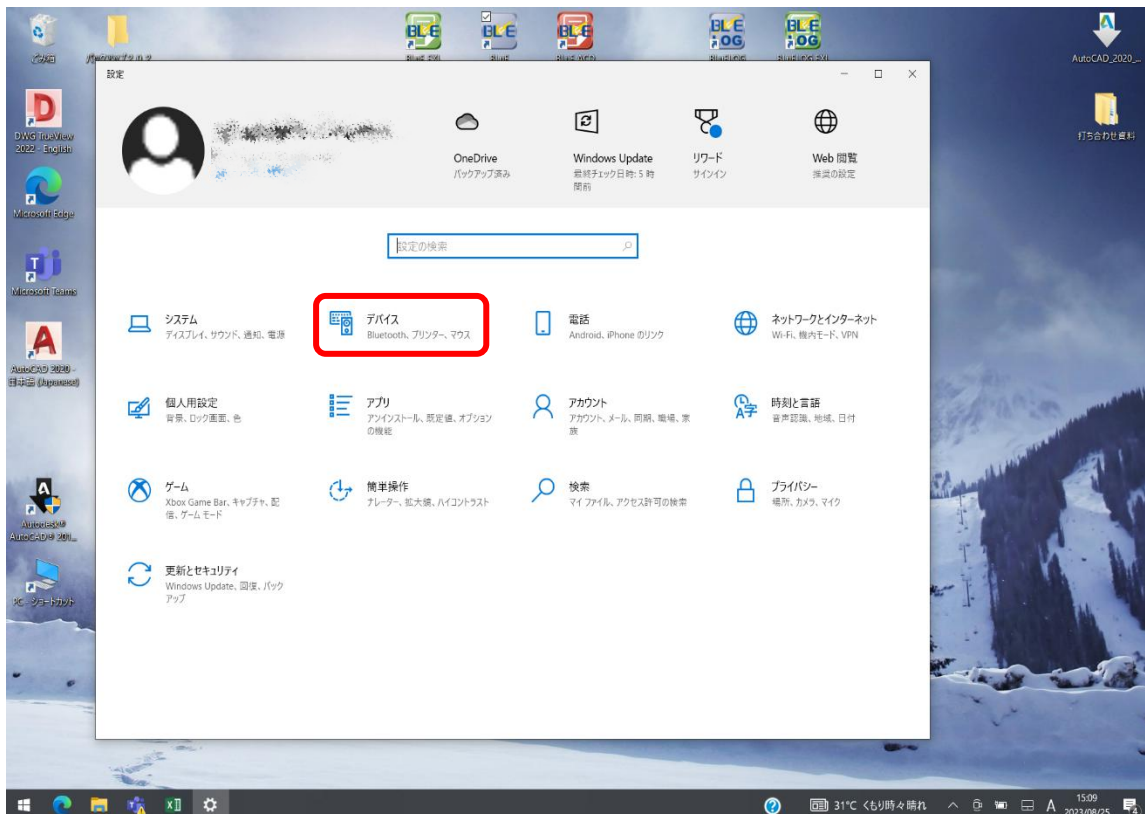
- ① 測定器の電源、Bluetooth が有効になっている状態で、「Windows のスタートボタン」を押します。



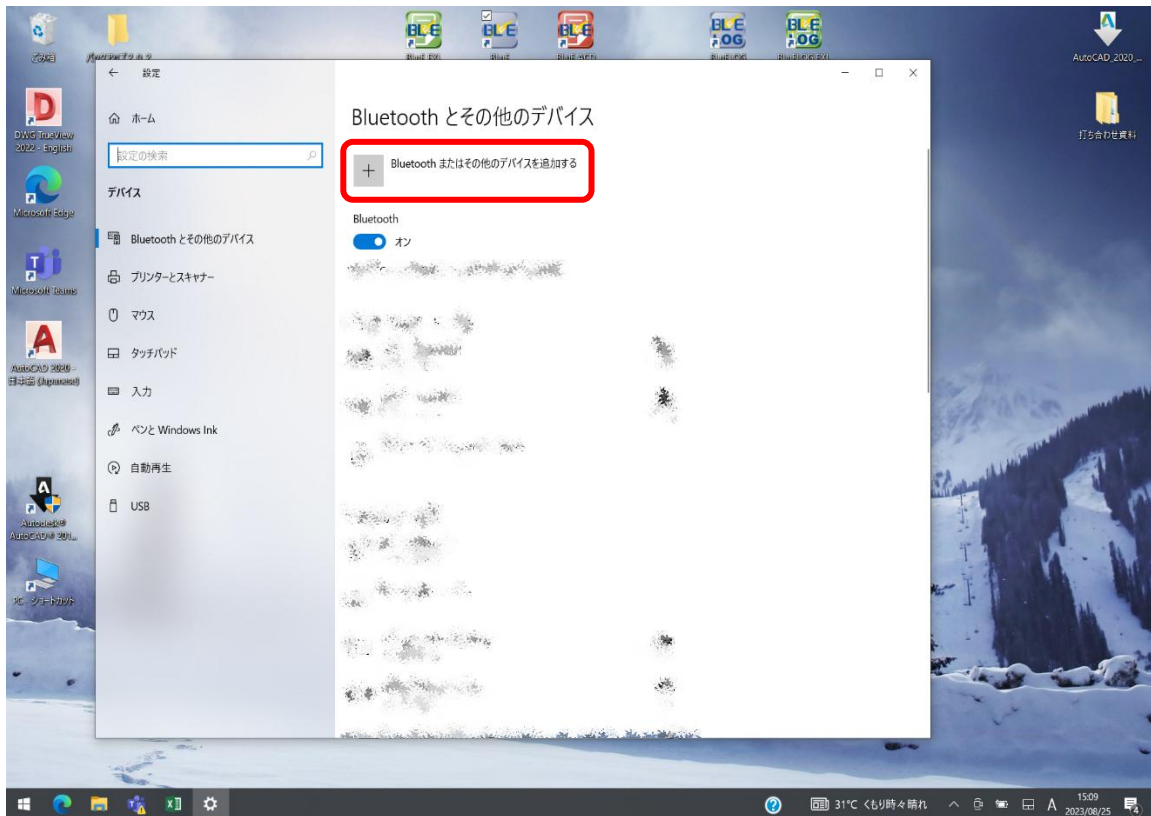
② 「設定」を押します。



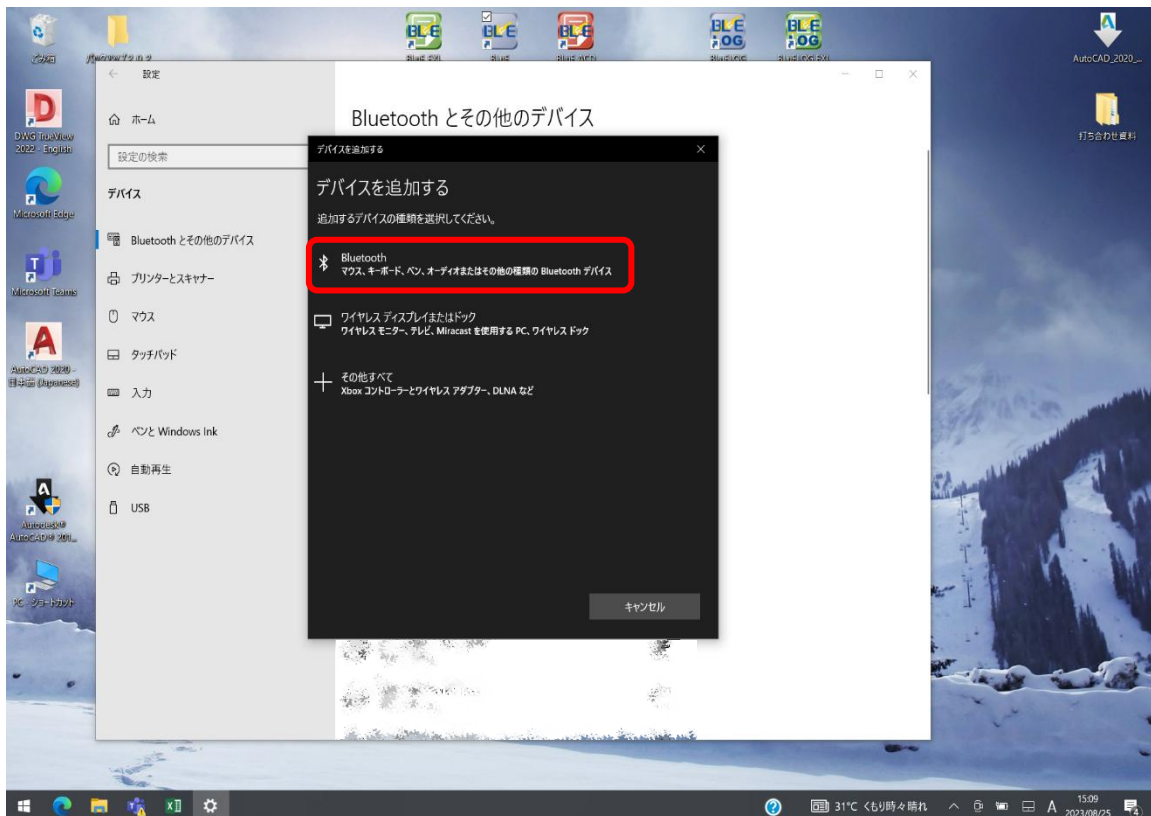
③ 「デバイス」を押します。



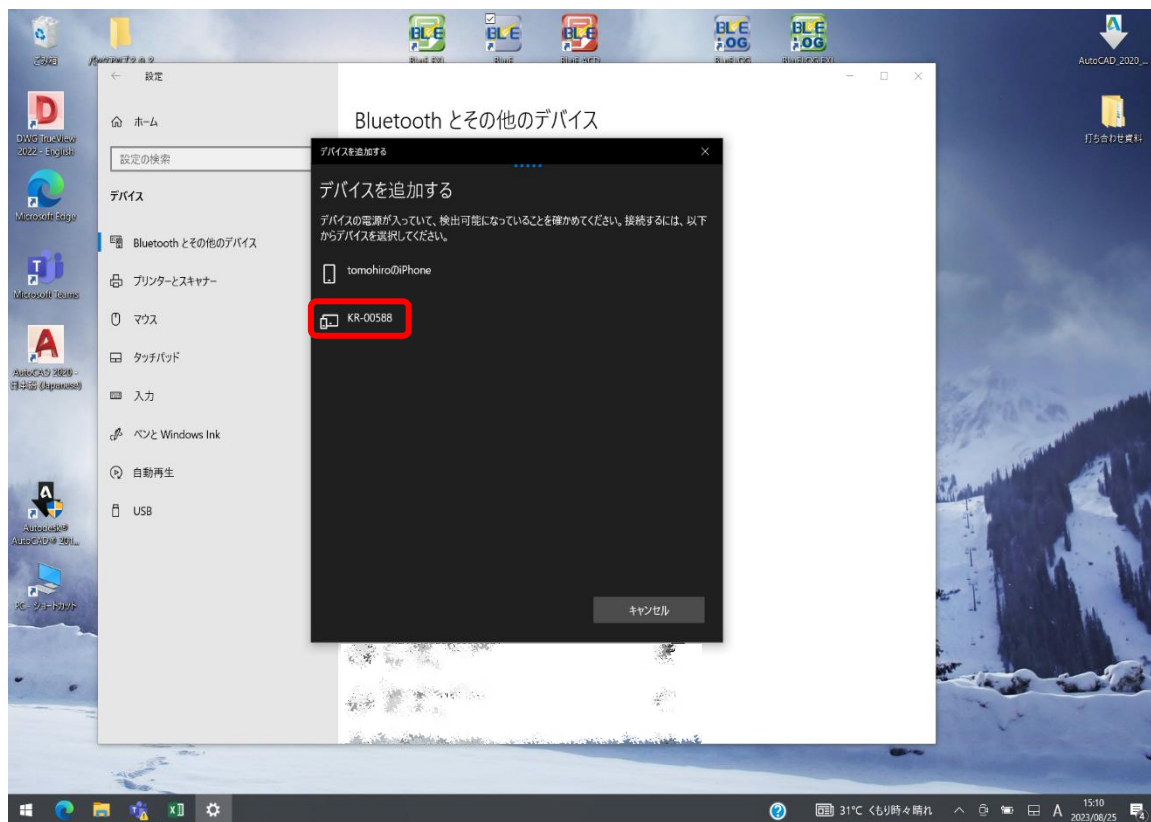
④ 「Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」を押します。



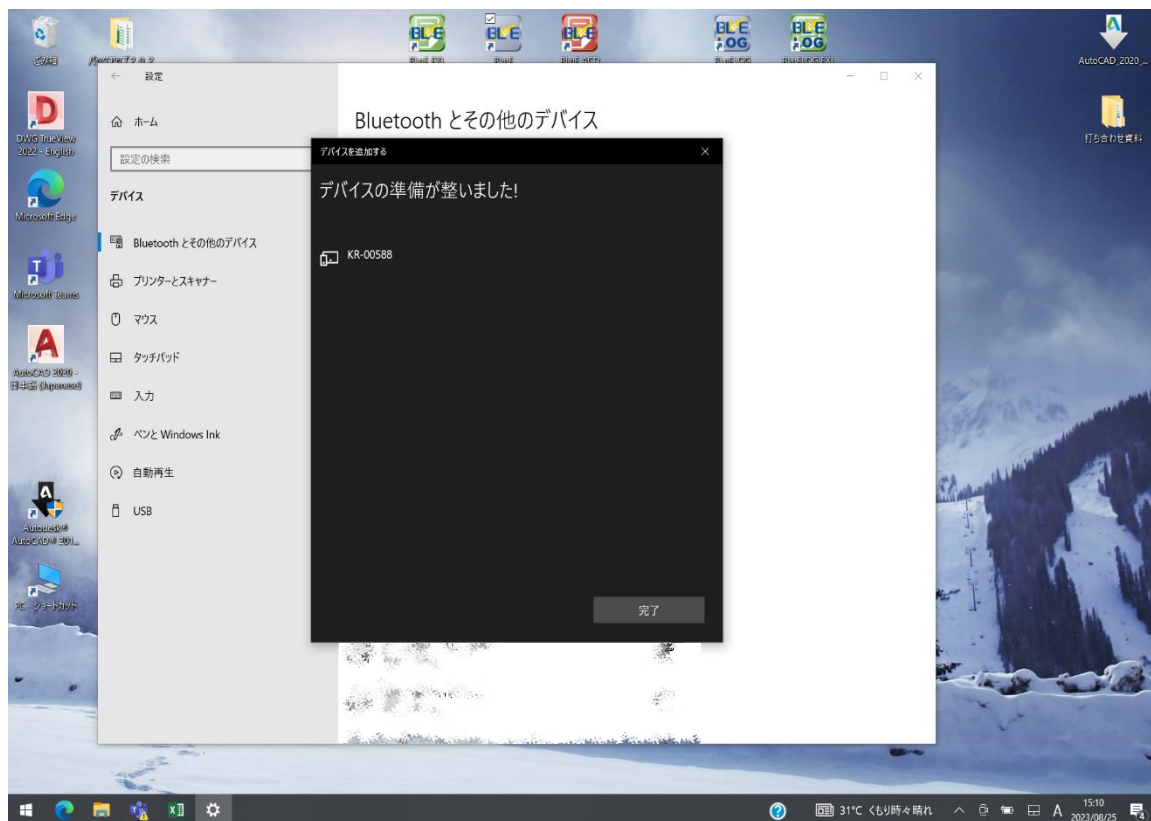
⑤ 「Bluetooth」を押します。



- ⑥ しばらくすると、シリアルナンバーが表示されるので、測定器本体に記載されているシリアルナンバーを確認し、選択します。



- ⑦ 下記画面になりましたら、ペアリング完了です。



9.3 測定器側の事前設定

以下の測定器に限り、事前に測定器側の事前設定が必要です。

- ・ DCL31DRBT 三和電気計器 クランプメータ
- ・ M-1140X マルチ計測器 クランプリューカ
- ・ M-1141X/XR マルチ計測器 クランプリューカ
- ・ MCL800DX/DXR マルチ計測器 クランプリューカ
- ・ NL42A/52A/62A リオン 騒音計
- ・ PM300BT 三和電気計器 デジタルマルチメータ
- ・ SK-110TRH-B 佐藤計量器 温湿度計
- ・ TKR12M/TKR12P レッキス工業 満水試験器Ⅲ型/圧力試験器Ⅲ型

事前設定内容は、以下の通りです。

◇ DCL31DRBT

測定器の電源を入れ、「SELECT/BT」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。

◇ M-1140X

測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。

◇ M-1141X/XR

測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。

◇ MCL800DX/DXR

測定器の電源を入れ、「Bluetooth」ボタンを押し、Bluetooth を有効にしてください。

◇ NL42A/52A/62A

- ① 測定器の電源を入れ、「MENU/ENTER」ボタンを押します。



- ② 「入出力」を選択します。



- ③ 「通信制御機能」を選択します。



- ④ 「RS-232C」を選択します。



- ⑤ Bluetooth 通信アダプタの乾電池を取り外し、測定器側に表示されている「ボーレート」と Bluetooth 通信アダプタの「ボーレート」を合わせてください。



◇ PM300BT

測定器の電源を入れ、「SELECT/BT」ボタンを長押しし、Bluetooth を有効にしてください。

◇ SK-110TRH-B

測定器本体の「MODE」と「POWER」を同時に長押しして、電源を入れてください。

◇ TKR12M/TKR12P

- ① AppleStore から「みるみるくんデータ収集アプリ」をインストールしてください。
- ② インストール後、アプリを起動してください。
※本アプリの操作方法については、メーカーサイトを参照してください。
- ③ 測定器の電源を入れ、「収集」ボタンを押してください。



- ④ 使用する測定器のシリアルナンバーが表示されたのを確認し、「試験設定」ボタンを押してください。

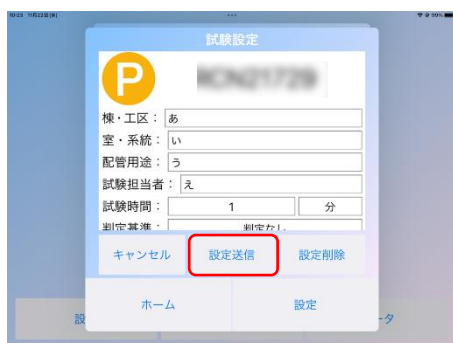


使用する測定器が TKR12P の場合に表示

使用する測定器が TKR12M の場合に表示

- ⑤ 必要項目を入力し、「設定送信」ボタンを押してください。

TKR12P の場合



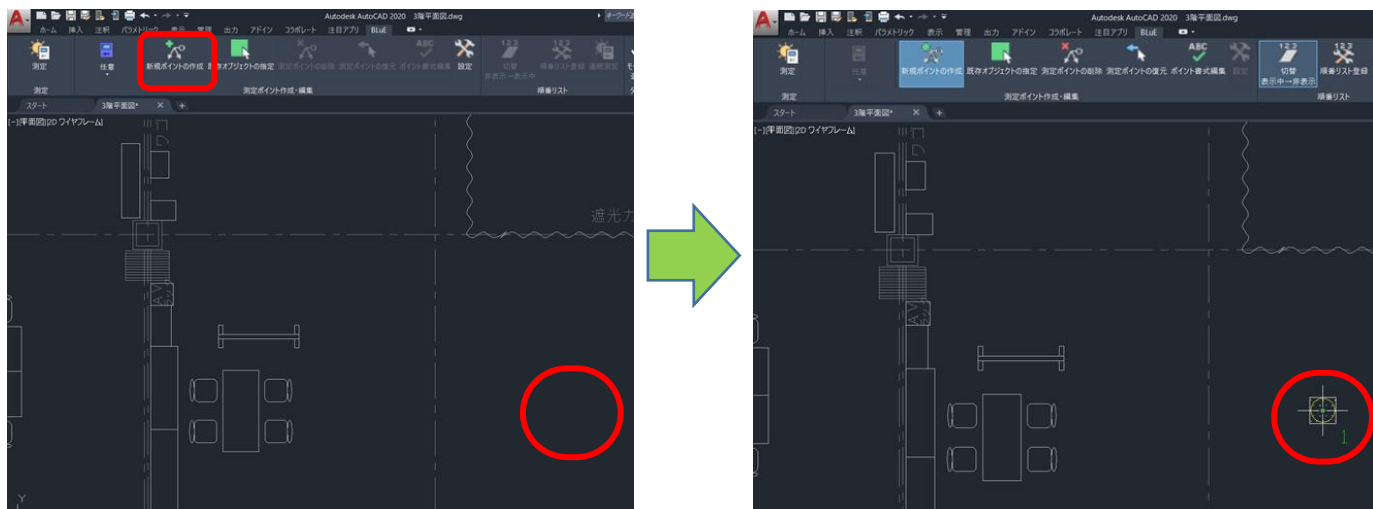
TKR12M の場合



- ⑥ 送信が完了すると、測定器側が情報を受信し、測定器が自動で再起動します。

9.4 測定ポイントの作成(AutoCAD のみ)

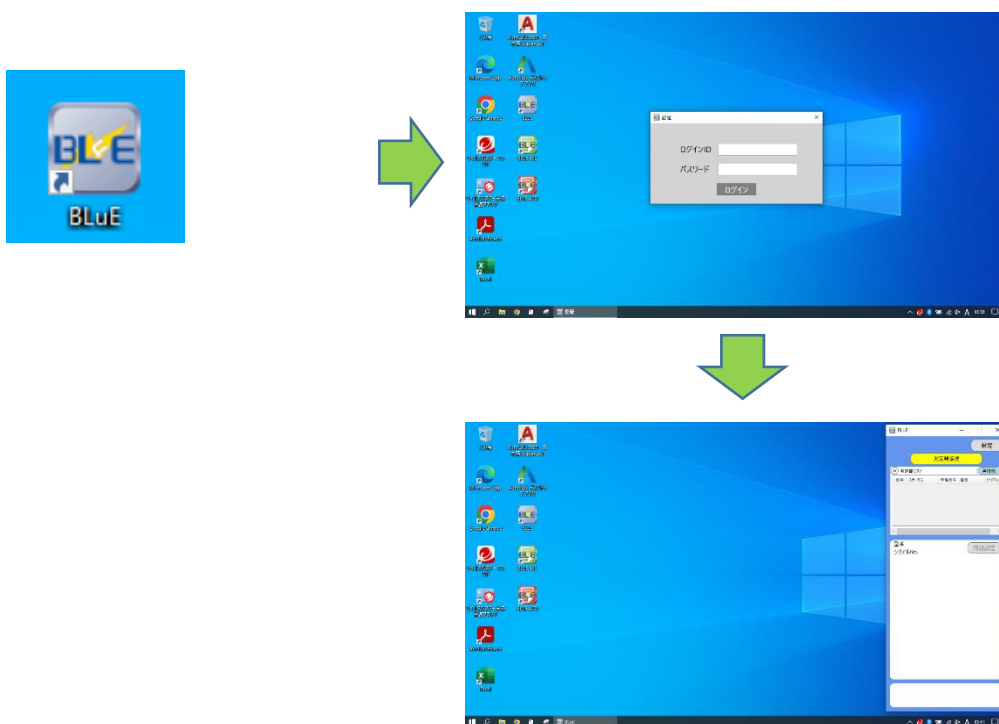
「新規ポイントの作成」ボタンをタップし、CAD 図面上の任意の箇所をタップすると、測定ポイントが作成されます。



10 起動/連携する

10.1 BLuE の起動

インターネット回線が接続されていることを確認し、デスクトップ画面の「BLuE」をダブルクリックします。ログイン ID とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



注記

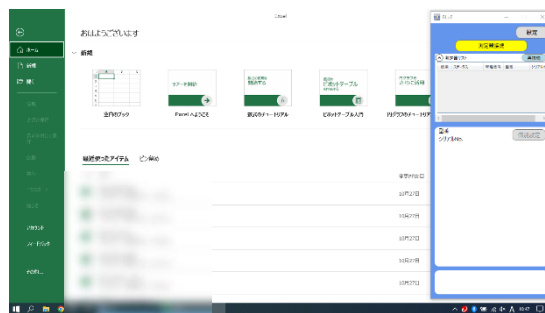
- ◇ インターネット回線が接続されている状態でログインをしてから 1 か月間は、オフラインで利用できます。1 か月を過ぎると、ログイン ID とパスワードの入力が求められますので、インターネット回線が接続されている状態で再度、ログインしてください。

Excel を利用される方は P.23 10.2.1 Excel の起動へ、
 AutoCAD を利用される方は P.24 10.3.1 AutoCADの起動へ 進んでください。

10.2 起動/連携する(Excel)

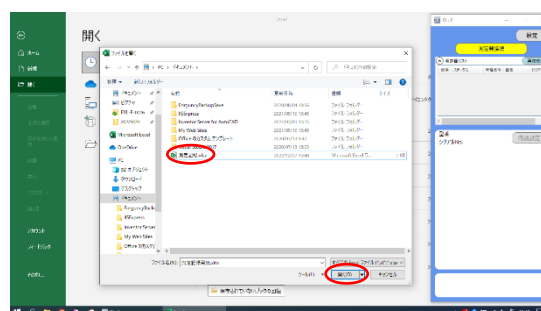
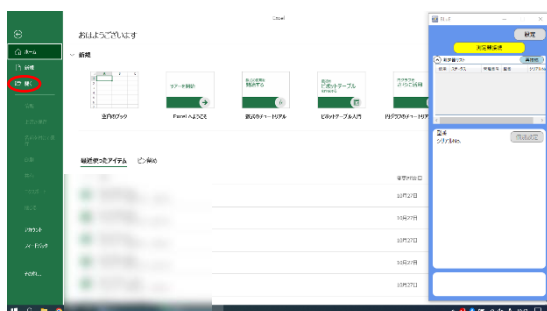
10.2.1 Excel の起動

デスクトップ画面の「BLuE EXL」をダブルクリックします。



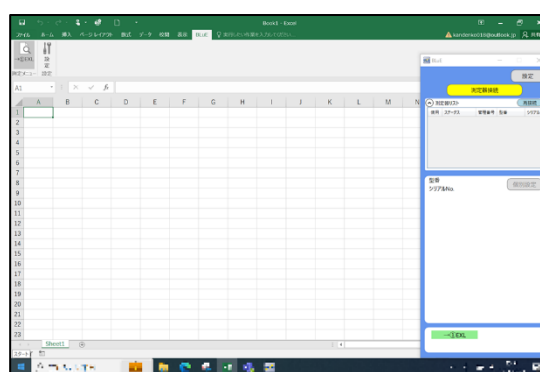
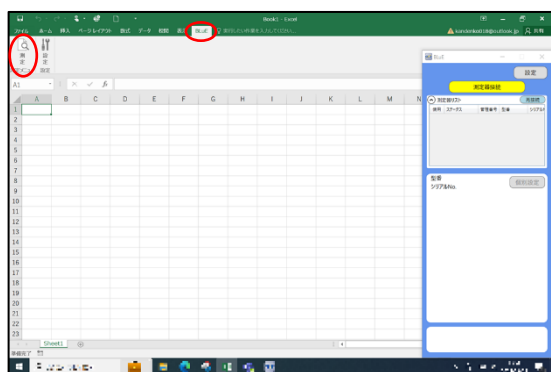
10.2.2 試験記録表を読み込む

測定値を記録する Excel ファイルを開きます。(新規・既存ファイル、両方とも使用可能)



10.2.3 BLuE と Excel を連携する

Excel のリボンに表示されている「BLuE」タブを選択し、「測定」ボタンを押します。

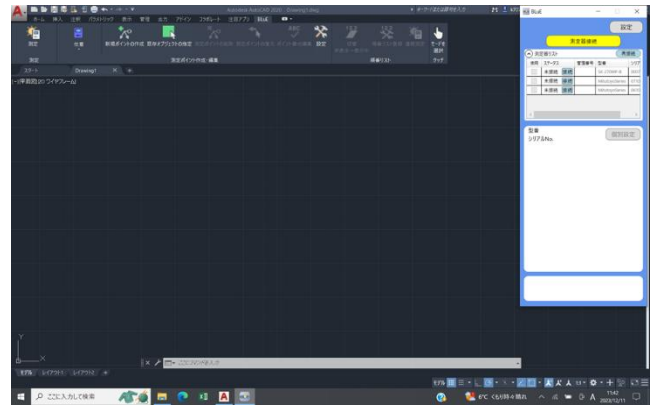


P.26 「11 接続/切断する」へ進んでください。

10.3 起動/連携する(AutoCAD)

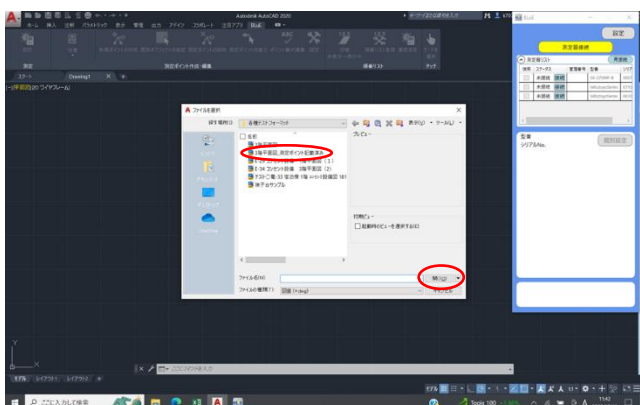
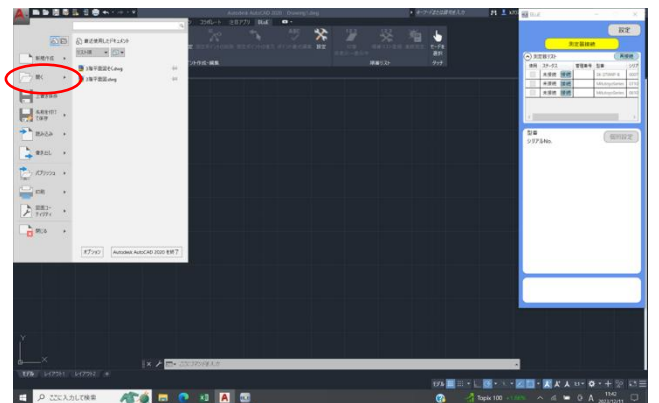
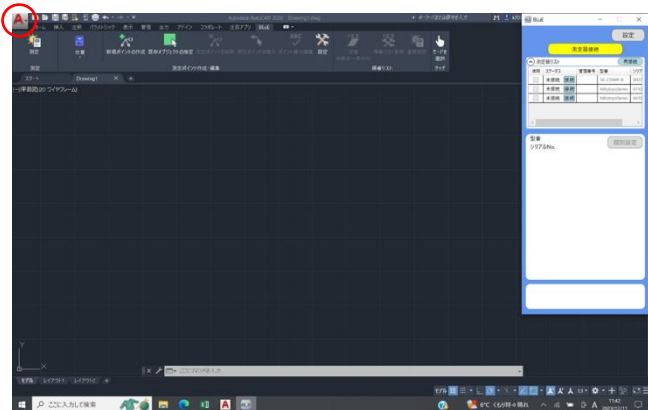
10.3.1 AutoCAD の起動

デスクトップ画面の「BLuE ACD」をダブルクリックします。



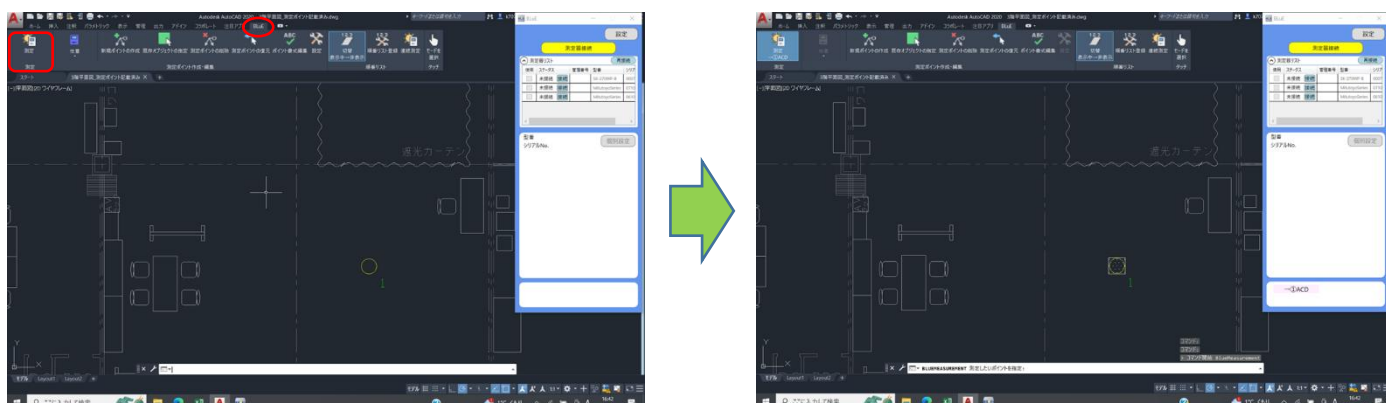
10.3.2 CAD 図面を読み込む

測定値を記録する CAD 図面を開きます。(新規・既存図面、両方とも使用可能)



10.3.3 BLuE と AutoCAD を連携する

AutoCAD のリボンに表示されている「BLuE」タブを選択し、「測定」ボタンを押します。



P.26 「11 接続/切断する」へ進んでください。

11 接続/切断する

11.1 測定器と接続する

測定器と BLuE を無線通信で接続します。

① 通常の接続

(ア) 接続対象機種一覧

BLuE の「測定器接続」ボタンをクリックし、機種選択画面を表示します。

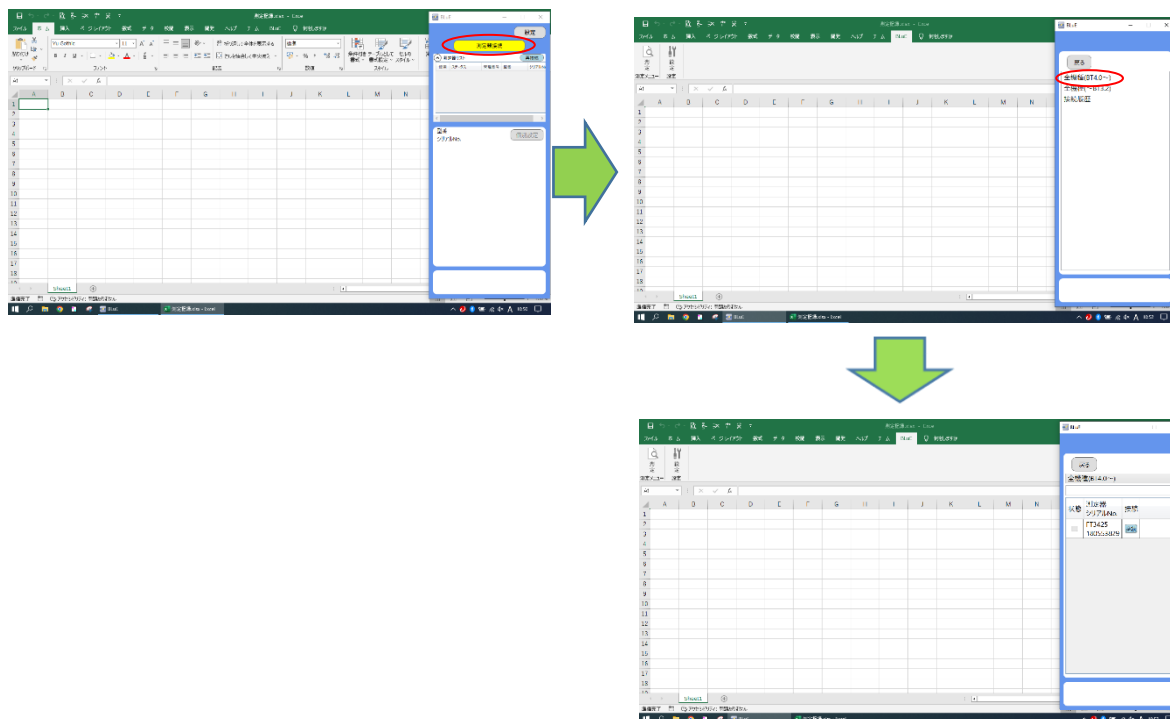
(イ) 測定器の機種選択

測定器の Bluetooth バージョンを確認して、機種を選択します。

- ◇ 全機種(BT4.0～) : Bluetooth4.0 以上の測定器を対象に、周辺から探し出します。
 - ◇ 全機種(～BT3.2) : Bluetooth3.2 以下の測定器を対象に、周辺から探し出します。
- 対象の測定器が見つかった場合「接続する機器」として表示します。

注記

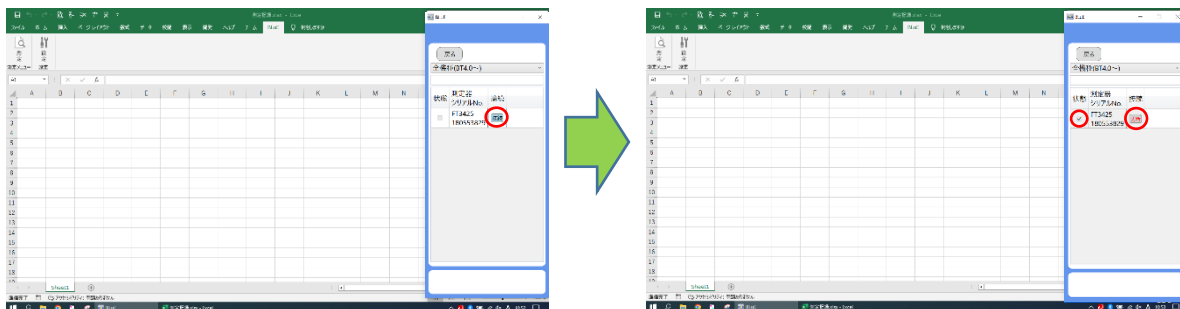
- ◇ Bluetooth3.2 以下の測定器を接続する場合、事前にペアリング作業をする必要があります。手順については、P.13「9.2 測定器のペアリング」を参照して下さい。
- ◇ 各測定器の接続前/接続後の表記については、P.29～P.31「表 1 各測定器の接続前/接続後の表記」を参照してください。



(ウ) 測定器の選択

接続したい測定器の「接続」ボタンをクリックします。

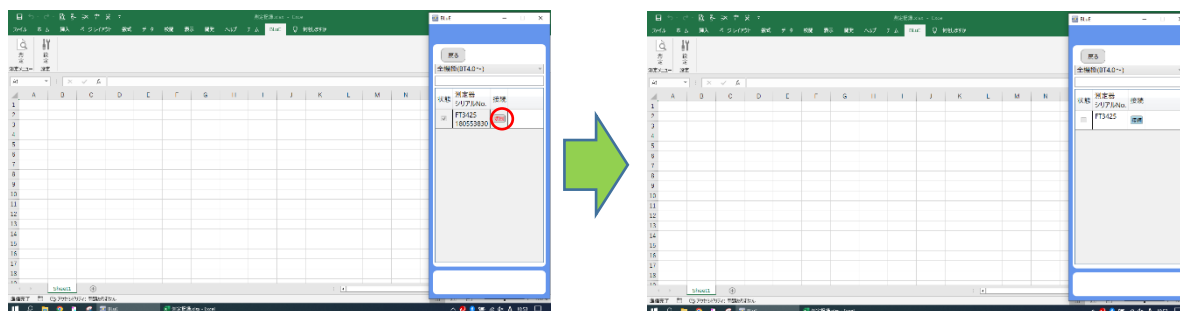
接続が完了すると、状態チェックボックスにチェックが入り、「接続」ボタンから「切断」ボタンに変化します。



(エ) 測定器との切断

切断したい測定器の「切断」ボタンをクリックします。

切断が完了すると、状態チェックボックスのチェックが外れ、「切断」ボタンから「接続」ボタンに変化します。

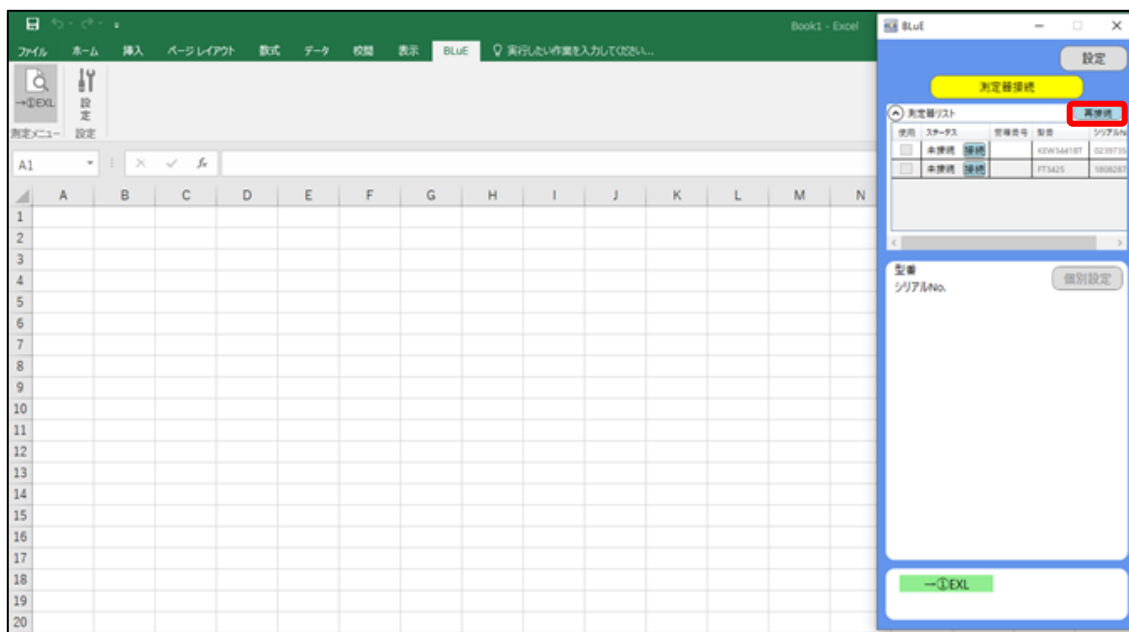


② 再接続

1 度接続したことがある測定器に限り、「(ア) 再接続ボタン押下による再接続」、または「(イ) 接続ボタン押下による再接続」によって再接続できます。

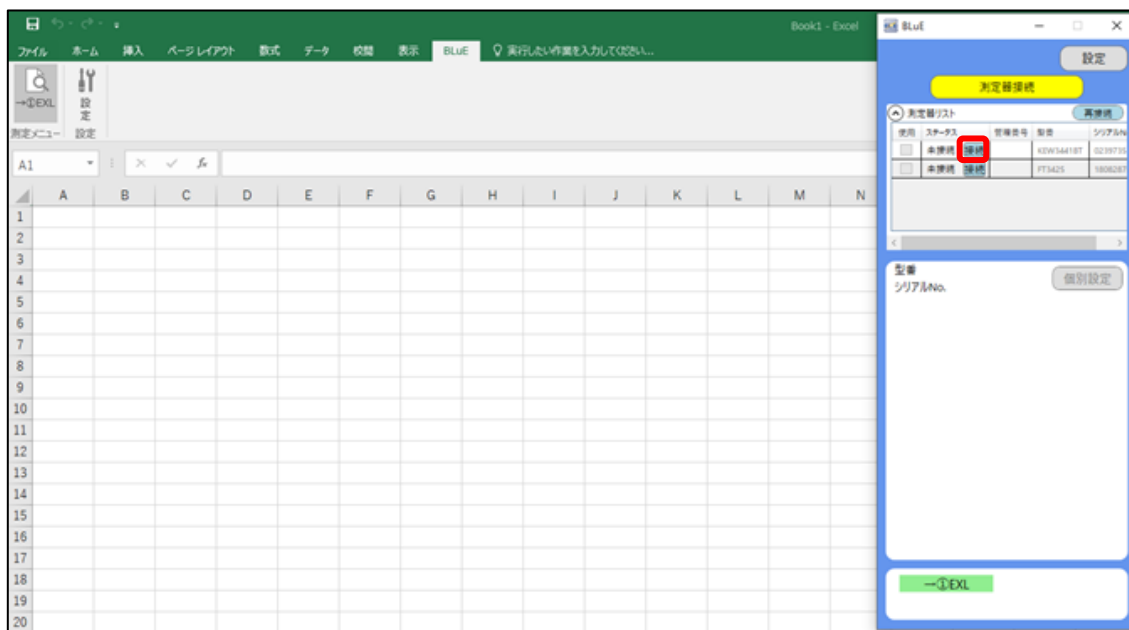
(ア) 再接続ボタン押下による再接続

測定器リストに表示されている「再接続」ボタンを押下すると、リスト内に表示されている測定器を上から順に再接続します。



(イ) 接続ボタン押下による再接続

測定器リストに表示されている測定器から再度接続したい測定器の「接続」ボタンを押下すると再接続されます。



BLuE に対応した測定器の検索時と接続時の表示は、以下のとおりです。

※「XXXX」は各測定器のシリアルNo

表 1 各測定器の接続前/接続後の表記

型番	検索時	接続時	備考
AF101	AF101	AF101-XXXXXXXX	
AF111	AF111	AF111	
BT3554-50	BT3554-50 XXXXXXXXXX	BT3554-50 XXXXXXXXXX	
CD-AXシリーズ	MitutoyoSeries XXXXXXXXXX	MitutoyoSeries XXXXXXXXXX	
CEM3-BTS	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	
CM4371-50 CM4373-50 CM4375-50	CM4371-50 XXXXXXXXXX CM4373-50 XXXXXXXXXX CM4375-50 XXXXXXXXXX	CM4371-50 XXXXXXXXXX CM4373-50 XXXXXXXXXX CM4375-50 XXXXXXXXXX	
CM4376	HIOKIBLE または CM4376 XXXXXXXXXX	CM4376 XXXXXXXXXX	
DCL31DRBT	DCL31DRBT XXXXXXXXXXXX	DCL31DRBT XXXXXXXXXXXX	
DDM-102L3/L5	DDM-102L3/5 XXXXXX	DDM-102L3/5 XXXXXX	
DTC-N-REV	MitutoyoSeries XXXXXXXXXX または DTC-N-REV XXXXXXXXXX	DTC-N-REV XXXXXXXXXX	
DLC470BT	DLC470BT XXXXXXXXXXXX	DLC470BT XXXXXXXXXXXX	
DT4261	DT4261 XXXXXXXXXX	DT4261 XXXXXXXXXX	
FT3425	HIOKI BLE または FT3425 XXXXXXXXXX	FT3425 XXXXXXXXXX	
FT6380-50	FT6380-50 XXXXXXXXXX	FT6380-50 XXXXXXXXXX	
GAシリーズ	GASeries XXXXX	GASeries XXXXX	
GDCシリーズ	GDCSeries	GDCSeries	

型番	検索時	接続時	備考
IES-5000/5000R	IES-5000/5000R または IES-5000/5000R 0000	IES-5000/5000R または IES-5000/5000R 0000	
IR4052-50/51	IR4052-50/51 XXXXXXXXXX	IR4052-50/51 XXXXXXXXXX	
IR4055-11	HIOKI BLE または IR4055-11 XXXXXXXXXX	IR4055-11 XXXXXXXXXX	
ISA-101	ISA-101 または ISA-101 XXXXXXXXXX	ISA-101 XXXXXXXXXX	
ISA-111	ISA-111	ISA-111	
KDM30	KR-XXXXX	KR-XXXXX	
KEW2433RBT	KEW2433RBT XXXXXXXXXX	KEW2433RBT XXXXXXXXXX	
KEW3441BT	KEW3441BT XXXXXXXXXX	KEW3441BT XXXXXXXXXX	
KEW3552BT	KEW3552BT XXXXXXXXXX	KEW3552BT XXXXXXXXXX	
KEW4105DLBT-H	KEW4105DLBT-H XXXXXXXXXX	KEW4105DLBT-H XXXXXXXXXX	
KEW4300BT	KEW4300BT XXXXXXXXXX	KEW4300BT XXXXXXXXXX	
KEW4500BT	KEW4500BT XXXXXXXXXX	KEW4500BT XXXXXXXXXX	
KEW4505BT	KEW4505BT XXXXXXXXXX	KEW4505BT XXXXXXXXXX	
KEW5204BT	KEW5204BT XXXXXXXXXX	KEW5204BT XXXXXXXXXX	
KEW6041BT	KEW6041BT XXXXXXXXXX	KEW6041BT XXXXXXXXXX	
LR8514	LR8514#XXXXXXXXXX:HIOKI	LR8514#XXXXXXXXXX:HIOKI	
M-1140X/XR	M-1140X/XR	M-1140X/XR	
M-1141X/XR	M-1141X/XR	M-1141X/XR	
MCL-800DX/DXR	MCL-800DX/DXR	MCL-800DX/DXR	
MDC-MXシリーズ	MitutoyoSeries XXXXXXXXXX	MitutoyoSeries XXXXXXXXXX	
MET-10X	MET-10X	MET-10X	
MPOR-FP-BT ※1	MPOR S/N: XX:XX:XX	MPOR S/N: XX:XX:XX	

型番	検索時	接続時	備考
NLシリーズ	NLSeries または NLSeries XXXXXXXXXXXX	NLSeries XXXXXXXXXXXX	
PD3259-50	PD3259-50 XXXXXXXXXX	PD3259-50 XXXXXXXXXX	
PM300BT	PM300BT XXXXXXXXXXXX	PM300BT XXXXXXXXXXXX	
PTA-BT	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	
SK-110TRH-B	SK-110TRH-B XXXXXX	SK-110TRH-B XXXXXX	
SSCシリーズ	SSC-650/750/850	SSC-650/750/850 00000000	
SSD-215	SSD-215	SSD-215 XXXXXXXXXX ※ただし2021年12月以降に販売され ているSSD-215については以下の通 り。 SSD-215 0000000000	
SSMシリーズ	SSM-750/850	SSM-750/850 00000000	
STC2-BT	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	
TKR12M	TKR12M XXXXXXXXXX	TKR12M XXXXXXXXXX	
TKR12P	TKR12P XXXXXXXXXX	TKR12P XXXXXXXXXX	
6006-BT	6006-BT XXXXXX	6006-BT XXXXXX	

※1 測定器本体には S/N は表記されていません。

S/N の確認方法は、測定器本体の Bluetooth 接続編マニュアルを参照してください。

S/N を確認したのち、BLuE との接続を行ってください。

12 測定する

Excel を利用される方は P.32 12.1 測定を行う(Excel)へ、

AutoCAD を利用される方は P.38 12.2 測定を行う(AutoCAD)へ それぞれ進んでください。

12.1 測定を行う(Excel)

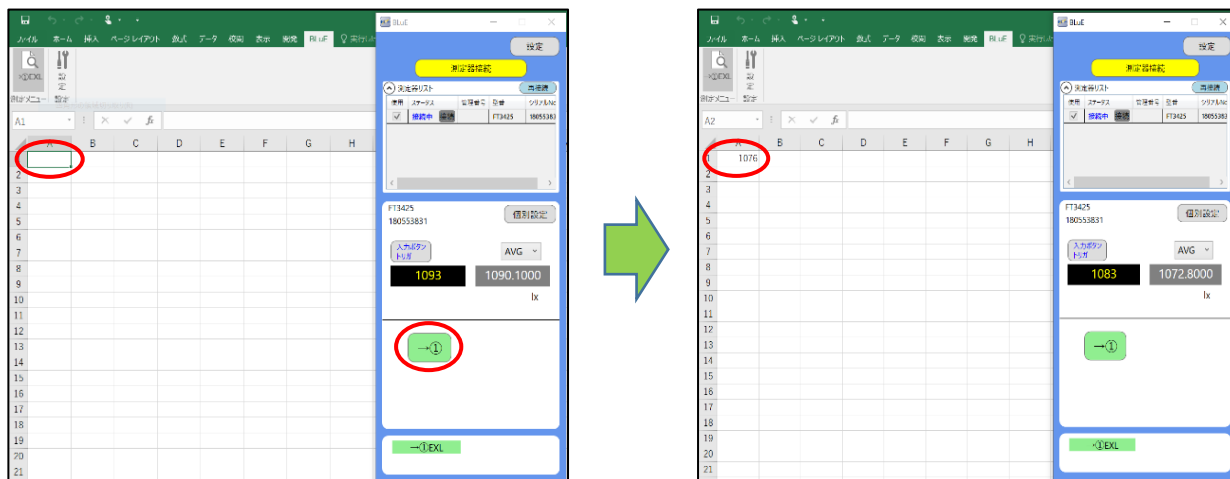
測定器の操作については、測定器のマニュアルを参照してください。ここでは測定器の種類に限らず共通の操作について説明します。

Excel に測定値を反映する

入力方法は、以下の通りになります。

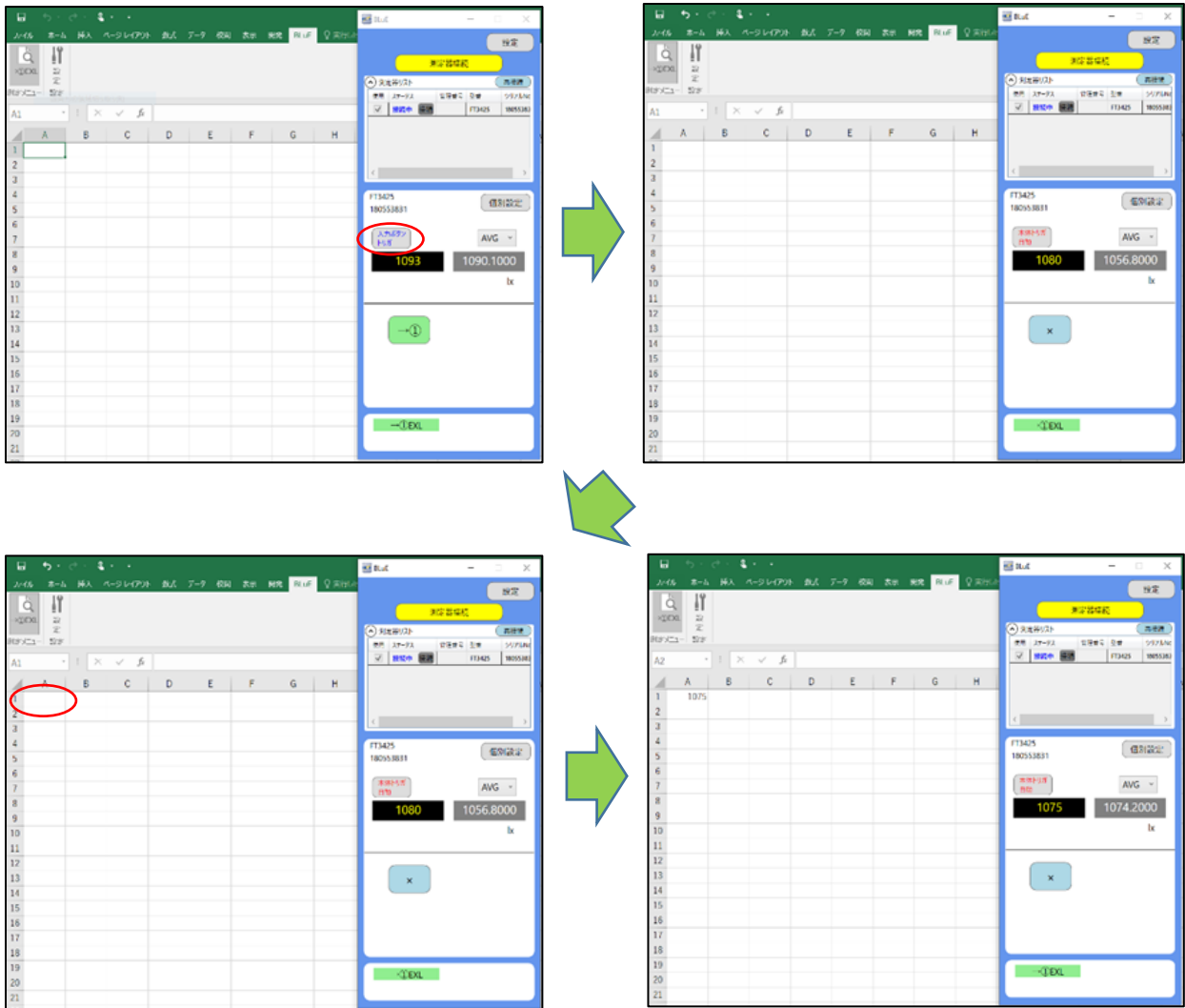
BLuE のボタンを押して入力する手順 (例 : FT3425 の場合)

入力したいセルを選択し、BLuE の「→①」ボタンをクリックすると、測定値が入ります。



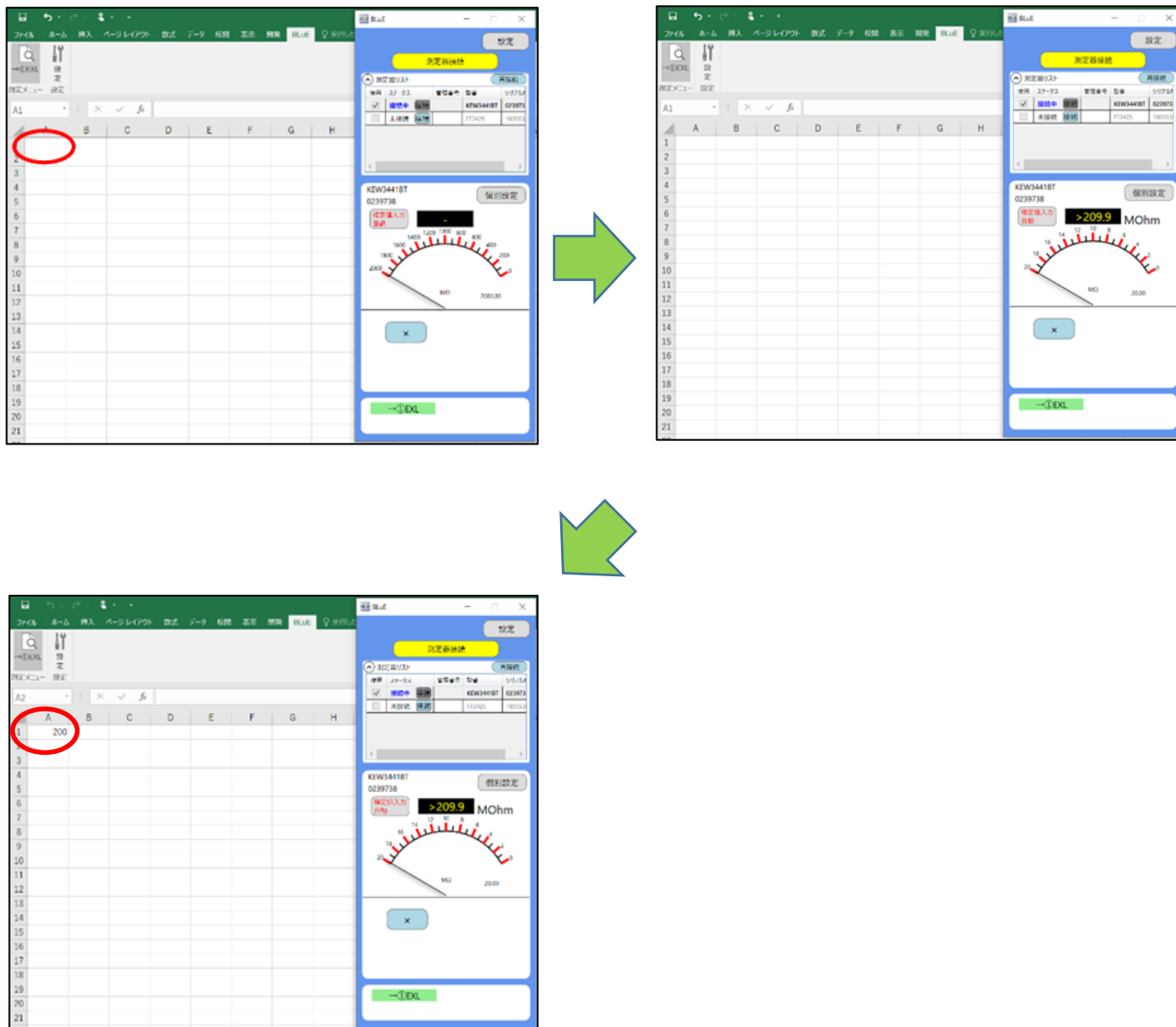
「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：FT3425 の場合）

事前に BLuE の「入力ボタントリガ」と表示されている箇所をクリックし、「本体トリガ自動」に切り替えます。入力したいセルを選択し、測定器本体の「HOLD」ボタンを押すと、測定値が入ります。



「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：KEW3441BTの場合）

入力したいセルを選択し、測定器本体の印加ボタン(橙ボタン)を長押し、離すと同時に選択したセルに測定値が入ります。



注記

- ◇ 測定器によって、入力方法・操作するボタンが異なります。
詳細については、P.35～P.37「表2 各測定器の測定値入力方法」を参照してください。

表 2 各測定器の測定値入力方法

型番	BLuE のボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
AF101	○	○	プローブボタン (※2)
AF111	○	○	プローブボタン (※2)
BT3554-50	○	○	HOLD ボタン (※2)
CD-AX シリーズ	○	○	DATA ボタン (※2)
CEM-3BTS	○	○	メモリキー (※2)
CM4371/CM4373/ CM4375	○	○	HOLD ボタン (※2)
CM4376	○	○	HOLD ボタン (※2)
DCL31DRBT	○	○	HOLD ボタン (※2)
DDM-102L3/L5	○	○	TRG ボタン 側面測定ボタン (※2)
DTC-N-REV	○	○	SET/EXT キー (※2)
DLC470BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
DT4261	○	○	HOLD ボタン (※2)
FT3425	○	○	HOLD ボタン (※2)
FT6380-50	○	○	HOLD ボタン (※2)
GA シリーズ	○	-	-
GDC シリーズ	○	○	送信ボタン (※2)

型番	BLuE のボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
IES-5000/5000R	○	-	-
IR4052-50/51	○(※3)	○	MEASURE キー
IR4055-11	○(※3)	○	MEASURE キー
ISA-101	○	○	プローブボタン (※2)
ISA-111	○	○	プローブボタン (※2)
KDM30	○	-	-
KEW2433RBT	○	○	DH ボタン (※2)
KEW3441BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW3552BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW4105DLBT-H	○	○	TEST ボタン (※2)
KEW4300BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW4500BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW4505BT	○(※3)	○	測定ボタン
KEW5204BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
KEW6041BT	○(※3)	○	測定ボタン
LR8514	○	-	-
M-1140X/XR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
M-1141X/XR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
MCL-800DX/DXR	○	○	Bluetooth ボタン (※2)
MDC-MX シリーズ	○	○	DATA ボタン (※2)
MET-10X	○	-	-
MP0R-FP-BT	○	-	-
N L シリーズ	○	○	PAUSE/CONT キー (※2)

型番	BLuE のボタンを 押して入力	測定器本体のボタンを押して入力(※1)	
PD3259-50	○	○	HOLD ボタン (※2)
PM300BT	○	○	HOLD ボタン (※2)
PTA-BT	○	○	トリガースイッチ (※2)
SK-110TRH-B	○	-	-
SSC-650/750/850	○	○	DATA ボタン (※2)
SSD-215	○	○	→ボタン (※2)
SSM-750/850	○	○	SET ボタン (※2)
STC2-BT	○	○	MEM キー (※2)
TKR12M	○	-	-
TKR12P	○	-	-
6006-BT	○	○	電源/機能スイッチ (※2)

※1 ボタン配置・形状等の詳細については、各測定器のマニュアルを参照してください。

※2 設定することで、測定値を出力できます。

設定方法については、P.50「14.1④(力) 本体トリガの値取得方法」を参照してください。

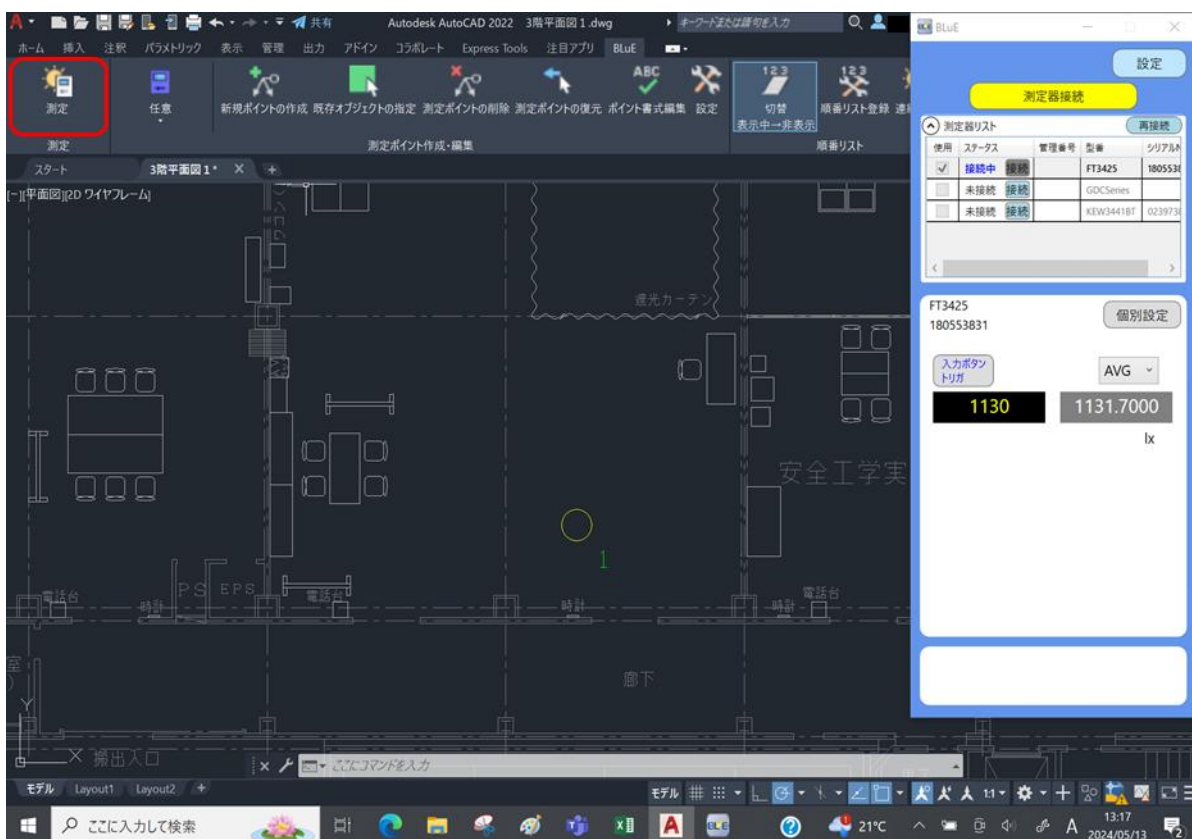
※3 「手動」「印加中任意入力」時のみ、測定値を入力できます。

12.2 測定を行う(AutoCAD)

測定器の操作については、測定器のマニュアルを参照してください。ここでは測定器の種類に限らず共通の操作について説明します。

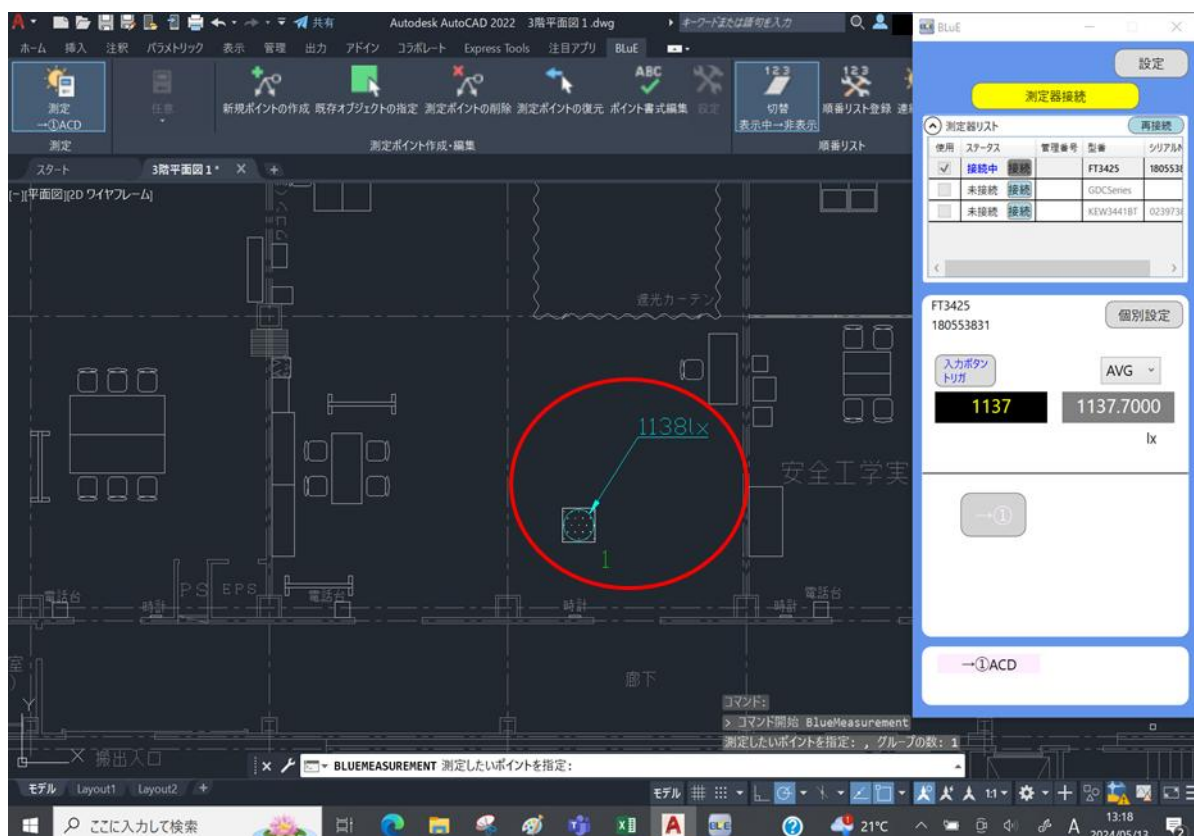
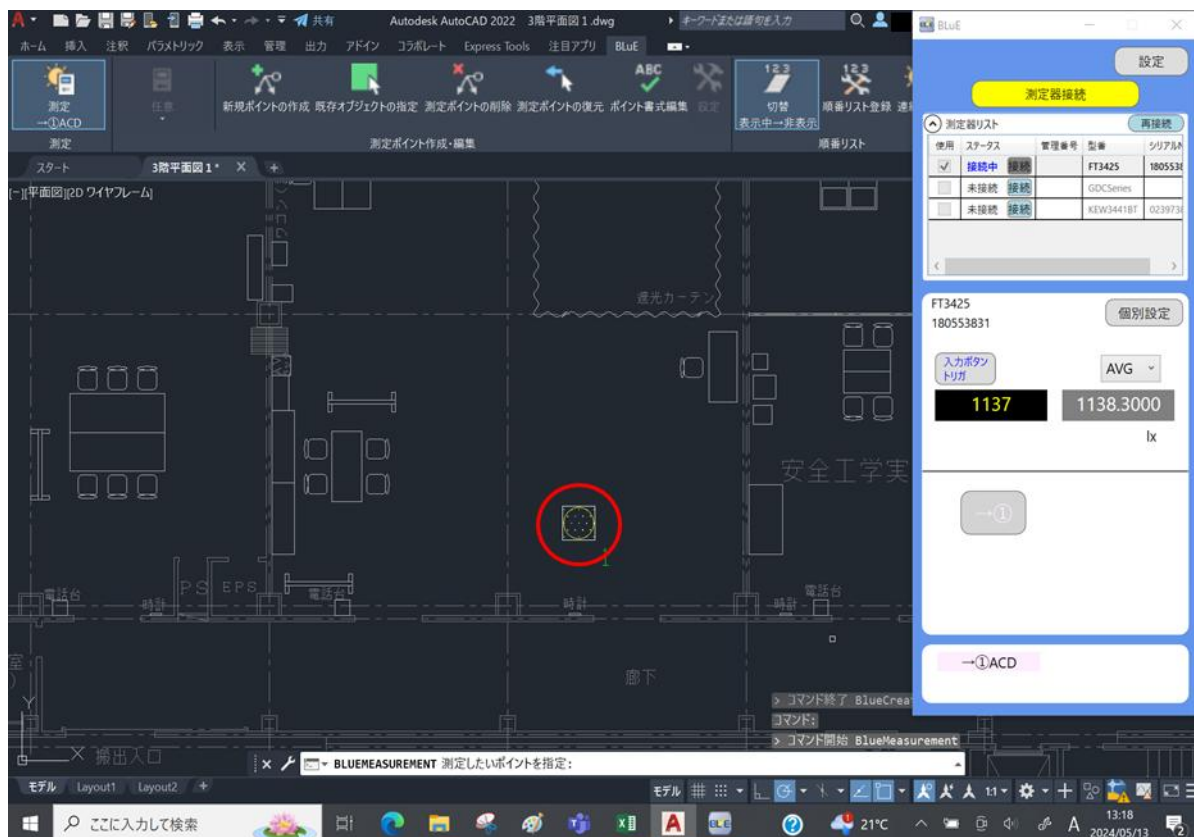
AutoCAD に測定値を反映する

リボンメニューの「測定」ボタンを押下すると、該当する測定ポイントが網掛け表示されます。



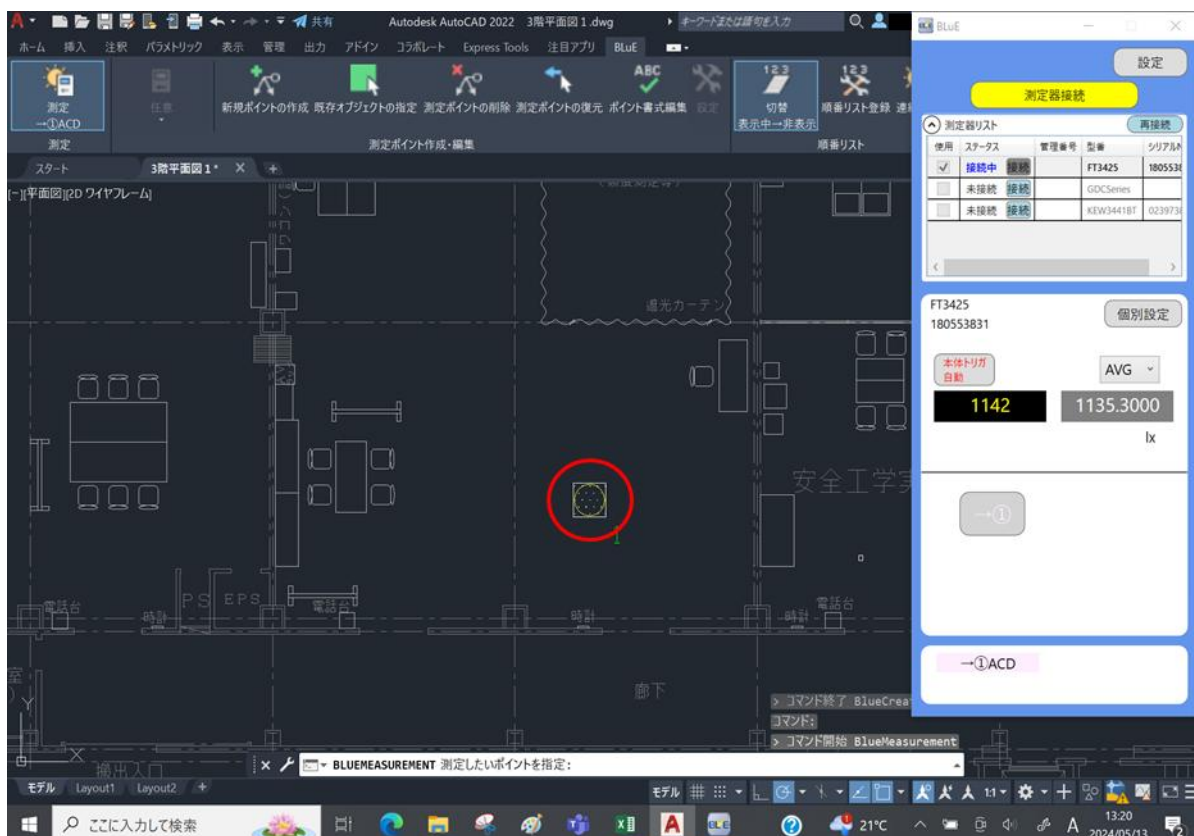
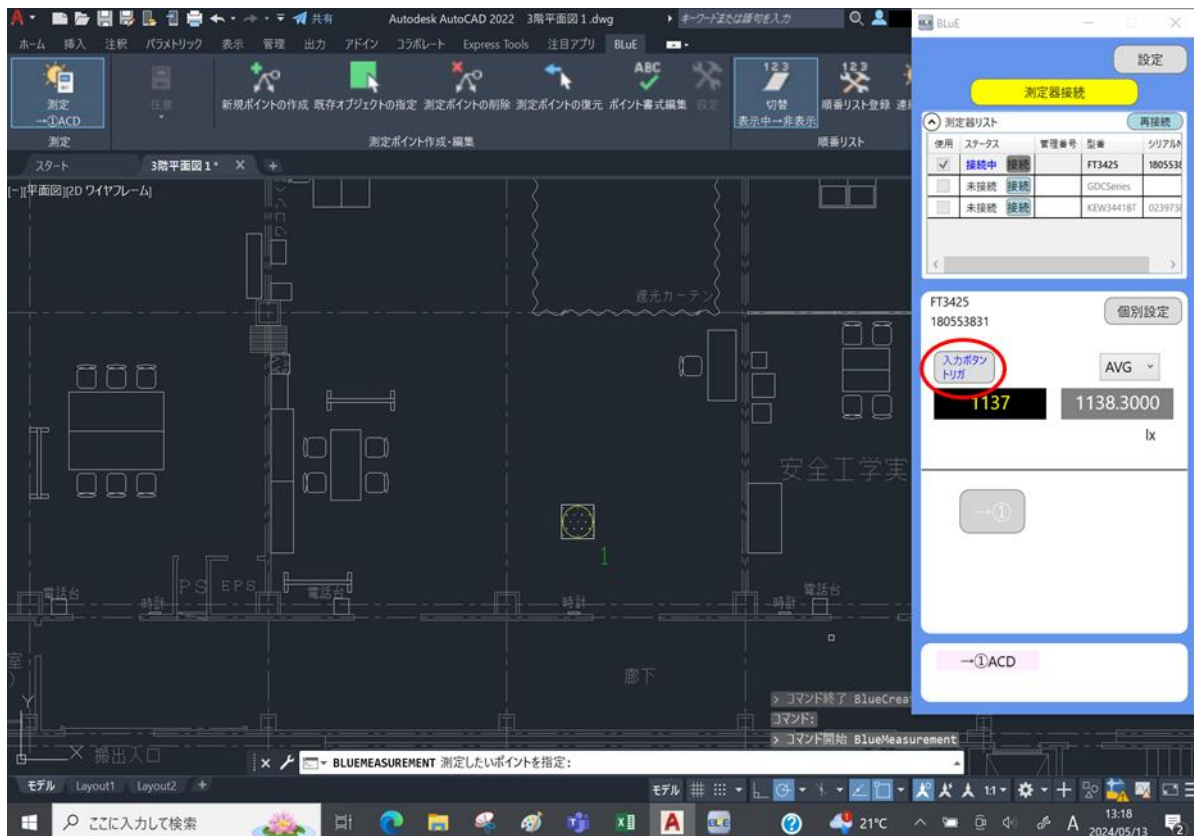
測定ポイントをタップして入力する手順 (例 : FT3425 の場合)

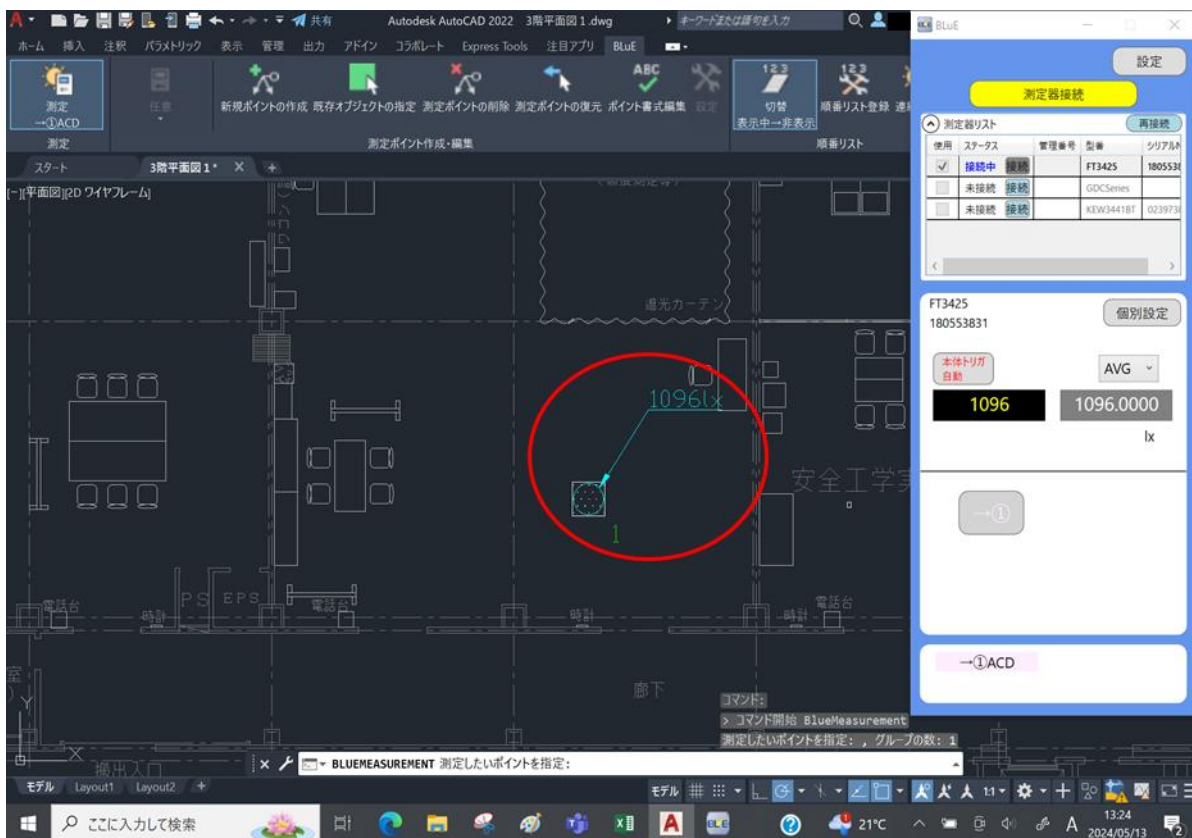
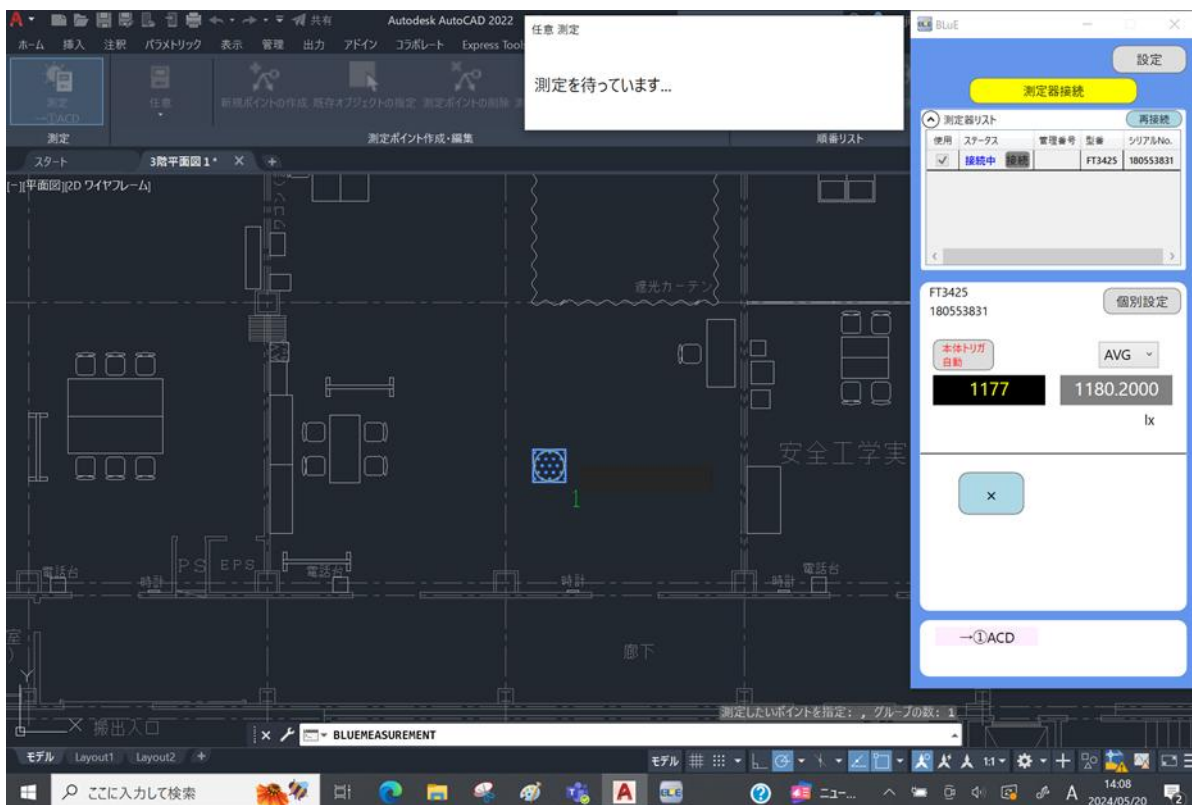
入力したい測定ポイントをタップすると、測定値が入ります。



測定ポイントをタップ後、「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：FT3425の場合）

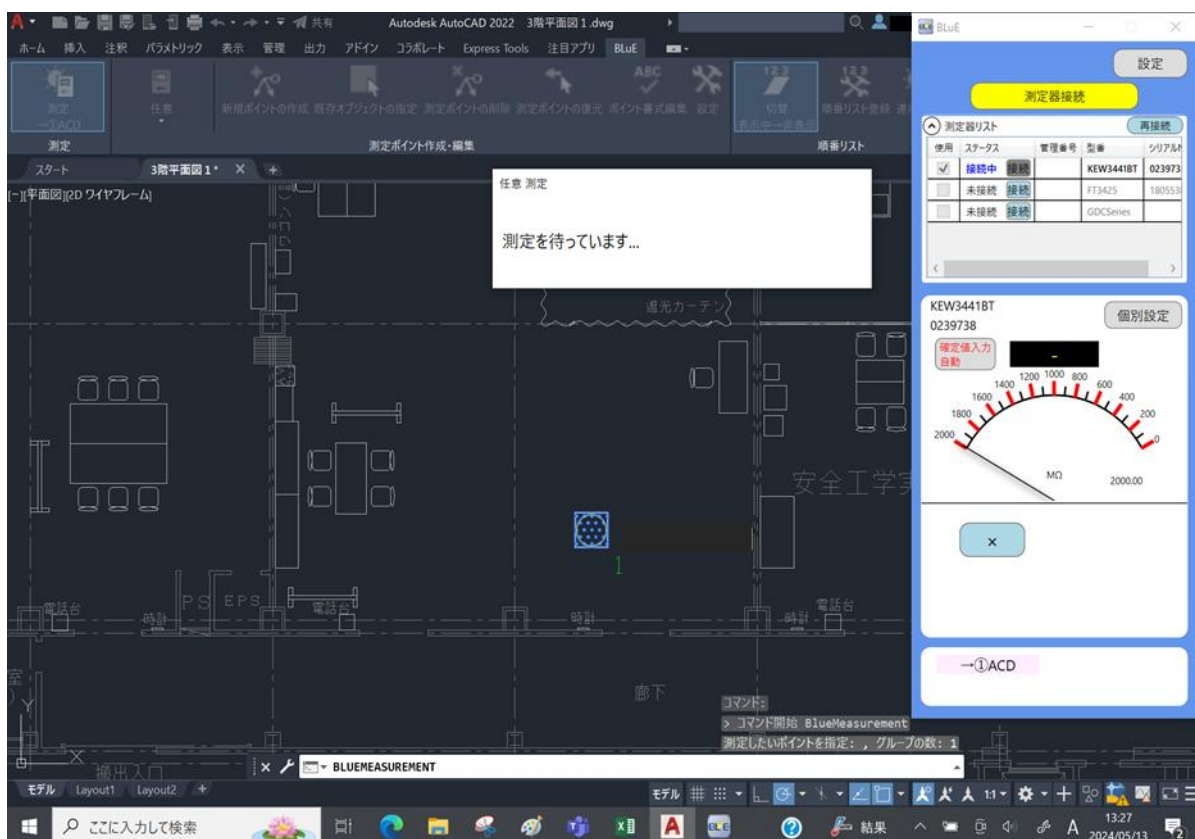
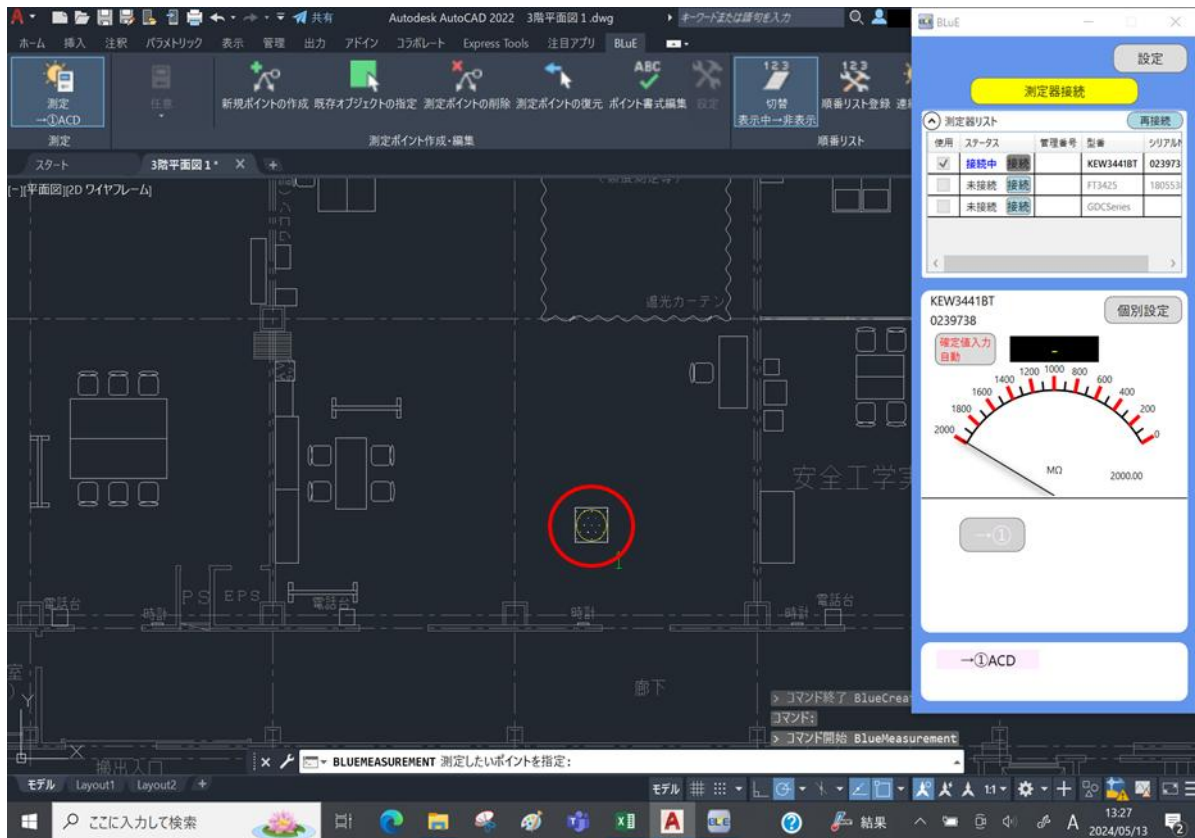
事前にBLuEの「入力ボタントリガ」と表示されている箇所をクリックし、「本体トリガ自動」に切り替えます。入力したい測定ポイントをタップし、測定器本体の「HOLD」ボタンを押すと、測定値が入ります。

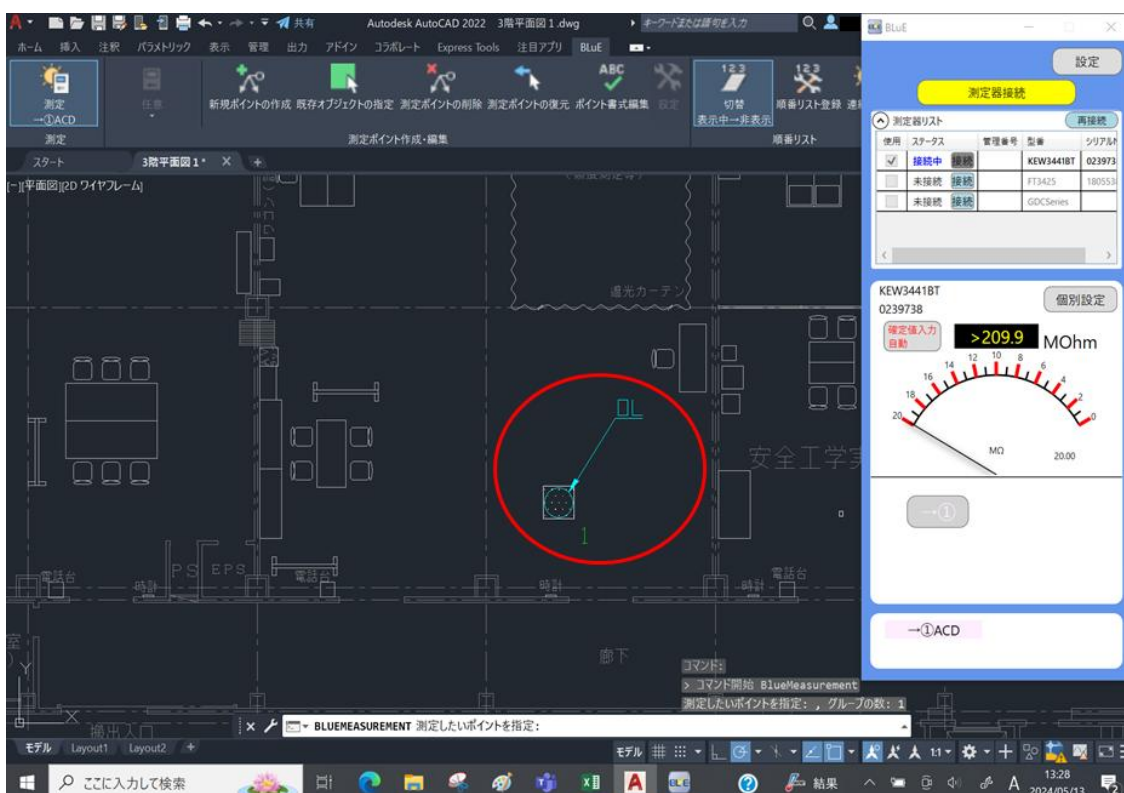
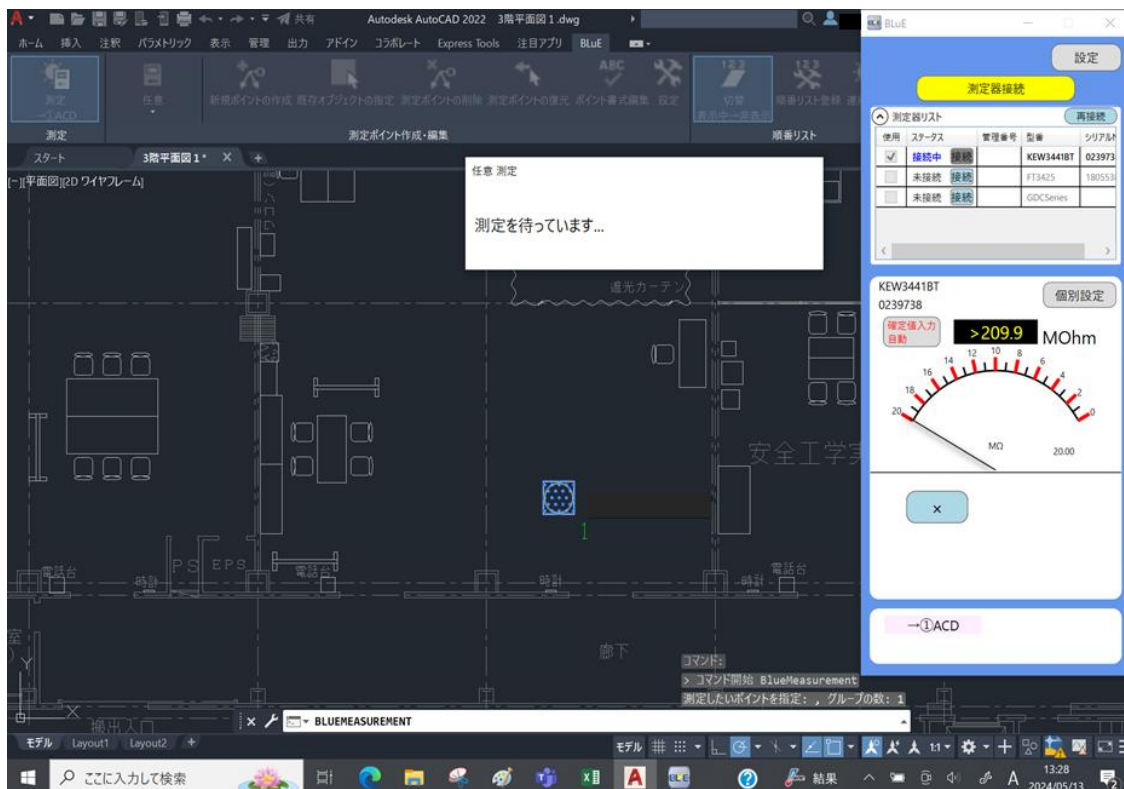




測定ポイントをタップ後、「測定器本体の操作」を行って入力する手順（例：KEW3441BT の場合）

入力したい測定ポイントをタップし、測定器本体の印加ボタン(橙ボタン)を長押し、離すと同時に測定値が入ります。





注記

- ◇ 測定器によって、入力方法・操作するボタンが異なります。
- 詳細については、P.35～P.37「表2 各測定器の測定値入力方法」を参照してください。

13 終了する

13.1 試験記録表・図面を保存する

Excel・AutoCAD それぞれ、保存ボタンを押し保存してください。

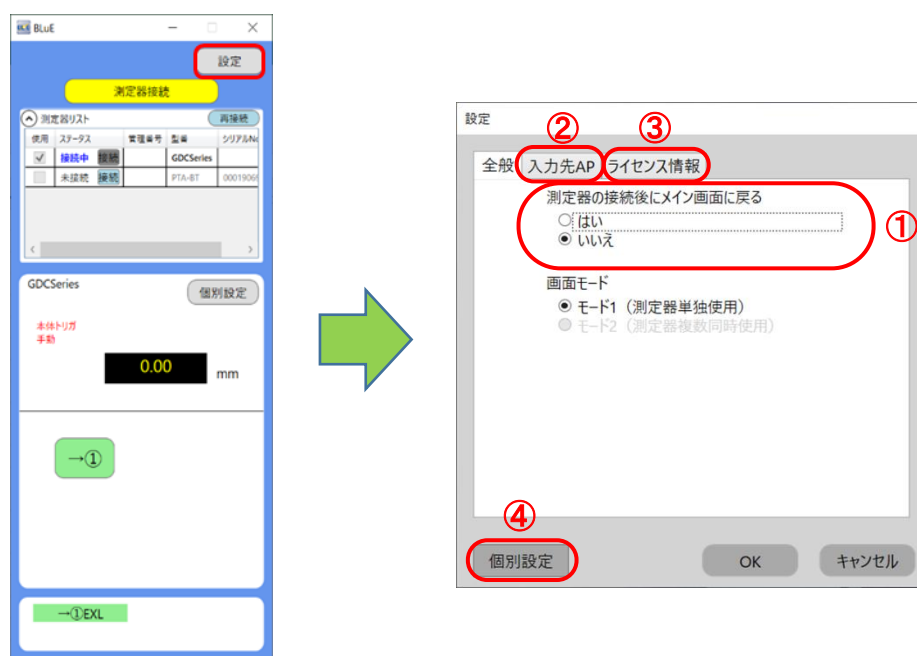
13.2 BLuE を終了する

BLuE 右上の「×」ボタンを押すと終了します。

14 その他

14.1 BLuE の設定

BLuE の設定ボタンを押すと、下記設定ができます。



① 接続時自動遷移

(ア) 「はい」の場合

接続管理画面で BLuE と測定器を接続すると、メイン画面へ自動遷移します。

(イ) 「いいえ」の場合

接続管理画面で BLuE と測定器を接続しても、メイン画面へ自動遷移しません。BLuE 画面上部の「戻る」をタップして、メイン画面へ遷移してください。

② 入力先 AP の指定

入力先 AP を指定することができます。(全タイプ連携可/AutoCAD/Excel)

設定

全般 入力先AP ライセンス情報

No.	入力先AP
1	全タイプ連携可
2	全タイプ連携可
3	全タイプ連携可
4	全タイプ連携可

個別設定 OK キャンセル

③ ライセンス情報

BLuE のライセンス情報を表示します。

設定

全般 入力先AP ライセンス情報

ユーザID

入力先AP

入力先AP	有効期限
ACD	
EXL	

測定器

測定器	有効期限

測定可能なモード

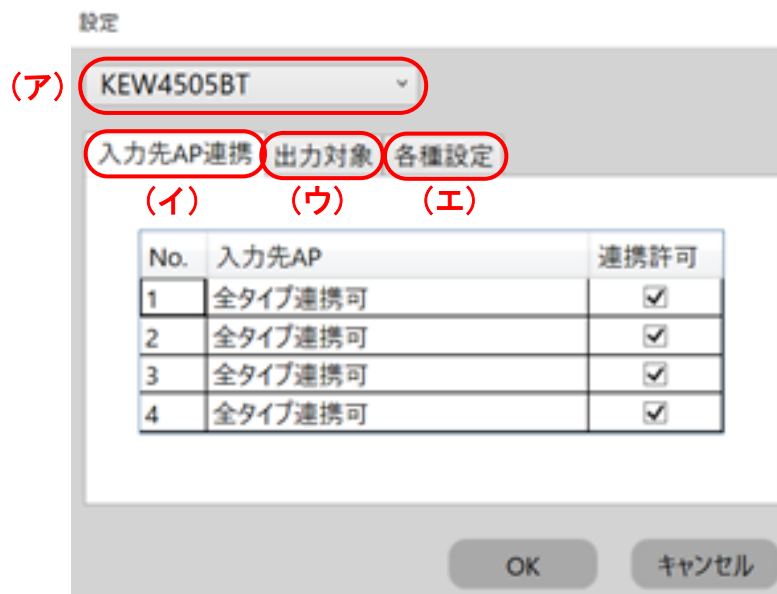
バージョン情報

最終ログイン日

個別設定 OK キャンセル

④ 個別設定

各測定器ごとに設定ができます。(例：KEW4505BT コンセントテスタ)



(ア) 測定器リスト

設定を変更する測定器をリストから選択できます。

(イ) 入力先 AP 連携

連携する入力先 AP を指定することができます。(全タイプ連携可/AutoCAD/Excel)

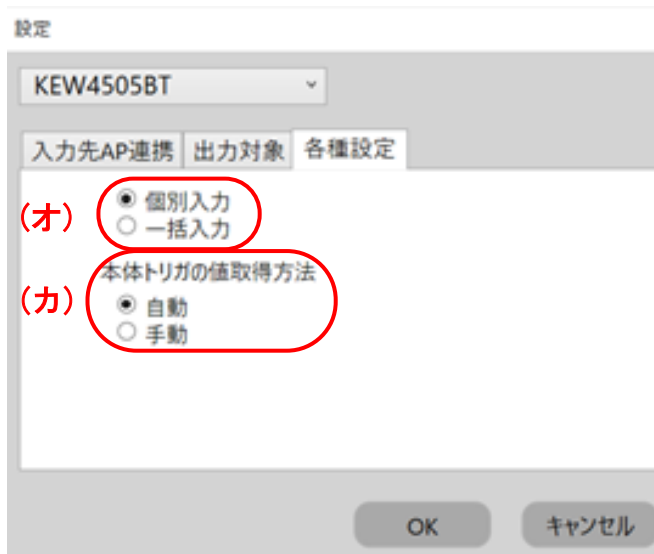
(ウ) 出力対象

出力する測定値を設定できます。



(工) 各種設定

各種設定ができます。



(オ) 個別入力、一括入力

BLuE は最大 4 つまでの入力先 AP(Excel・AutoCAD)と連携することができます。

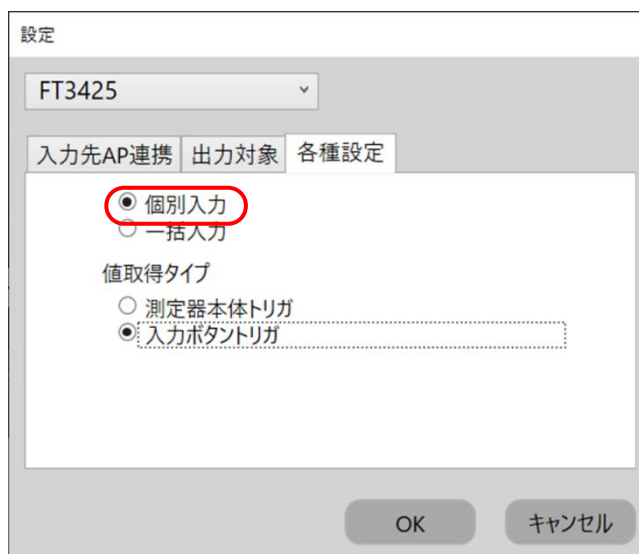
組み合わせは自由であり、複数の帳票・図面に対して、個別または一括で測定値を入力することができます。

注記

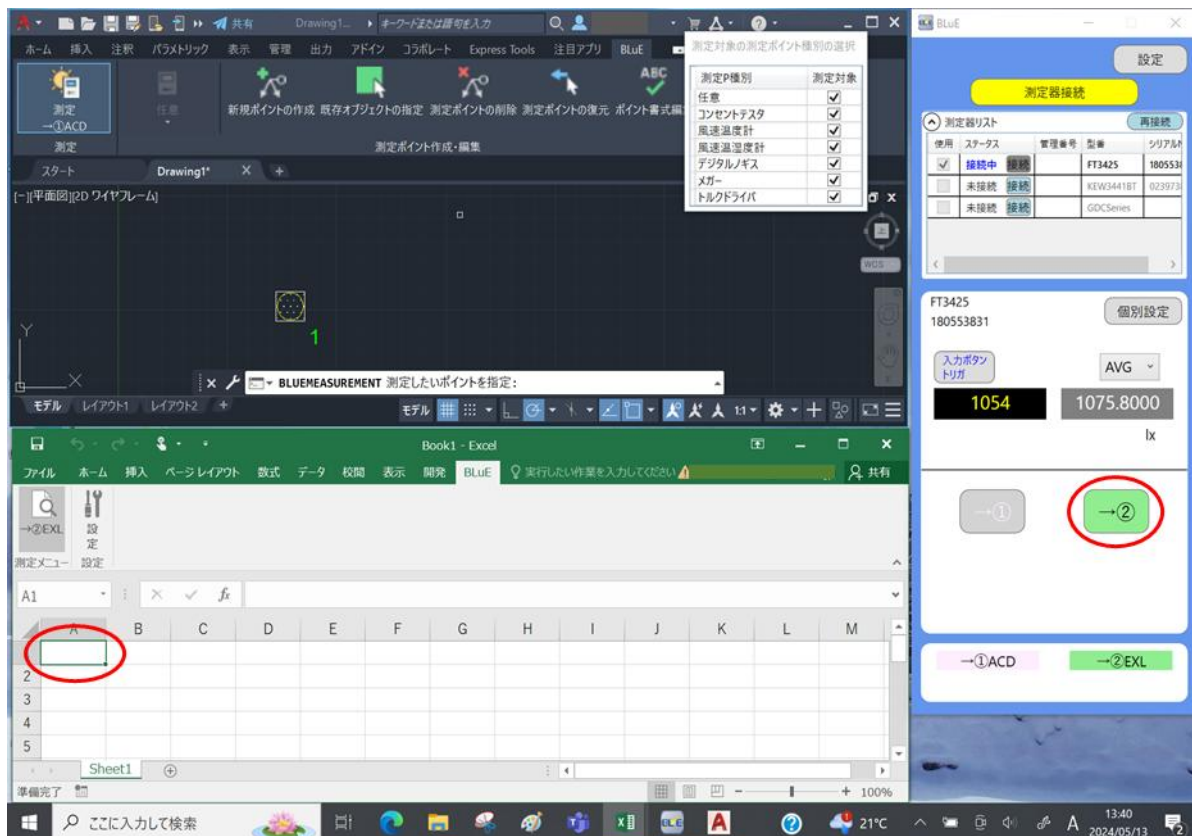
◇ 個別/一括入力ともに、測定値入力方法は、BLuE の入力ボタンを押して入力してください。

【個別入力例】

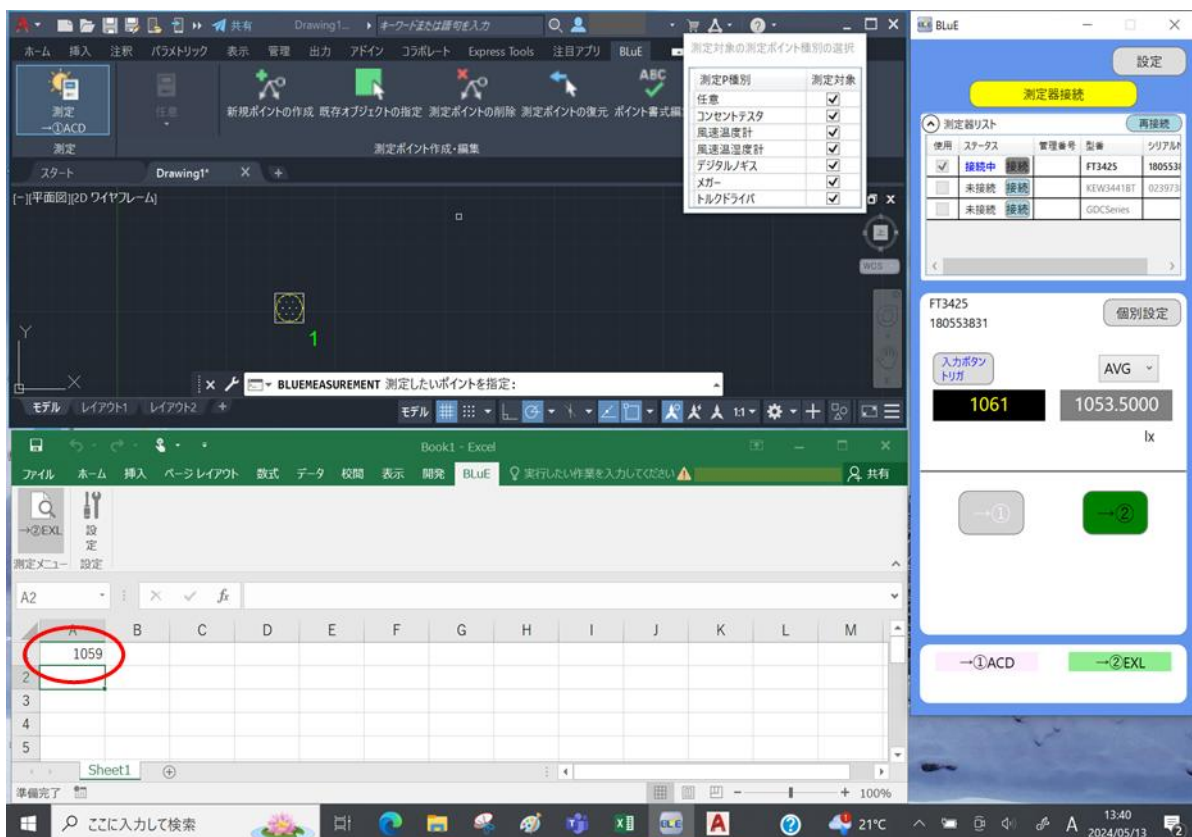
BLuE 側で「個別入力」を選択します。



入力したいセルを選択し、「→②」ボタンを押します。

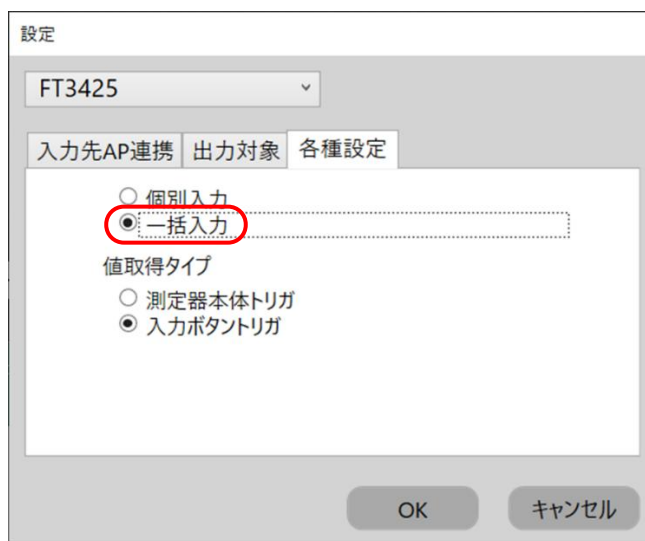


選択したセルに測定値が入ります。

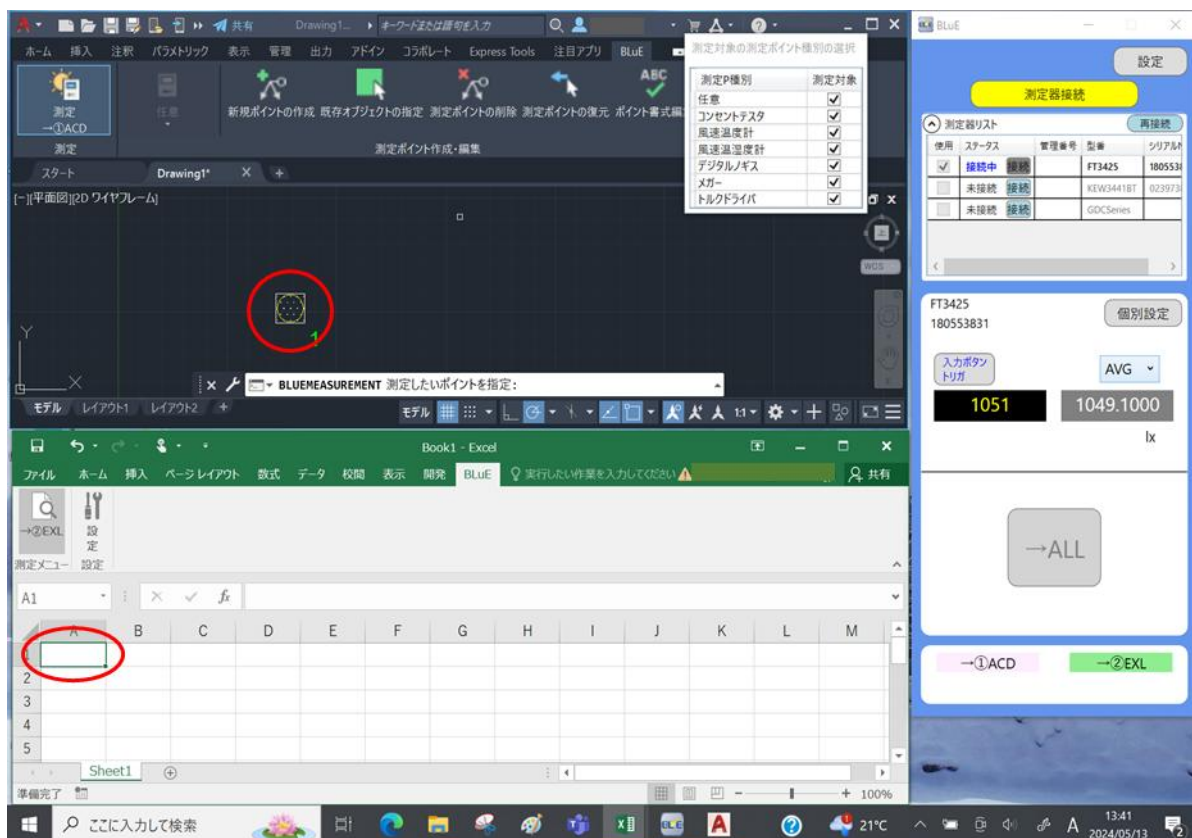


【一括入力例(Excel と AutoCAD)】

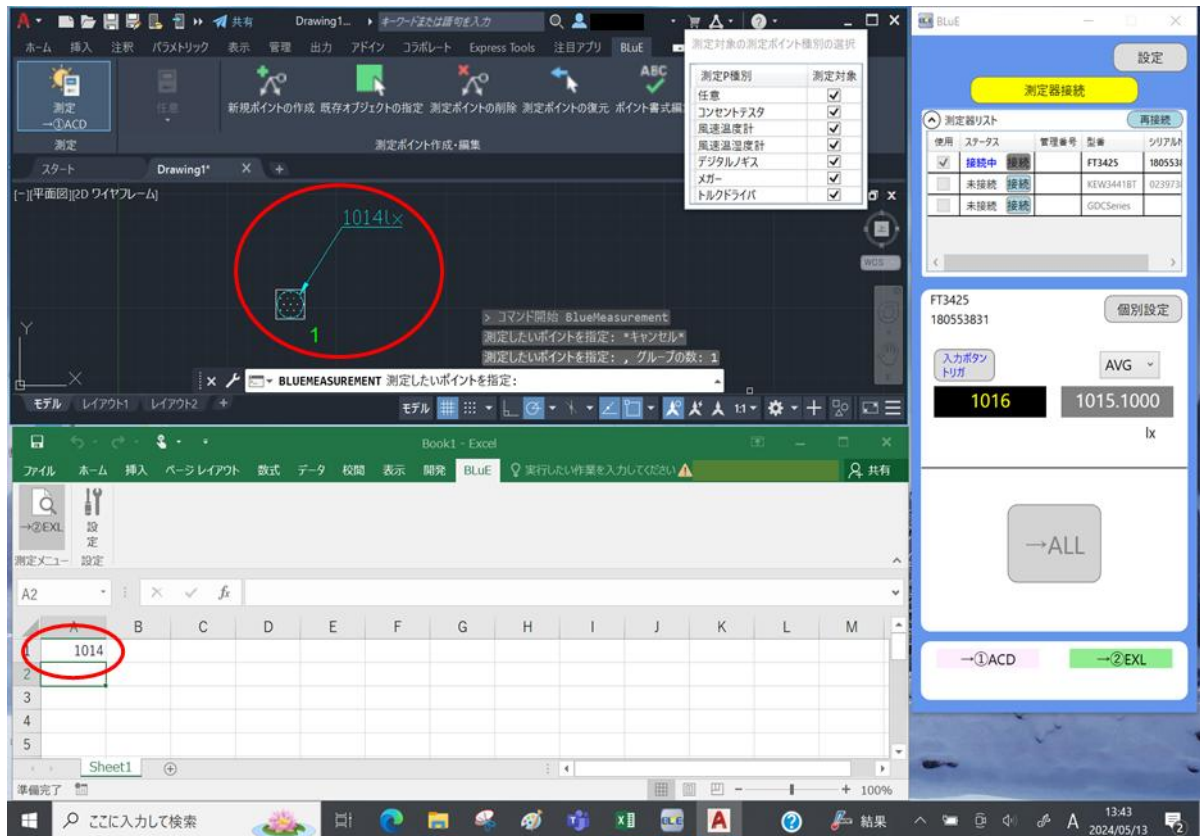
BLuE 側で「一括入力」を選択します。



入力したいセル・測定ポイントを選択します。



同じ測定値が選択したセル・測定ポイントに入力されます。



(カ) 本体トリガの値取得方法

入力先 AP に対しての測定値入力方法を選択できます。

「自動」：測定値取得後、入力先 AP へ自動で測定値を反映します。

「測定器本体トリガ」：測定器本体のボタンを押すことで、測定値を反映します。

「手動」：測定値取得後、BLuE 側のボタンを押下して、入力先 AP へ測定値を反映します。

「入力ボタントリガ」：測定値取得後、BLuE 側のボタンを押下して、

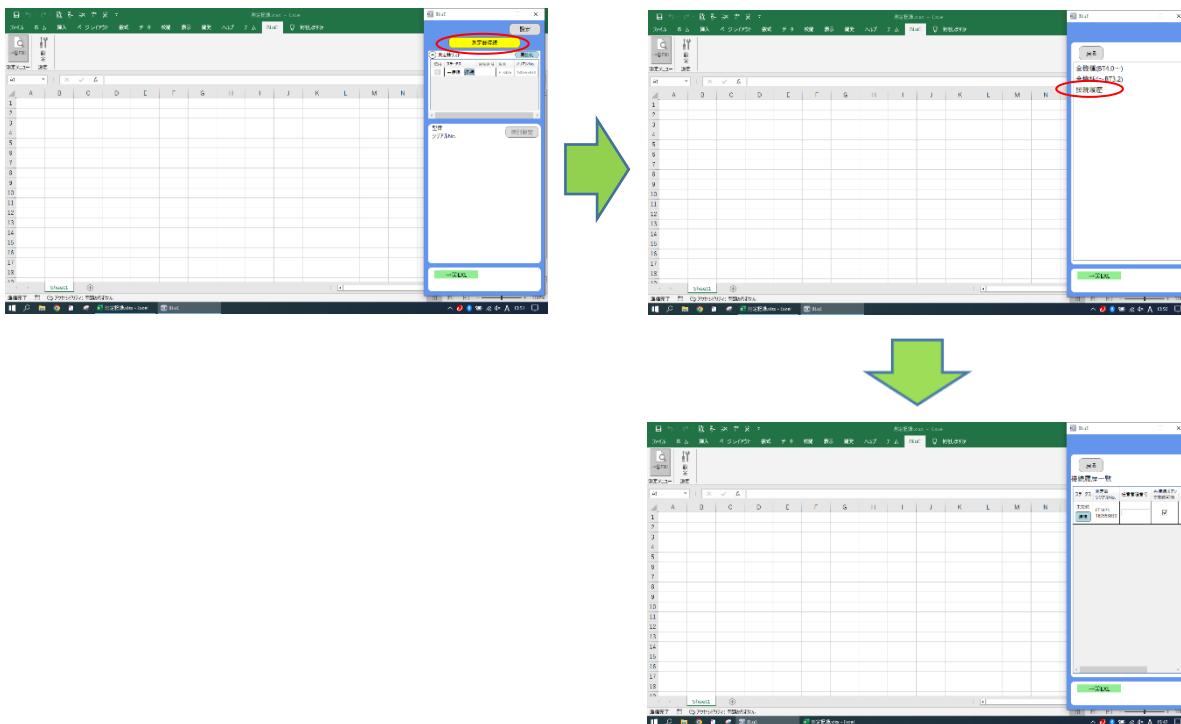
入力先 AP へ測定値を反映します。

⑤ 接続履歴

一度接続したことのある測定器であれば、接続履歴から接続することもできます。

BLuEの「測定器接続」ボタンをクリックすると機種選択画面を表示します。

接続履歴の行を選択すると、過去に接続した測定器の一覧が表示されます。



接続履歴一覧のイメージは以下のとおりで、各種操作ができます。

接続履歴一覧

ステータス	測定器 シリアルNo.	任意管理番号	再接続ボタン で接続可能	メイン画面で 接続可能	履歴削除
未接続 接続	FT3425 180553830		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	削除

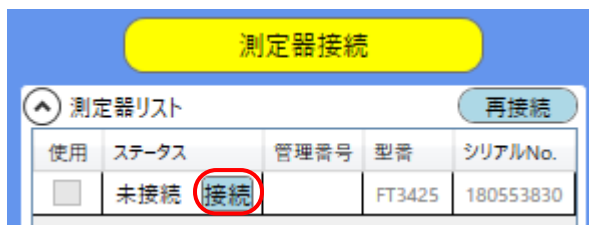
ステータス列： 接続状態を表します。接続/切断ボタンで接続や切断ができます。

任意管理番号： 各測定器に任意の番号を付けることができます。

再接続ボタンで接続可能： メイン画面の再接続ボタンをクリックすると、
測定器リスト内に表示されている測定器を上から順に再接続します。



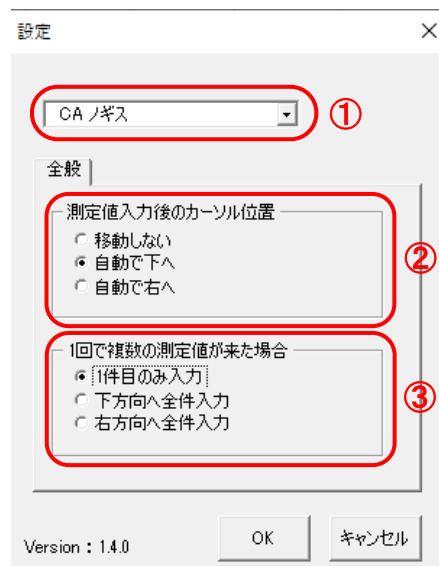
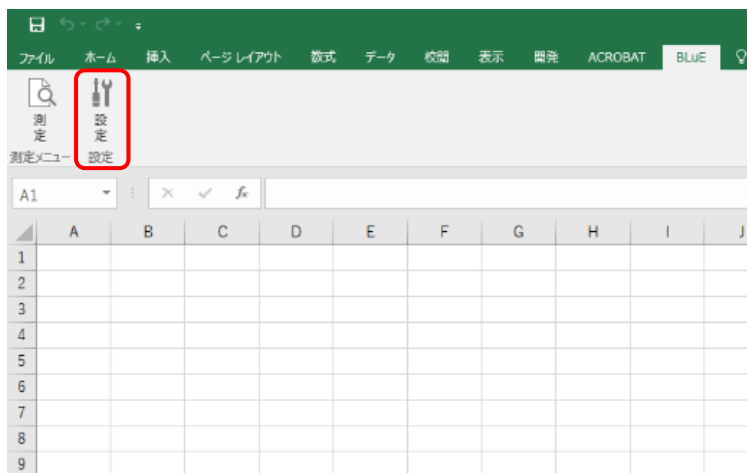
メイン画面で接続可能： アプリ起動時に、対象の測定器を測定器リストに表示します。
「接続」ボタンを押下すると再接続します。



履歴削除： 対象の測定器の接続履歴を削除します。

14.2 Excel の設定

Excel の設定ボタンを押すと、下記設定ができます。



① 測定器リスト

設定を変更する測定器をリストから選択できます。

② 測定値入力後のカーソル位置

測定値入力後にカーソルが自動的に指定した方向に移動します。

(移動しない/自動で下へ/自動で右へ)

③ 1回で複数の測定値が来た場合

複数の測定値が来た場合の入力方法を指定できます。

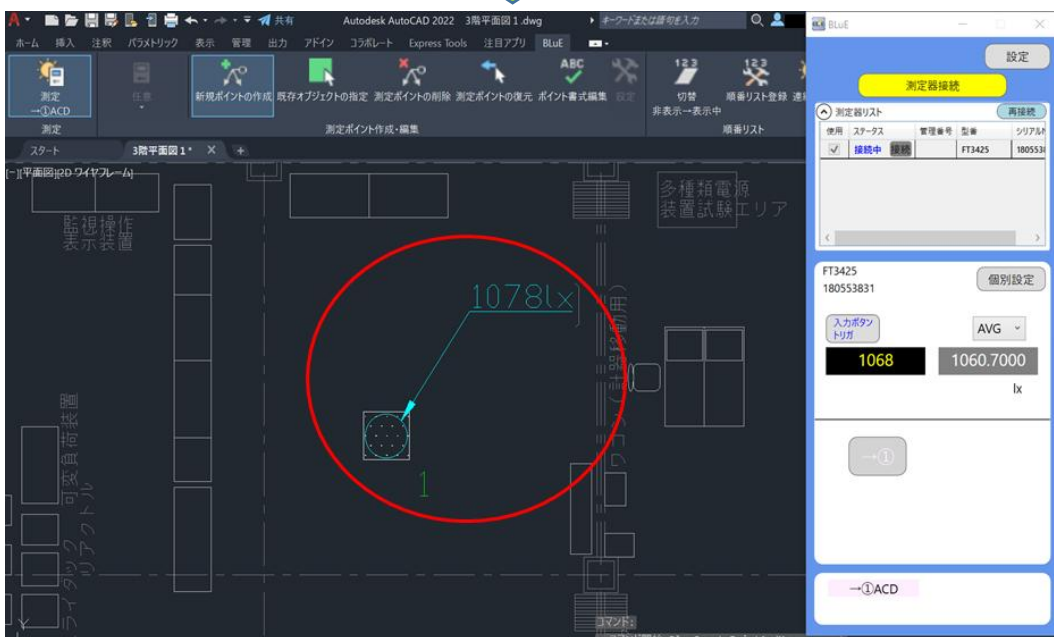
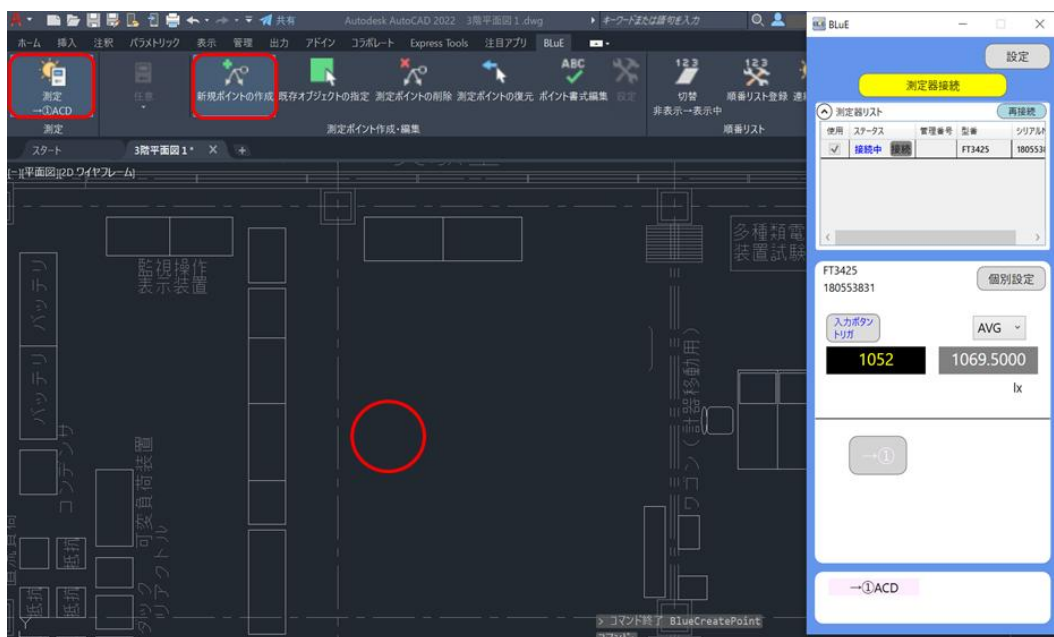
(1件目のみ入力/下方向へ全件入力/右方向へ全件入力)

14.3 AutoCAD の設定

各種設定ができます。

① 測定+測定ポイントの作成

「測定」ボタンと「新規ポイントの作成」ボタン両方を有効にした状態で、CAD 図面の任意の箇所をタップすると、測定ポイントの作成と同時に測定値が入ります。

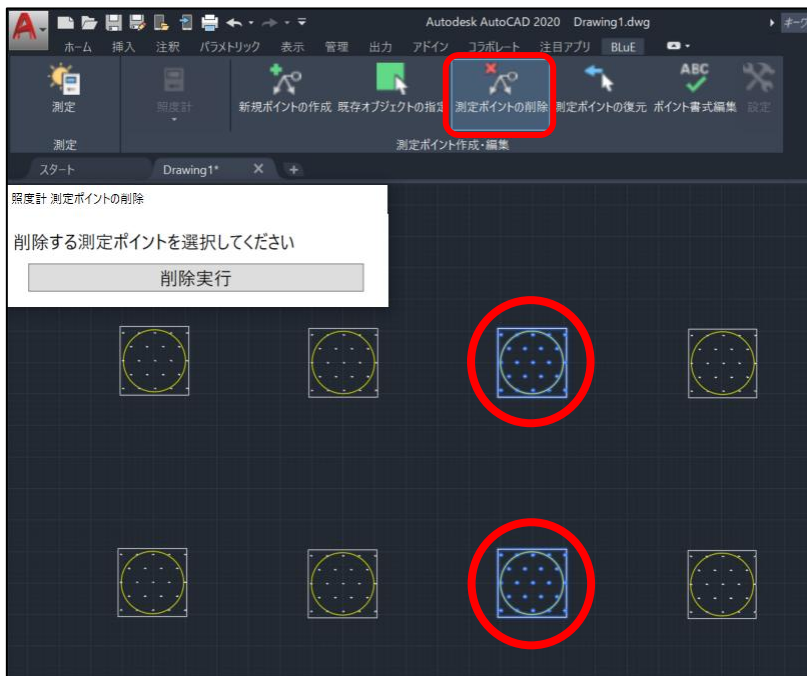


注記

◇ 測定手順については、P.38「12.2 測定を行う(AutoCAD)」を参照してください。

② 測定ポイントを削除する

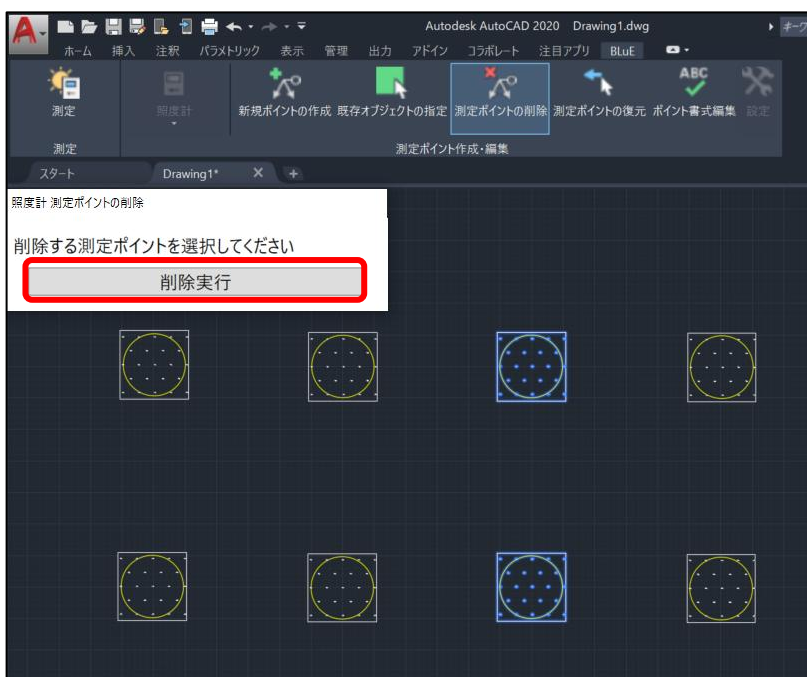
「測定ポイントの削除」を押下し、削除したい測定ポイントを選択します。測定ポイントは同時に複数選択できます。

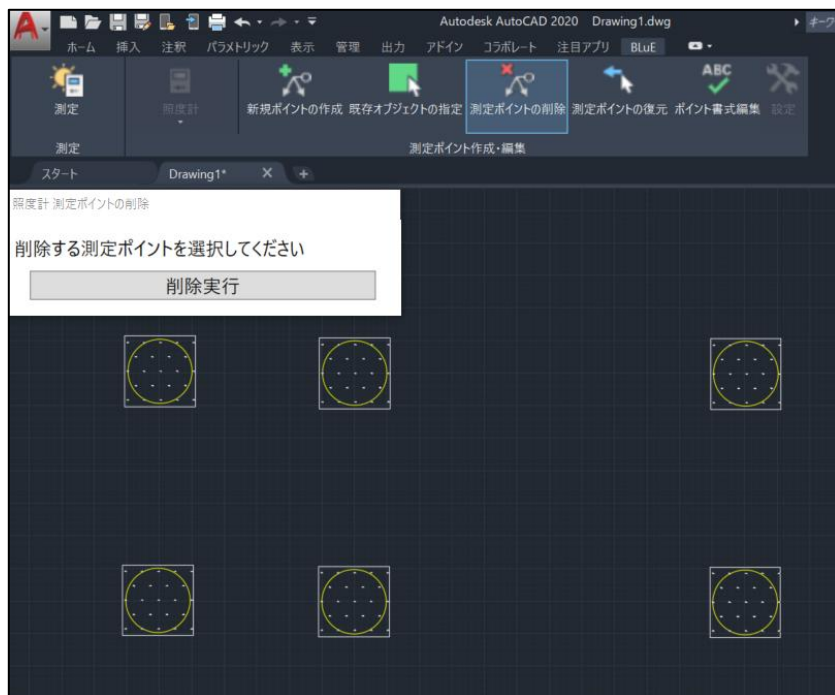
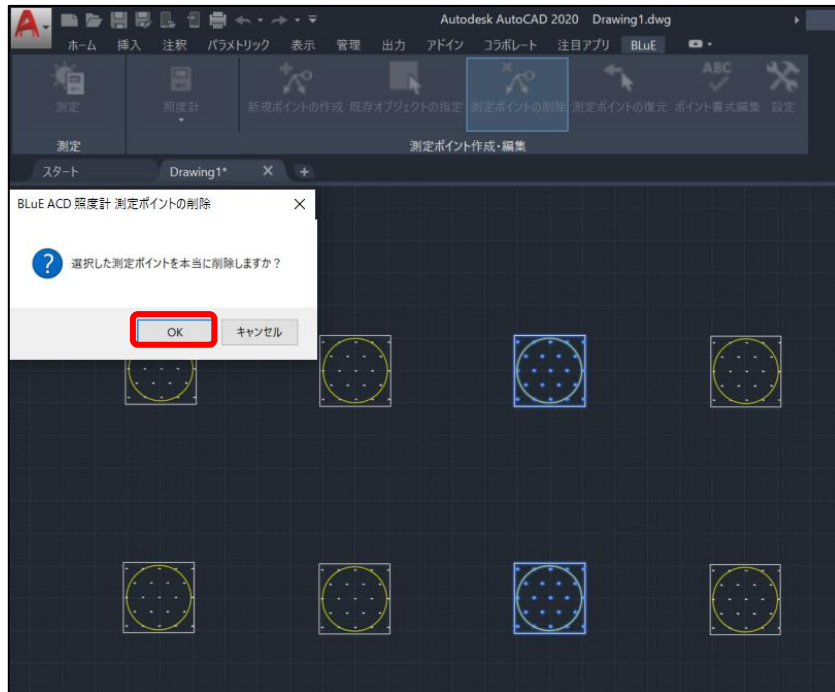


注記

◇ 未測定の測定ポイントを削除することは可能ですが、復元はできません。

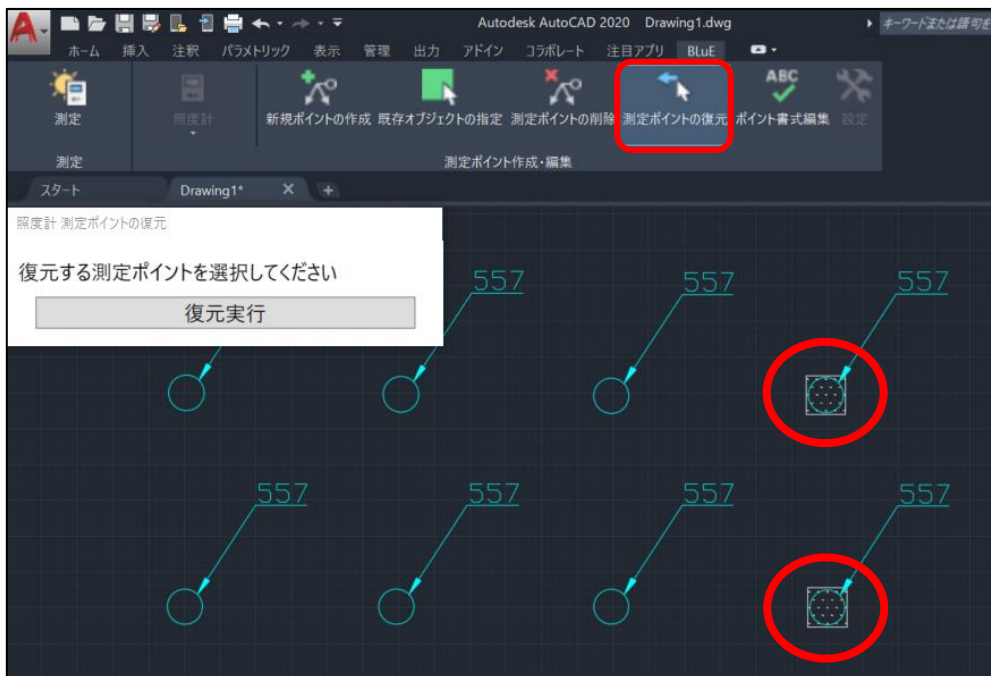
「削除実行」ボタンを押すと、「選択した測定ポイントを本当に削除しますか？」のダイアログが表示され、「OK」ボタンを押すと、削除されます。





③ 測定ポイントを復元する

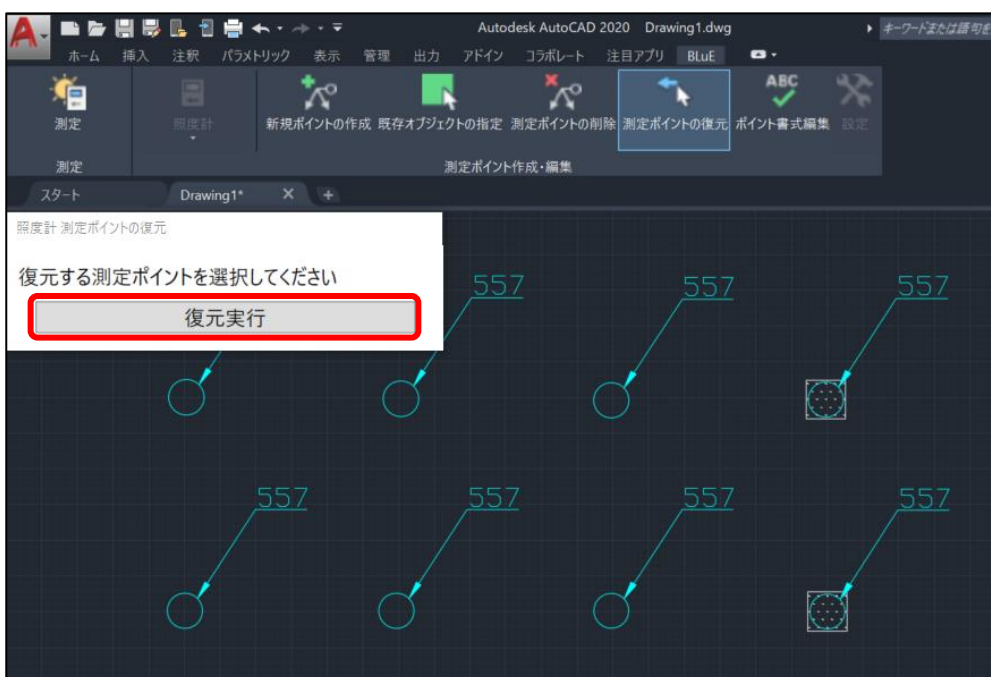
「測定ポイントの復元」を押下し、復元したい測定ポイントを選択します。測定ポイントは同時に複数選択できます。

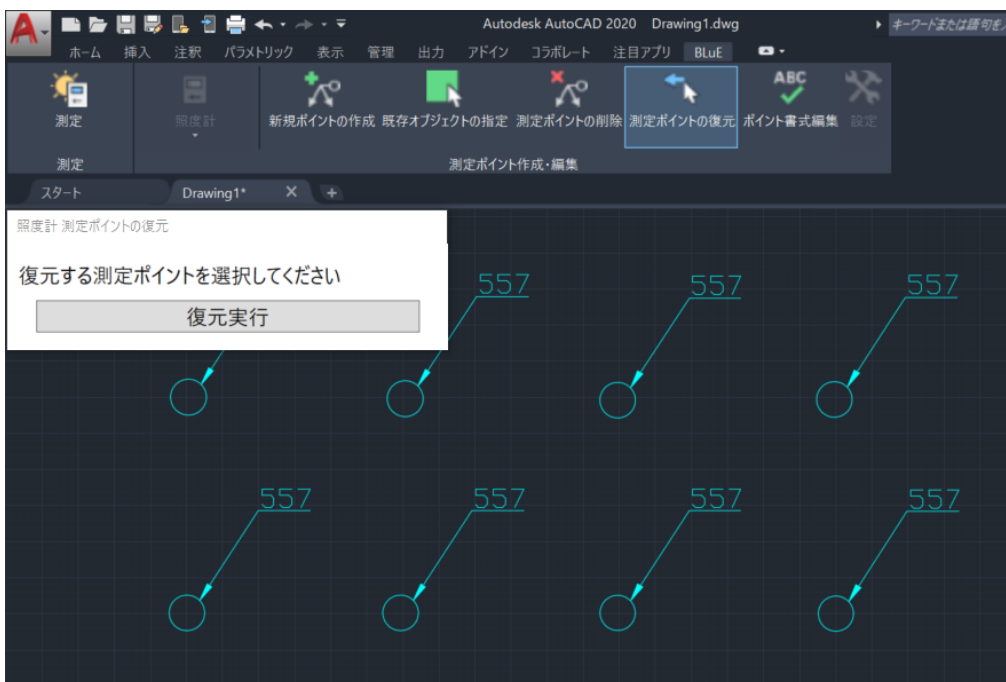
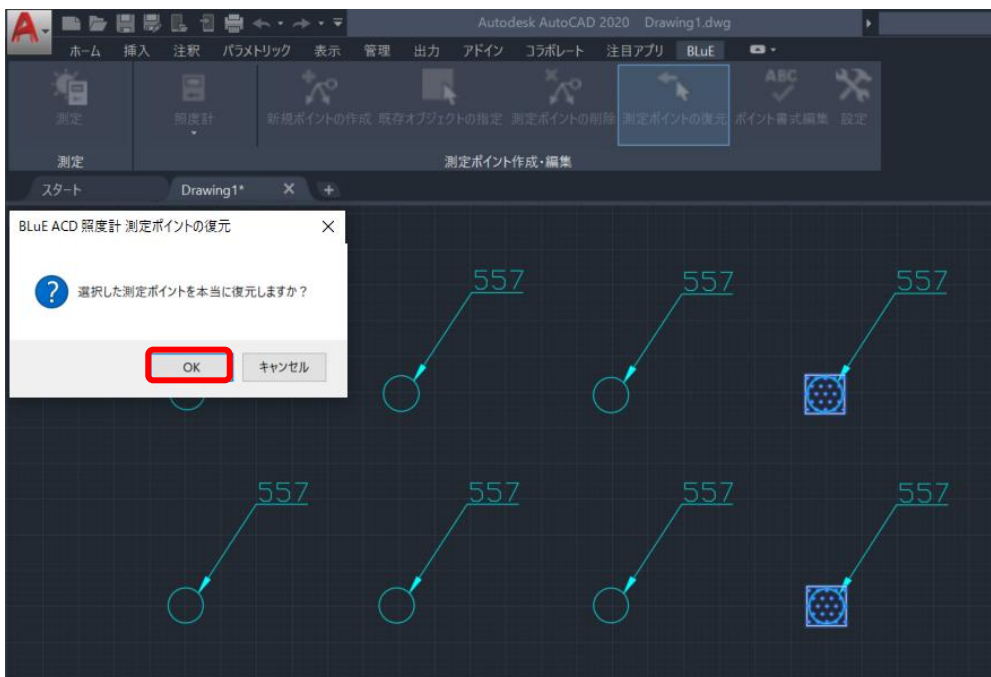


注記

◇ 未測定の測定ポイントは復元はできません。

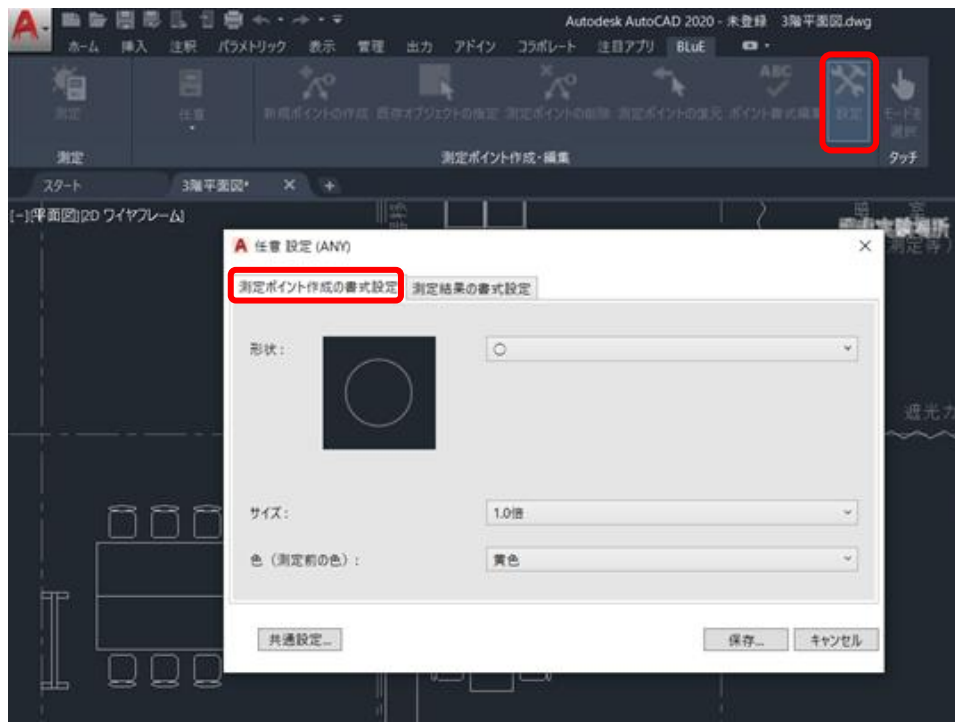
「復元実行」ボタンを押すと、「選択した測定ポイントを本当に復元しますか？」のダイアログが表示され、「OK」ボタンを押すと、復元されます。





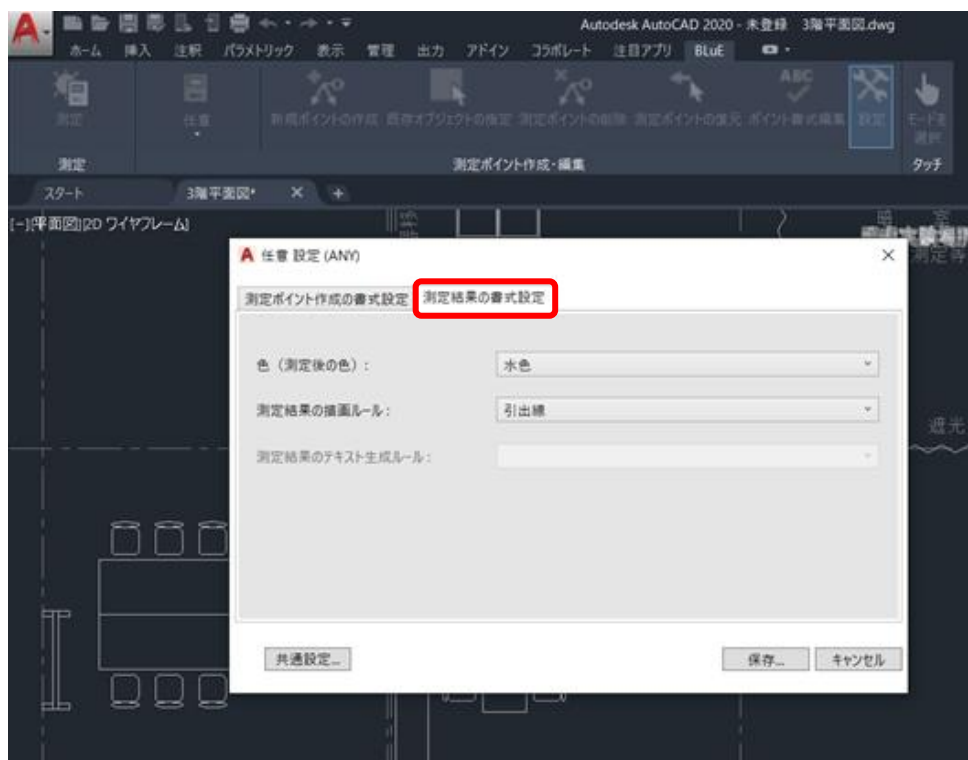
④ 測定ポイント書式設定

測定ポイントのデフォルト書式を設定します。「設定」ボタンを押下すると、形状、サイズ、色（測定前）を設定することができます。変更後に、「保存」ボタンを押下することによりデフォルト設定されます。



項目	設定内容
形状	"○"、"□"、"△"、"×"、"◇"
サイズ	0.5 倍、1.0 倍以降は+ 1.0 倍を 20.0 倍まで選択可能
色（測定前）	"赤色"、"青色"、"緑色"、"黄色"、"水色"、"紫色"、"白色"、"ByLayer"

測定ポイントに表示する測定結果の書式を設定します。色（測定後）、測定結果のテキスト生成ルールを設定することができます。



項目	設定内容
色（測定後）	“赤色”、“青色”、“緑色”、“黄色”、“水色”、“紫色”、“白色”、“ByLayer”
描画ルール	“引出線”

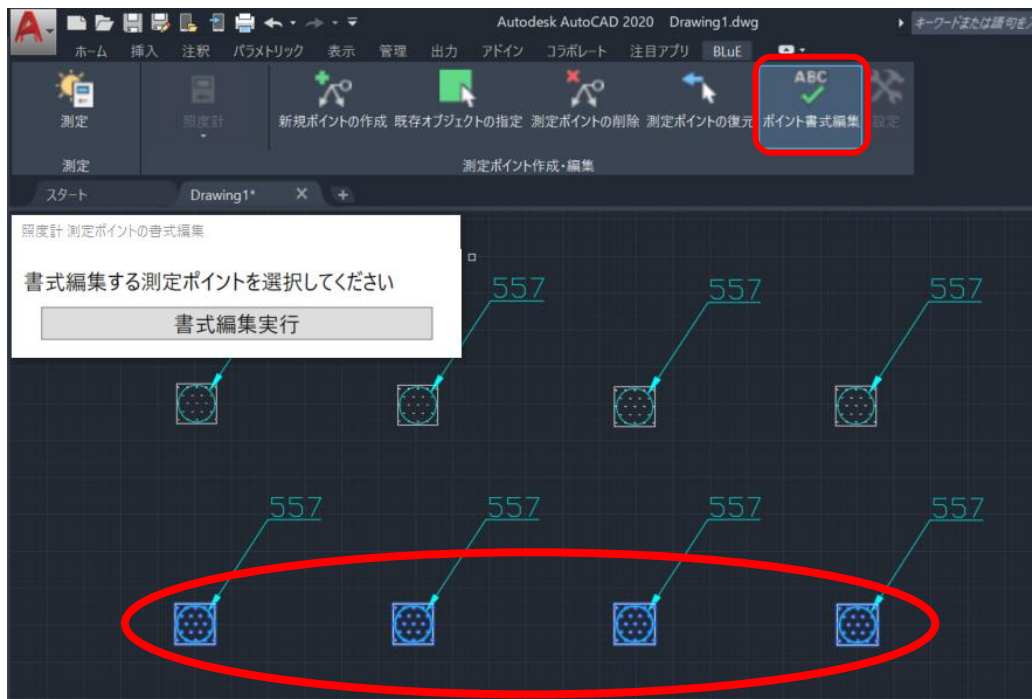
⑤ 測定ポイント書式変更

測定ポイントの書式（形状、サイズ、色、測定結果のテキスト生成ルール）変更ができます。

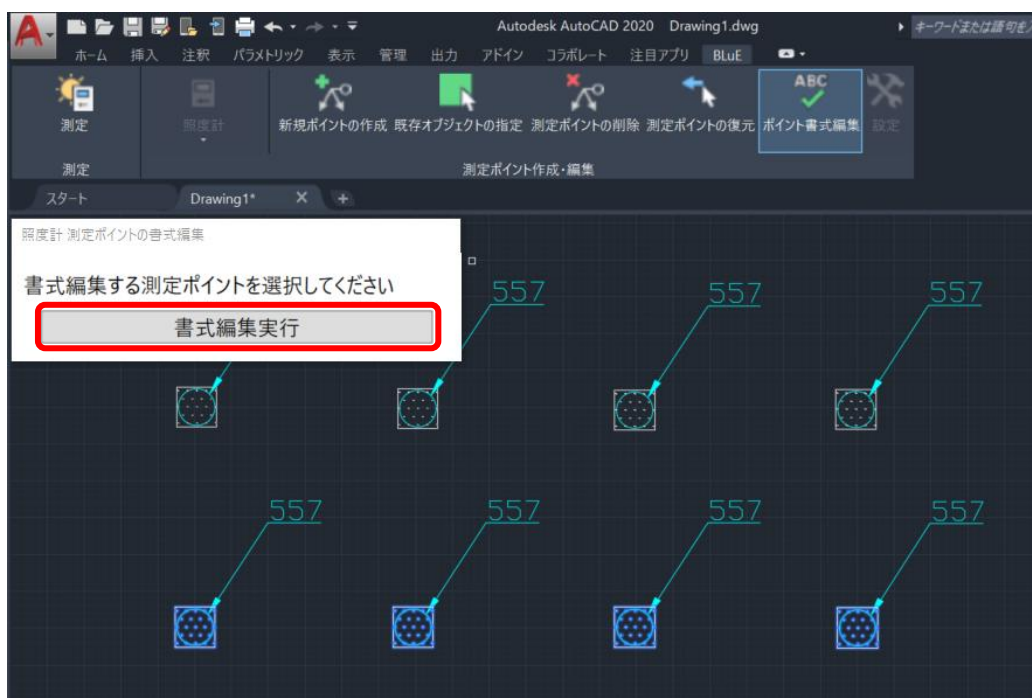
注記

- ◇ 測定ポイントのデフォルト書式設定については、P.59「14.3④ 測定ポイント書式設定」を参照してください。

「ポイント書式編集」を押下し、編集したい測定ポイントを選択します。



「書式編集実行」を押します。



書式編集のダイアログで、形状、サイズ、色、測定結果のテキスト生成ルールをプルダウンから選択します。



項目	設定内容
形状	"○"、"□"、"△"、"×"、"◇"
サイズ	0.5 倍、1.0 倍以降は+ 1.0 倍を 20.0 倍まで選択可能
色 (測定後)	"赤色"、"青色"、"緑色"、"黄色"、"水色"、"紫色"、"白色"、"ByLayer"
描画ルール	"引出線"
テキスト生成ルール	デジタルノギス："測定値 (+123.45)、測定値 + 単位 (+123.45MM)" コンセントテスタ："電圧値/極性/接地(改行区切り)、電圧値/極性/接地(カンマ区切り)" リーククランプ："電流(1.23)、電流(1.23mA)" M-1140X/XR、M-1141X/XR、MCL-800DX/DXR は、以下の選択が可能 "CL01 温度(24.6)、CL01 温度(24.6℃)、 CL01 湿度(45.6)、CL01 湿度(45.6%RH)、 CL01 電流 MAX(3.21)、CL01 電流 MAX(3.21mA)、 CL01 電流/温度/湿度/電流 MAX(改行区切り)、 CL01 電流/温度/湿度/電流 MAX(カンマ区切り)、 CL01 電流/温度/湿度(改行区切り)、 CL01 電流/温度/湿度(カンマ区切り)"

	<p>クランプメータ：“測定値(123.4)、OPEN、OVER など、測定値+単位(123.4A)、OPEN、OVER など”</p> <p>デプスゲージ：“測定値(+123.4)、測定値+単位(+123.4MM)”</p> <p>DMM：“測定値(123.4)、オーバーロード(OL)、測定値+単位(123.4V)、オーバーロード(OL)”</p> <p>接地抵抗計：“測定値(1.23) オーバーレンジ(OL)、測定値(1.23) オーバーレンジ(>4199)、測定値+単位(1.23ohm)オーバーレンジ(>4199ohm)”</p> <p>照度計：“測定値(123.4)、オーバーロード(-OLなど)、測定値+単位(123.4lx)、オーバーロード(-OLなど)”</p> <p>メガー：“測定値(123)、オーバーレンジ(OL)、測定値(123)、オーバーレンジ(>209.9)、測定値+単位(123MΩ)、オーバーレンジ(>209.9MΩ)”</p> <p>マイクロメータ：“測定値(+123.456)、測定値+単位(+123.456MM)”</p> <p>圧力計：“測定値(120.5)、測定値+単位(120.5kPa)”</p> <p>検相器：“相回転、R-S/S-T/T-R 電圧(改行区切り)、R-S/S-T/T-R 電圧(カンマ区切り)、相回転/ R-S/S-T/T-R 電圧(改行区切り)、相回転/ R-S/S-T/T-R 電圧(カンマ区切り)”</p> <p>トルクドライバ：“測定値(-123.4)、測定値+単位(-123.4cN・m)、トルク/角度/判定結果(改行区切り)、トルク/角度/判定結果(カンマ区切り)”</p> <p>温湿度計：“CH1 温度(24.5) BURN OUT など、CH1 温度(24.5℃) BURN OUT など、CH1 湿度(60) BURN OUT など、CH1 湿度(60%) BURN OUT など、CH2 温度(23.3) BURN OUT など、CH2</p>
--	---

	<p>温度(23.3℃) BURN OUT など、CH2 湿度(62) BURN OUT など、CH2 湿度(62%) BURN OUT など、CH1 温度/湿度(改行区切り)、CH1 温度/湿度(カンマ区切り)、CH1 温度/湿度/CH2 温度/湿度(改行区切り)、CH1 温度/湿度/CH2 温度/湿度(カンマ区切り)”</p> <p>トルクレンチ：“測定値(123.4)、測定値+単位(123.4cN・m)”</p> <p>風速温湿度計：“風速(12.34)、風速(12.34m/s)、温度(31.2)、温度(31.2℃)、湿度(60.3)、湿度(60.3%RH)、風速/温度/湿度(改行区切り)、風速/温度/湿度(カンマ区切り)”</p> <p>風速温度計：“風速(12.34)、風速(12.34m/s)、温度(31.2)、温度(31.2℃)、風速/温度(改行区切り)、風速/温度(カンマ区切り)”</p> <p>デジタルメジャー：“測定値(12.3)、測定値+単位(12.3mm)”</p> <p>室内環境測定器：“温度(28.9)、温度(28.9℃)、湿度(50.6)、湿度(50.6%rh)、CO(0.1)、CO(0.1ppm)、CO2(400.0)、CO2(400.0ppm)、気流(0.07)、気流(0.07m/s)、粉じん(0.001)、粉じん(0.001mg/m3)、騒音(64.9)、騒音(64.9dB)、照度(748)、照度(748lx)、温度/湿度/CO/CO2/気流/粉じん/(改行区切り)、温度/湿度/CO/CO2/気流/粉じん(カンマ区切り)、温度/湿度/CO/CO2/気流/粉じん/騒音/照度/(改行区切り)、温度、湿度/CO/CO2/気流/粉じん/騒音/照度(カンマ区切り)”</p> <p>音圧計：“測定値(123.45)、測定値+単位(123.45dB)”</p> <p>水位・圧力計：“開始値+単位、終了値+単位、開始値/終了値(改行区切り)、開始値(+温度)/終了値(+温度)(カンマ/改行区切り)”</p> <p>電力量計：“測定値(12345.67)、測定値+単位(12345.67kWh)、形名/計器 ID/有効電力量/乗率(改行区切り)”</p> <p>膜厚計：“測定値(123.45)”</p>
--	---

	<p>バッテリーテスト：“抵抗(12.34)、抵抗(12.34mΩ)、電圧(12.34)、電圧(12.34V)、電圧/抵抗(改行区切り)、電圧/抵抗(カンマ区切り)、温度(12.34)、温度(12.34℃)”</p>
--	--

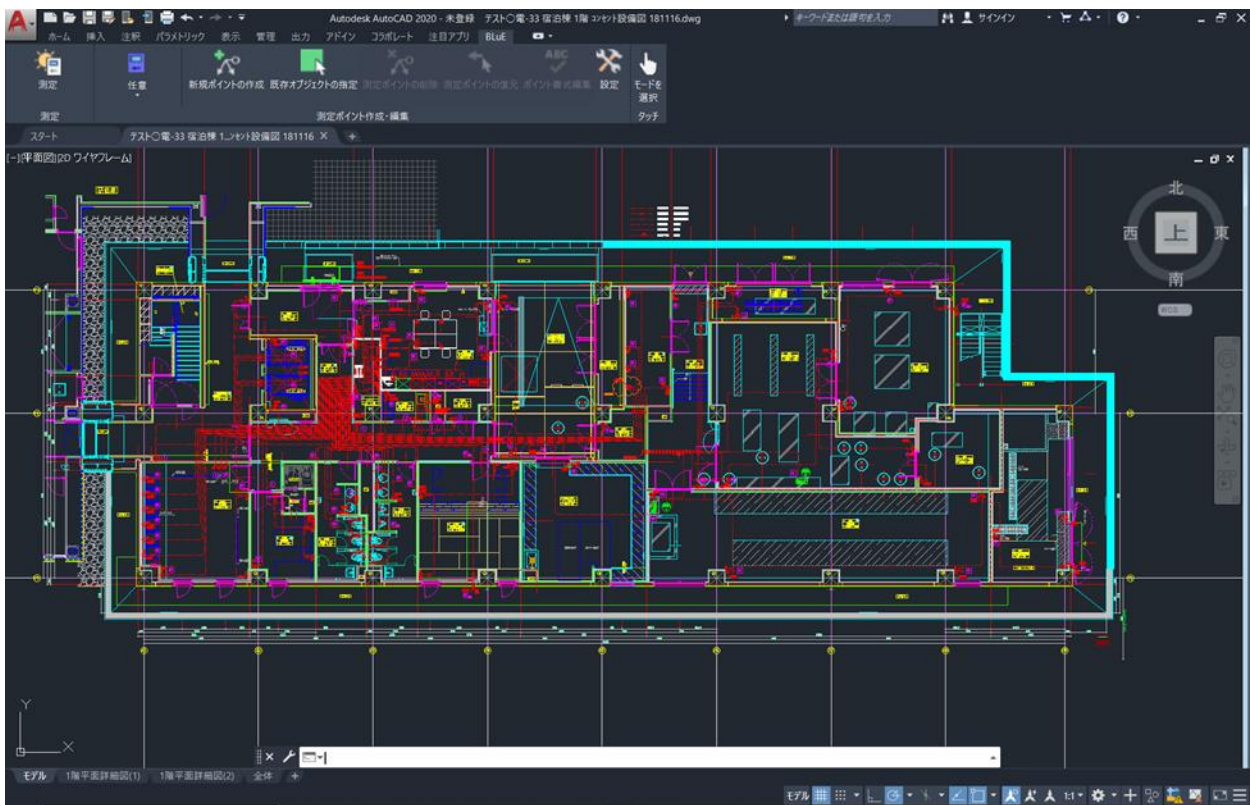
⑥ 測定ポイントを既存オブジェクトから作成(コンセントテストの場合のみ)

図面上に描かれているコンセントシンボルを測定ポイントとして設定することができます。

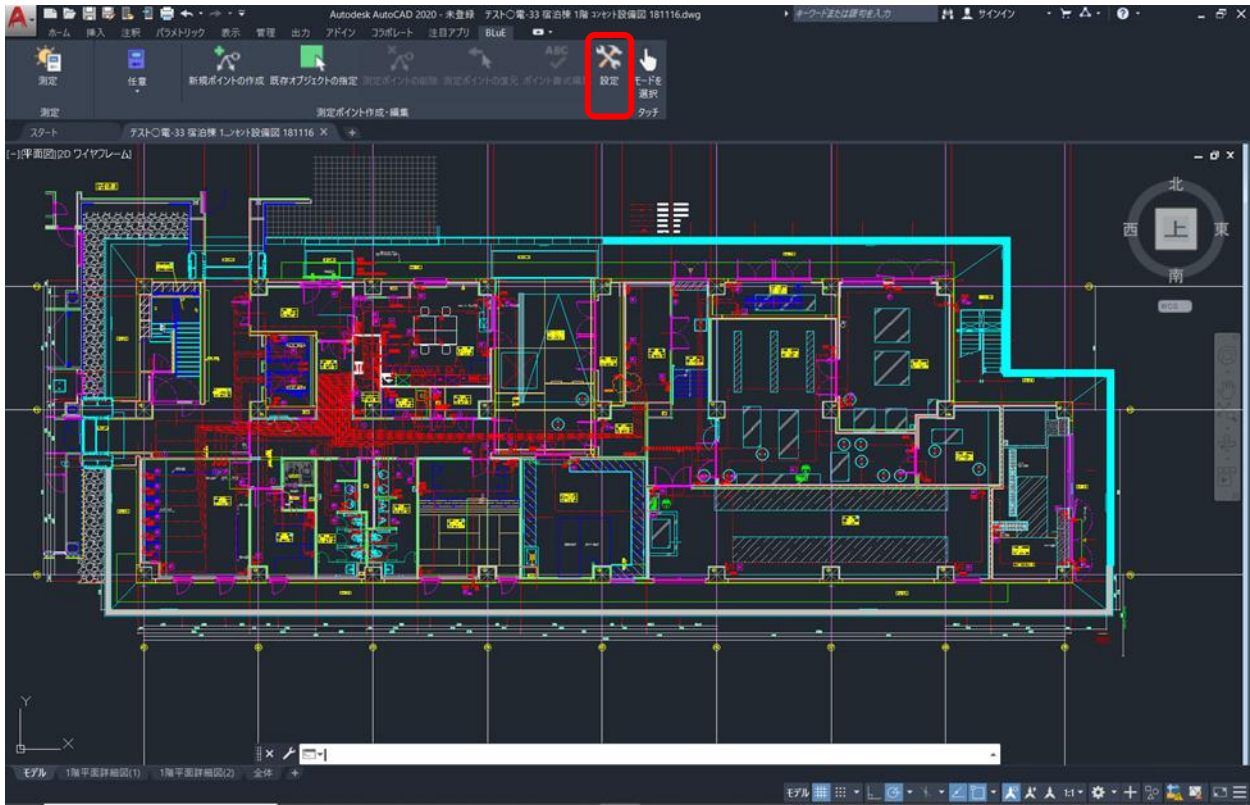
注記

- ◇ Tfas 等で作成したコンセント図面を DWG 変換する際、「DWG/DXF Ver を 2013 以上」に設定し、保存してください。「DWG/DXF Ver を 2013 以上」に設定していないと、動作しない恐れがあります。必ずご確認ください。

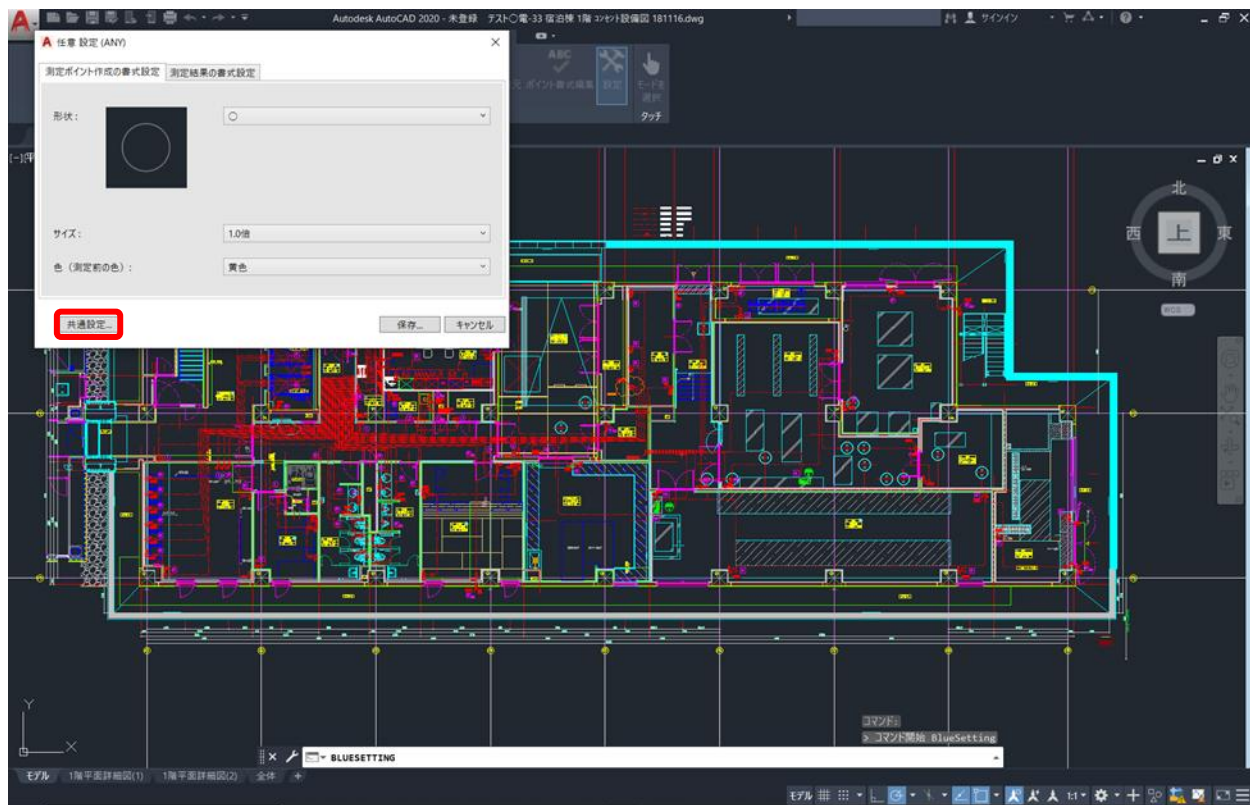
使用するコンセント図面を開きます。



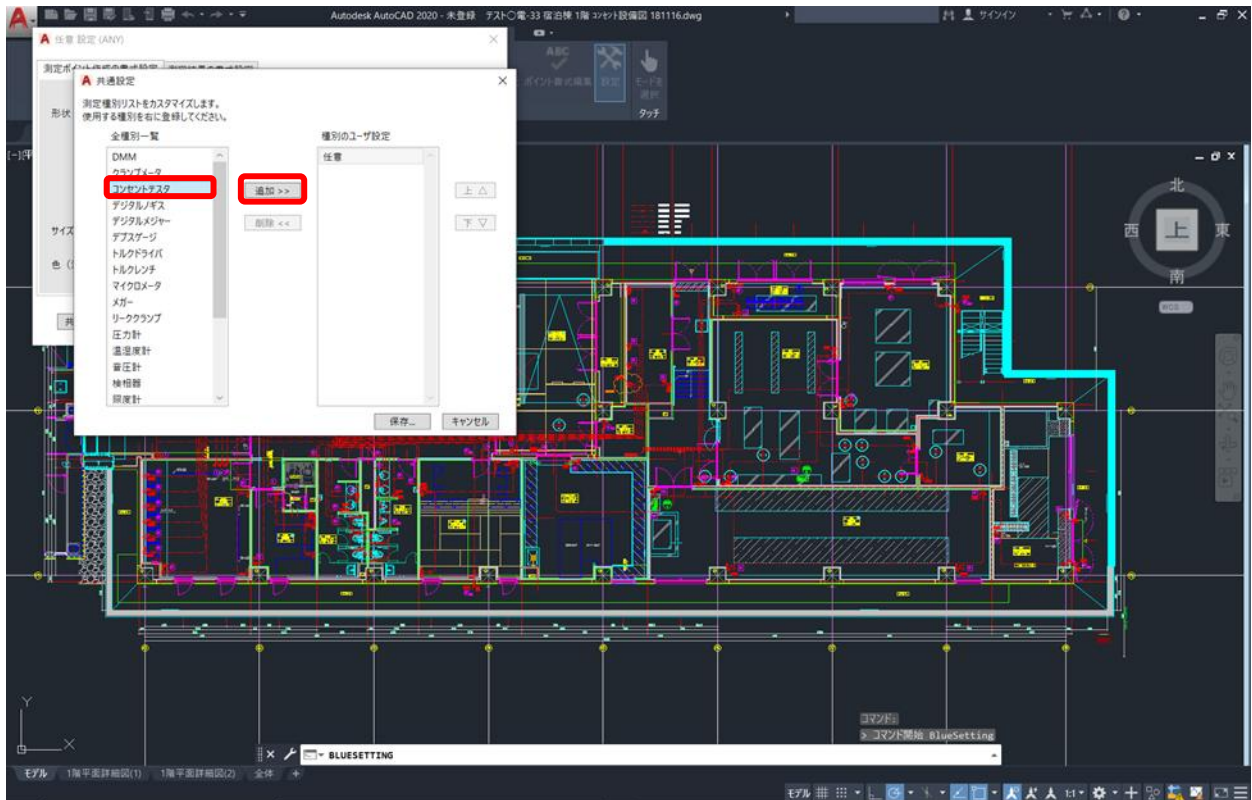
使用する図面を開いたら、「設定」ボタンを押します。



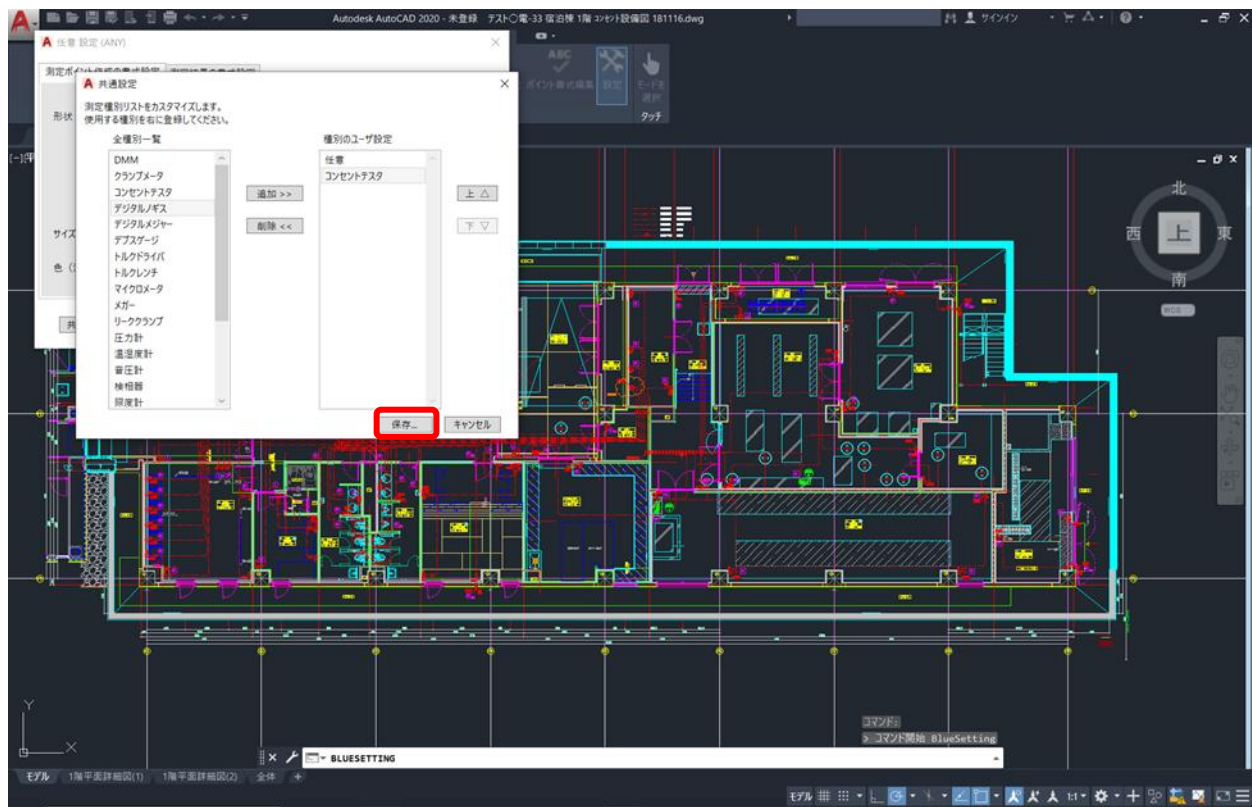
「共通設定」ボタンを押します。



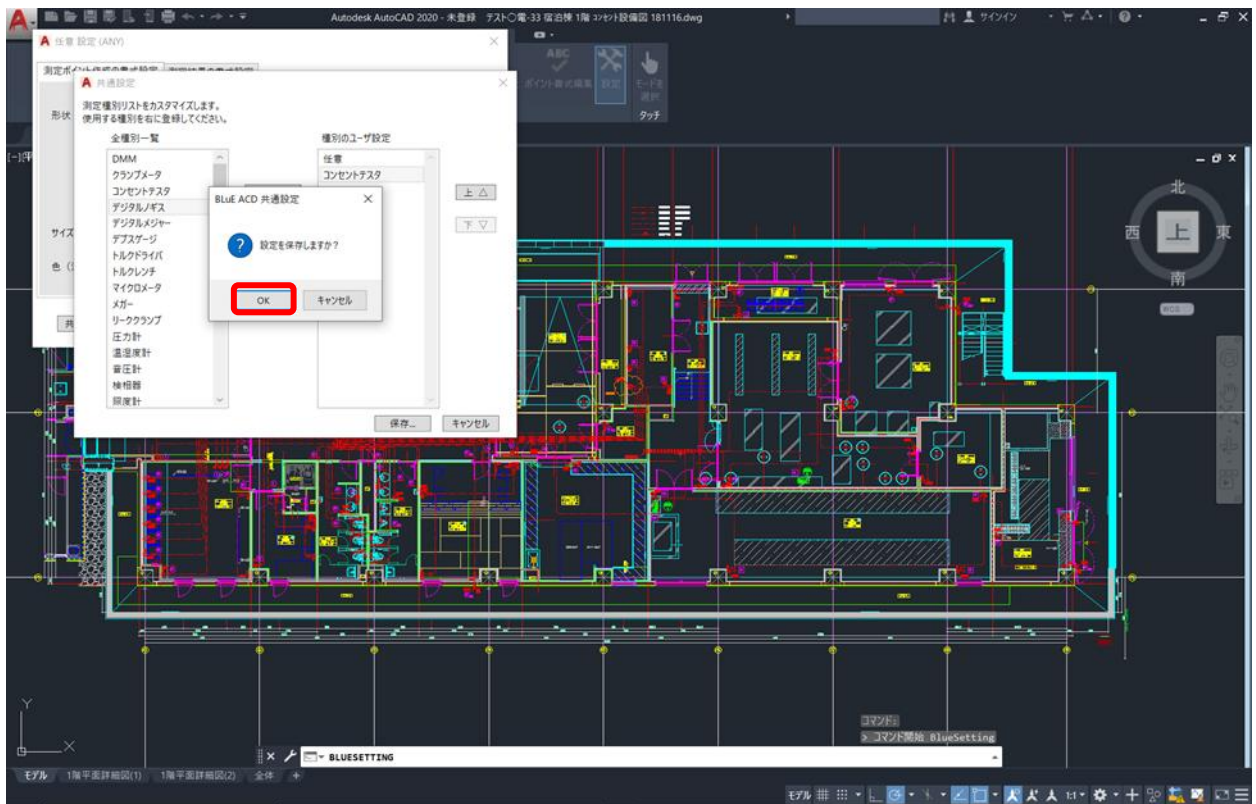
全種別一覧から「コンセントテスト」を選択し、「追加」ボタンを押します。



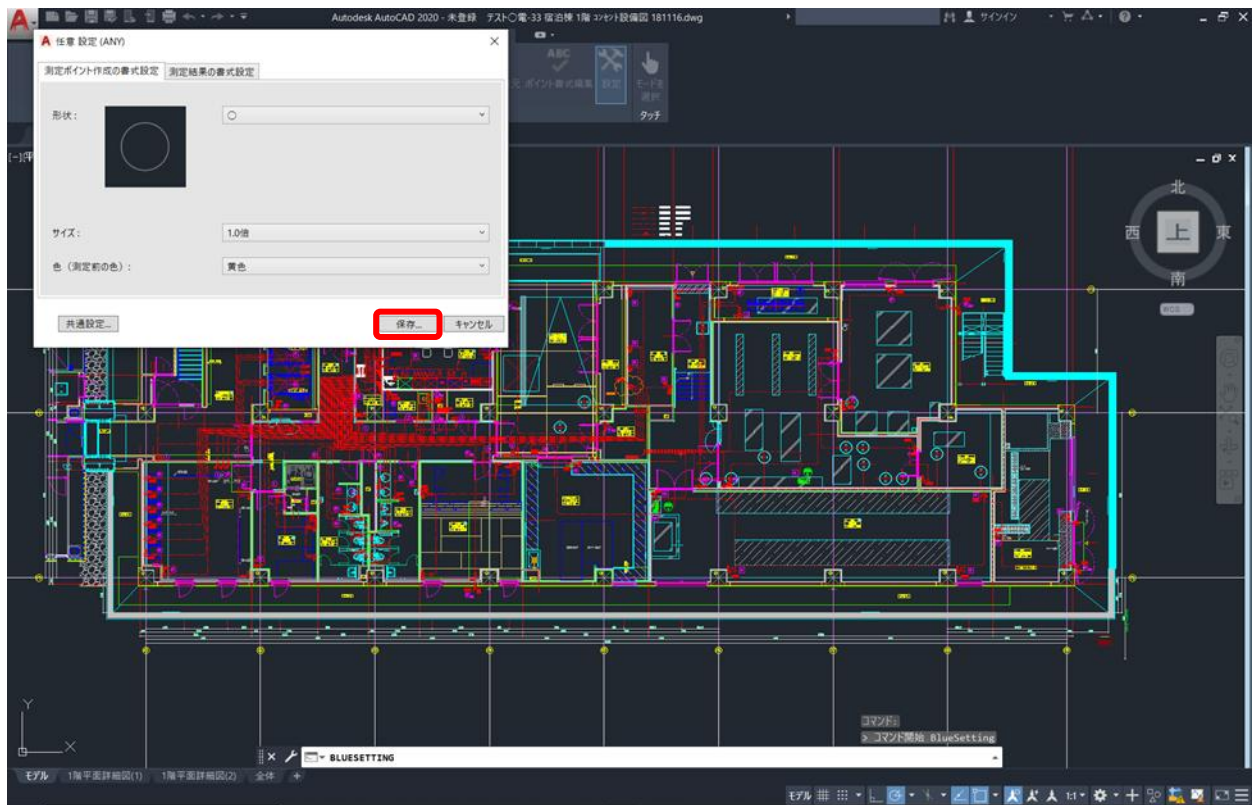
「保存」ボタンを押します。



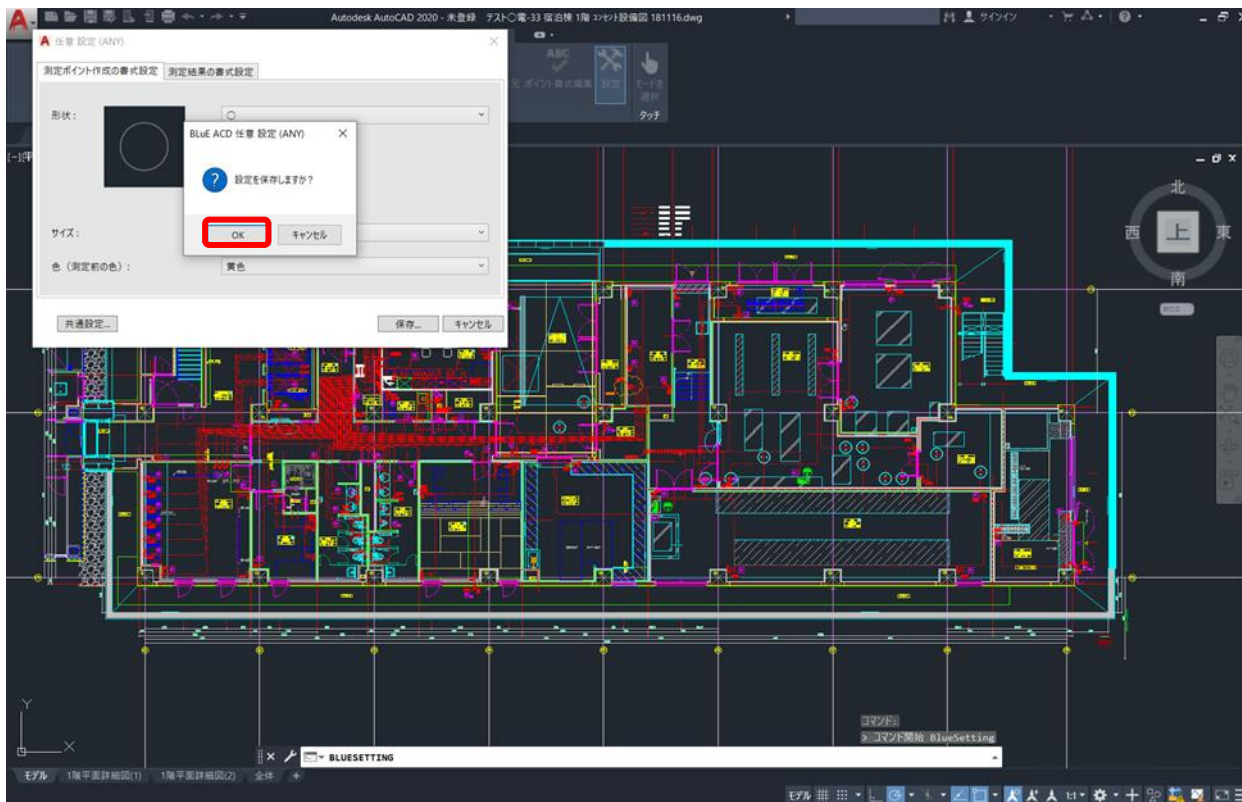
「設定を保存しますか？」のダイアログが出るので、「OK」ボタンを押します。



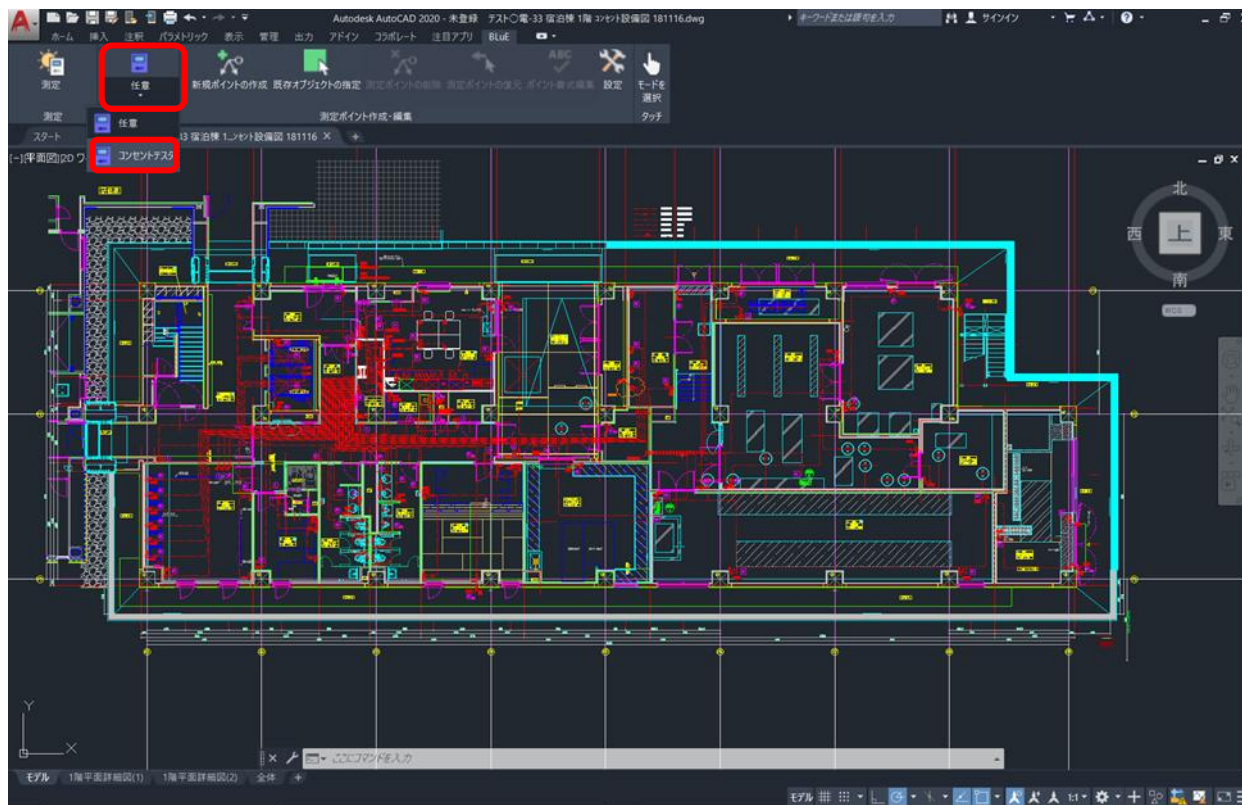
「保存」ボタンを押します。



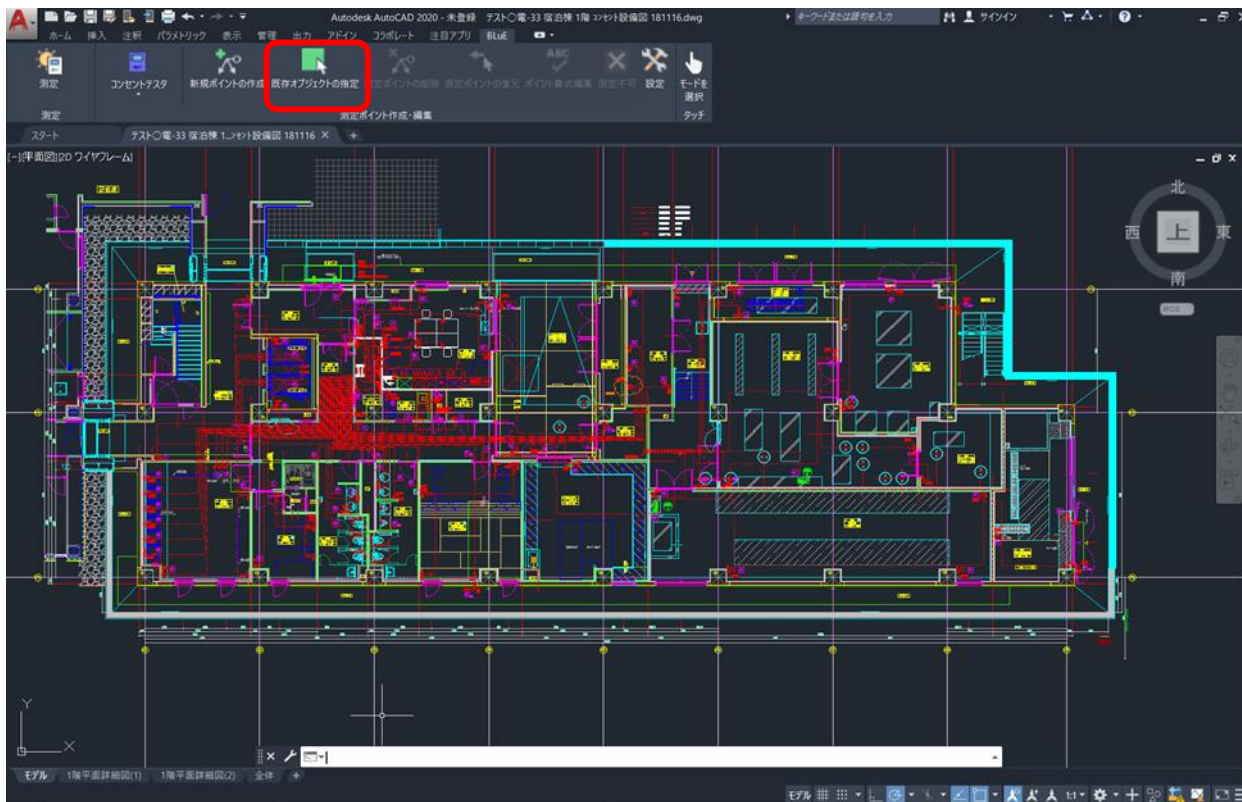
「設定を保存しますか？」のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押します。



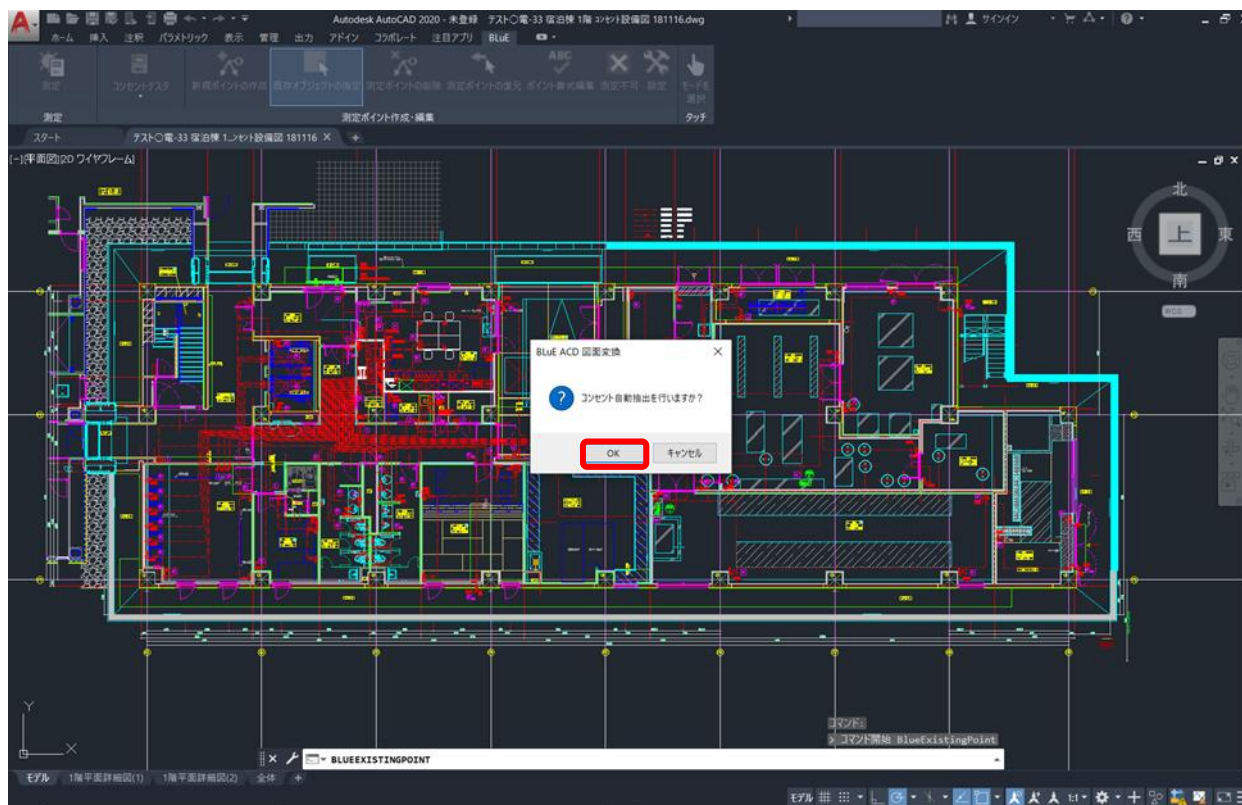
種別選択から「コンセントテスト」を選択します。



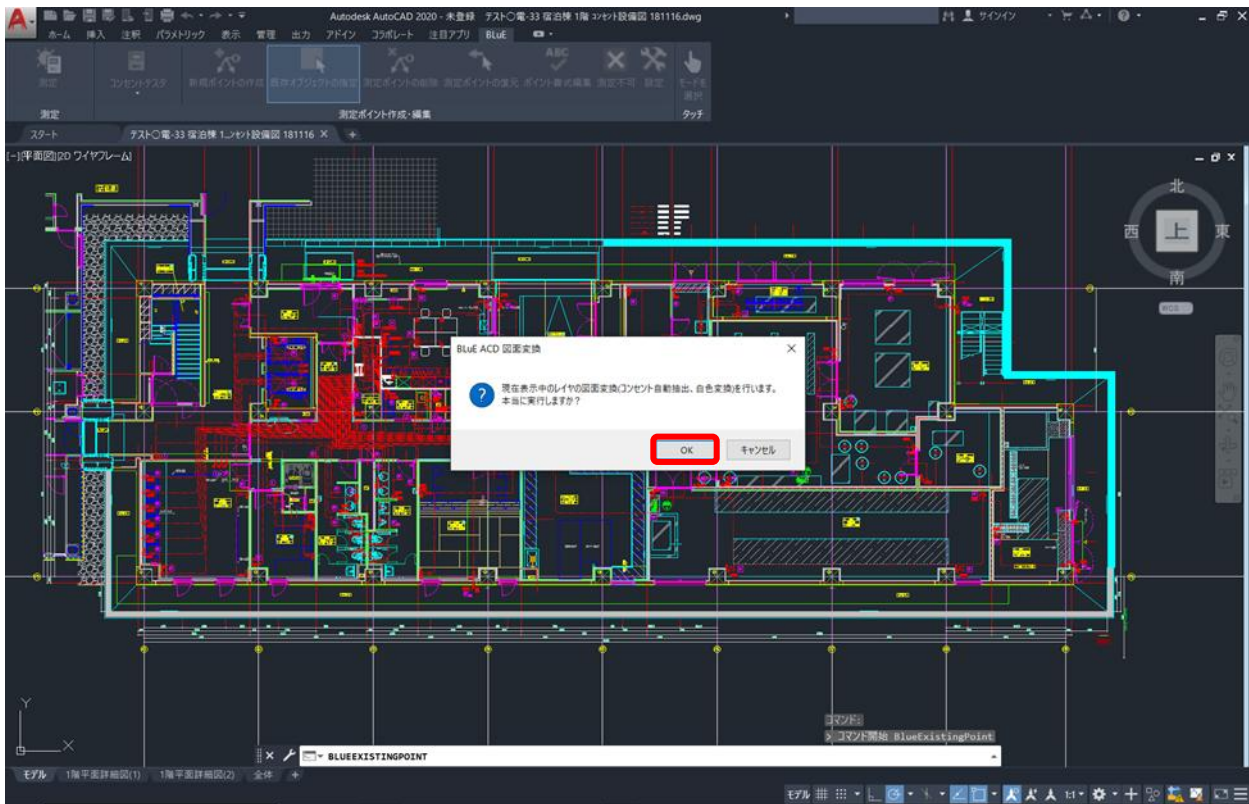
「既存オブジェクトの指定」ボタンを押します。



押下すると、「コンセント自動抽出を行いますか？」のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押します。



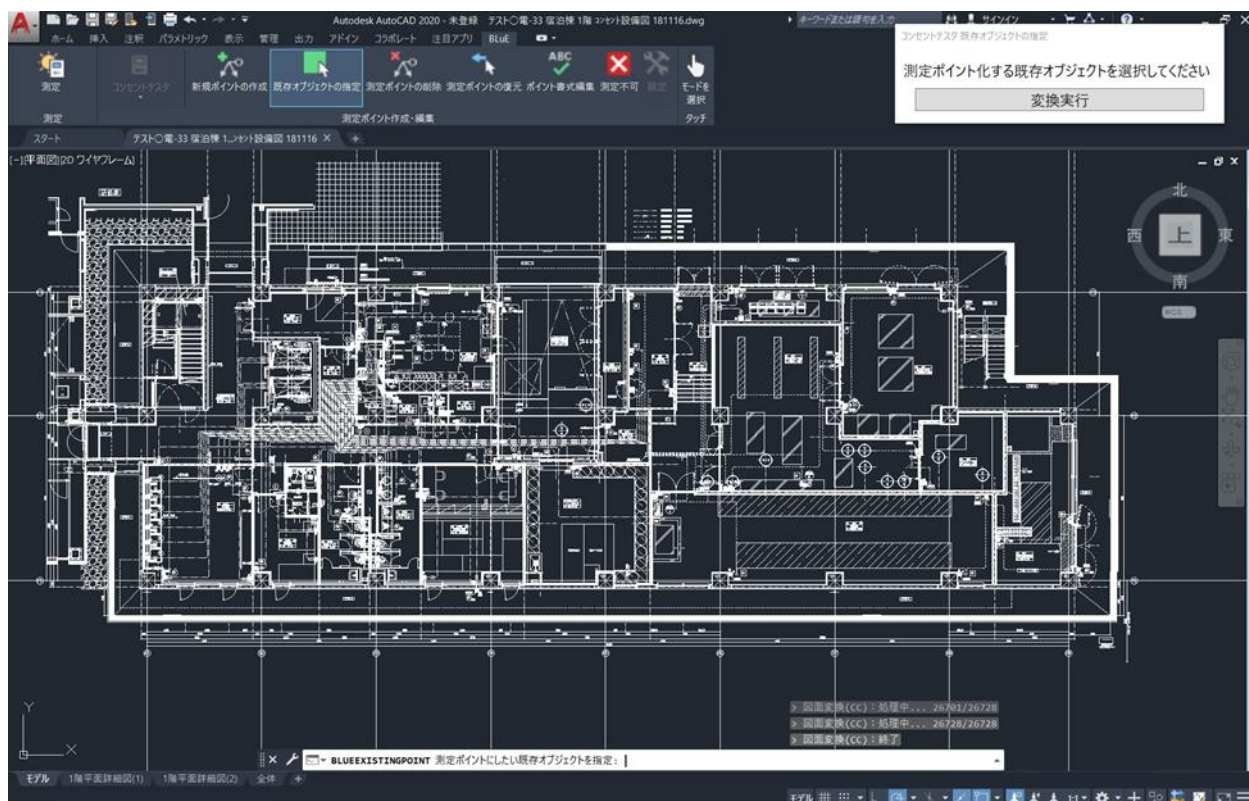
押下すると、「現在表示中のレイヤの図面変換(コンセント自動抽出、白黒変換)を行います。本当に実行しますか?」のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押します。



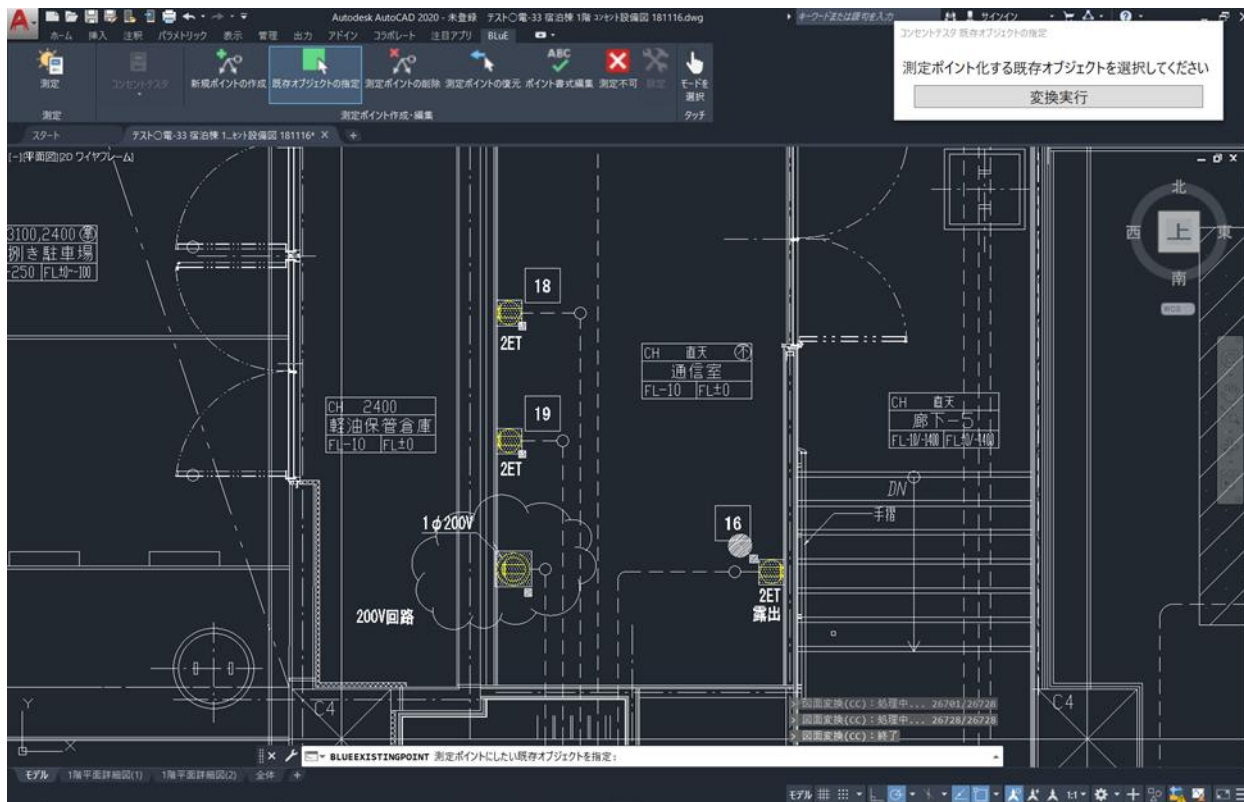
しばらくすると、コンセントシンボルだけが黄色で表示され、それ以外は白黒変換されます。

注記

◇ 図面自体のデータ容量によって、変換時間が異なります。



コンセントシンボルを測定ポイントとして設定できます。



⑦ 測定不可(コンセントテストの場合のみ)

本機能は、コンセントテストの測定ポイントに対して色で定義付けを行う機能になります。

黄色：測定ポイント作成時（未測定）

水色：測定を実施し、測定値が正常の場合

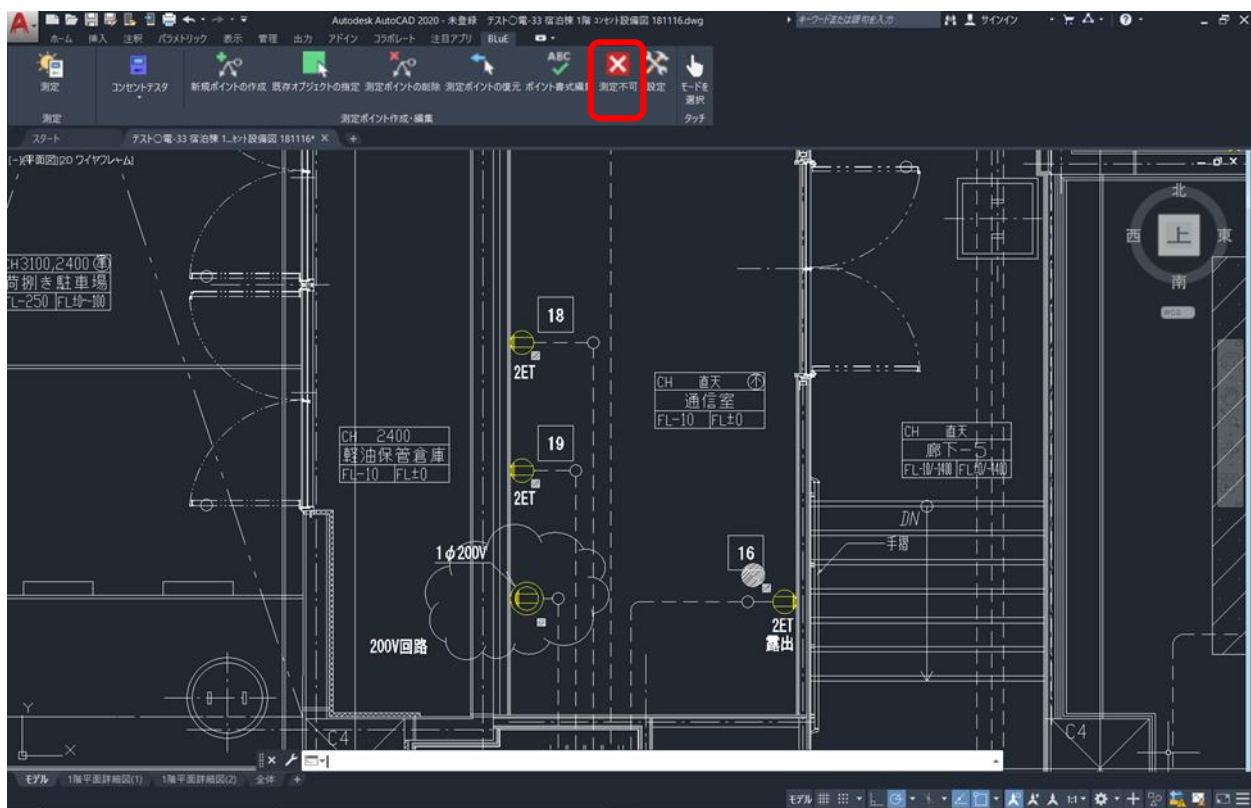
赤色：測定を実施し、測定値が異常の場合

青色：実物なし（「測定不可」機能で編集）

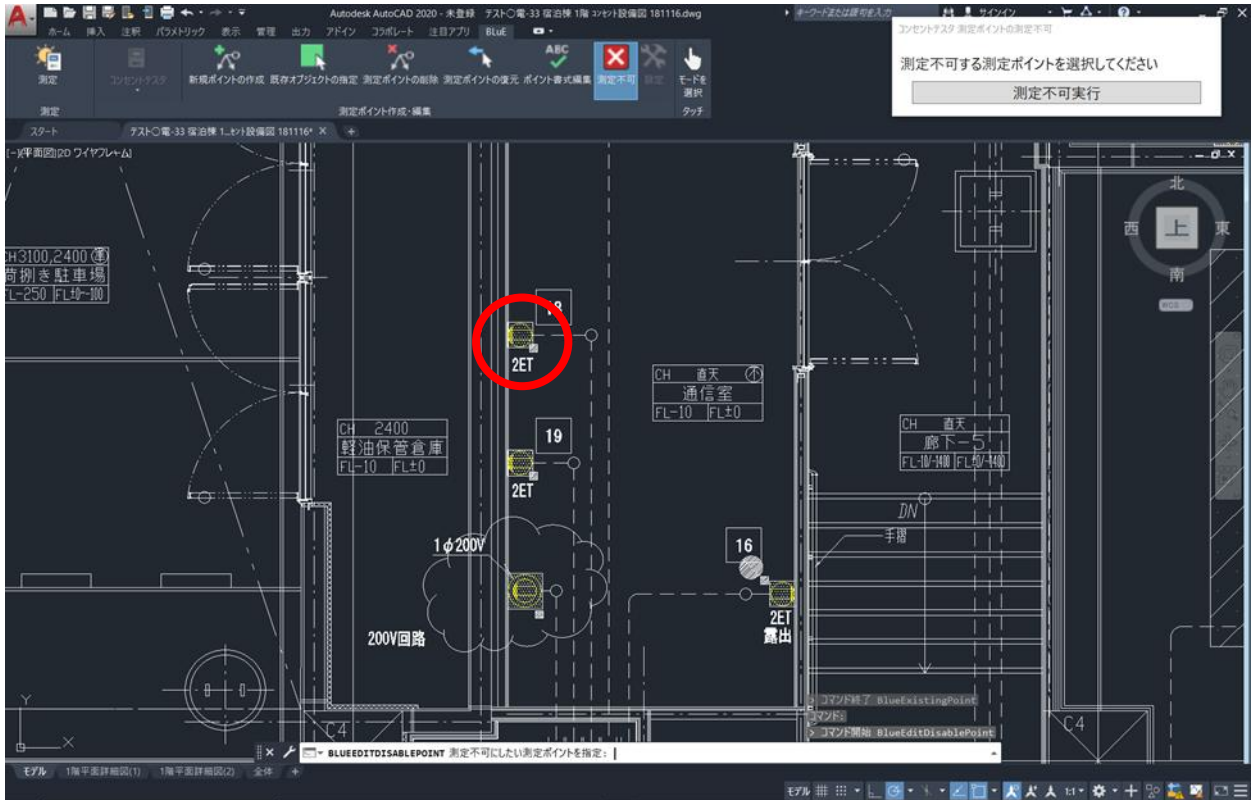
緑色：図面と実物はあるが、測定できない（「測定不可」機能で編集）

白色：測定対象外（「測定不可」機能で編集）

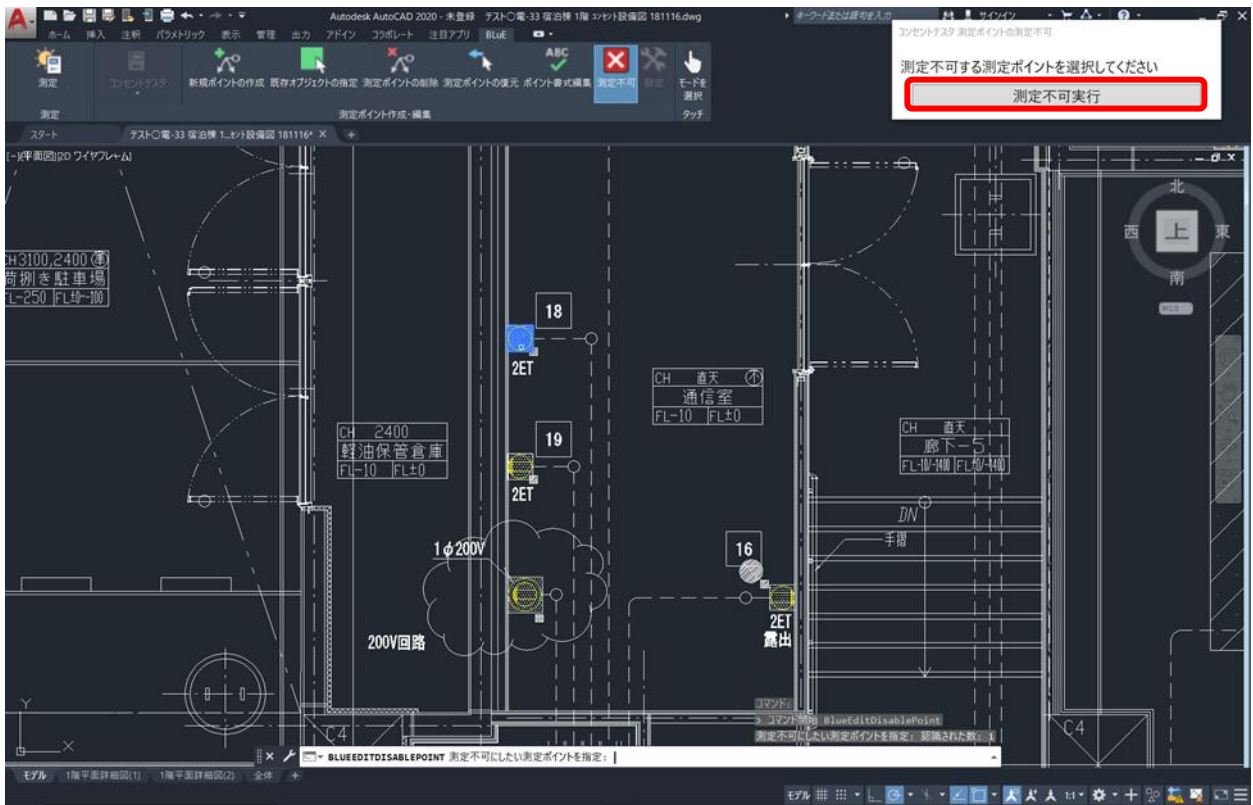
「測定不可」ボタンを押します。



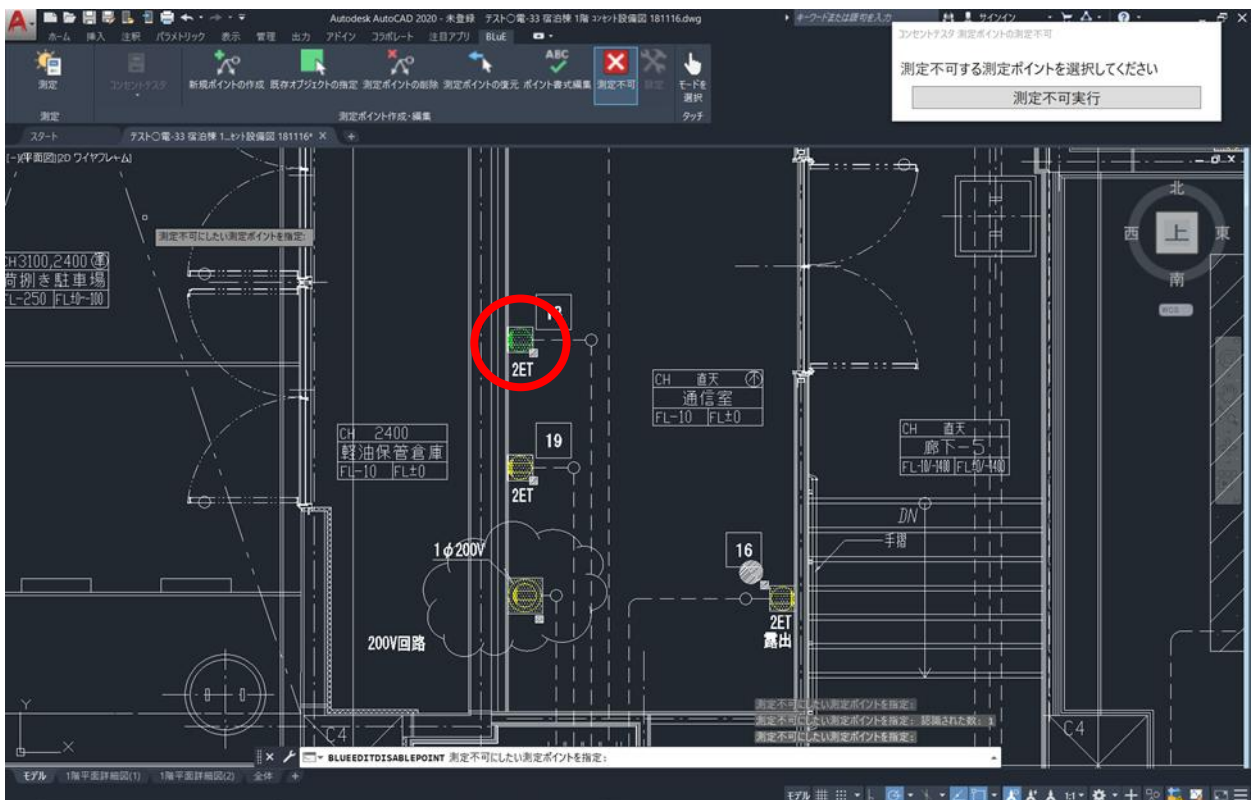
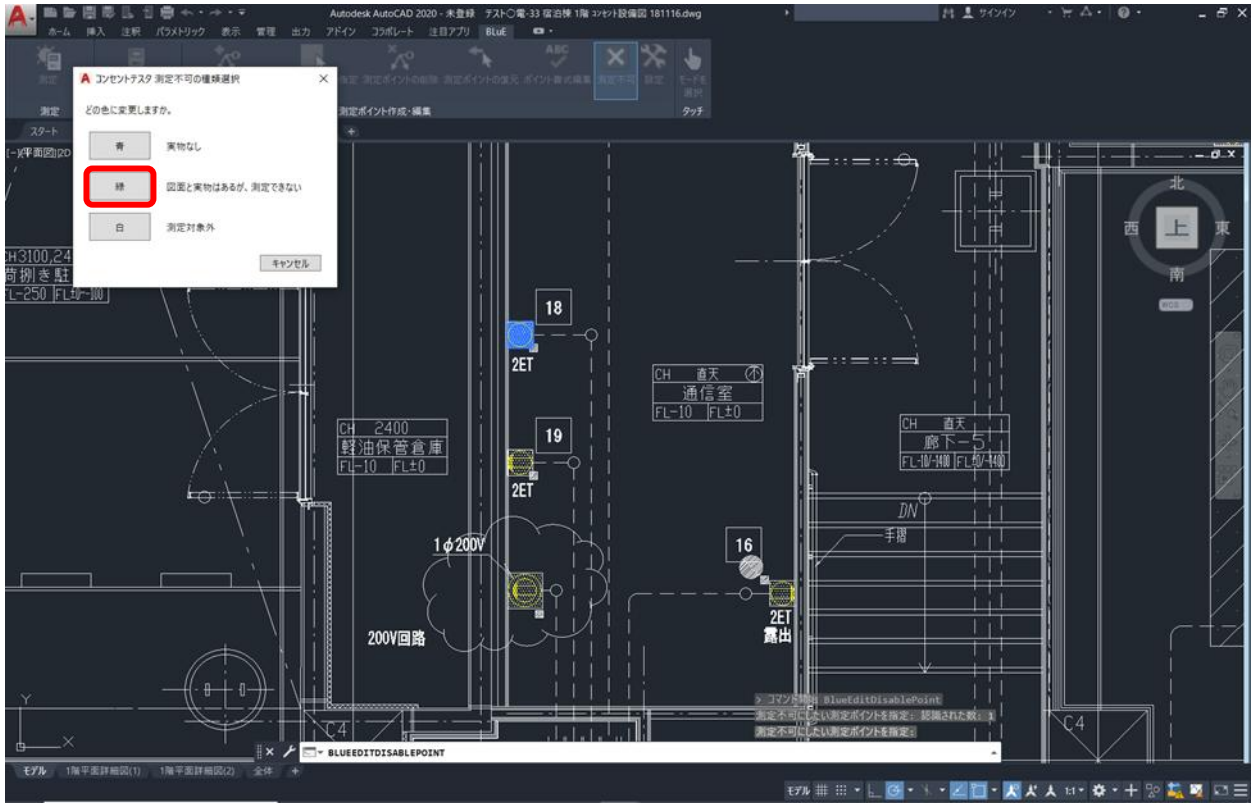
色変更するコンセントシンボルを選択します。測定ポイントは同時に複数選択できます。



「測定不可実行」を押します。



変更したい色を選択します。



⑧ 連続測定

注記

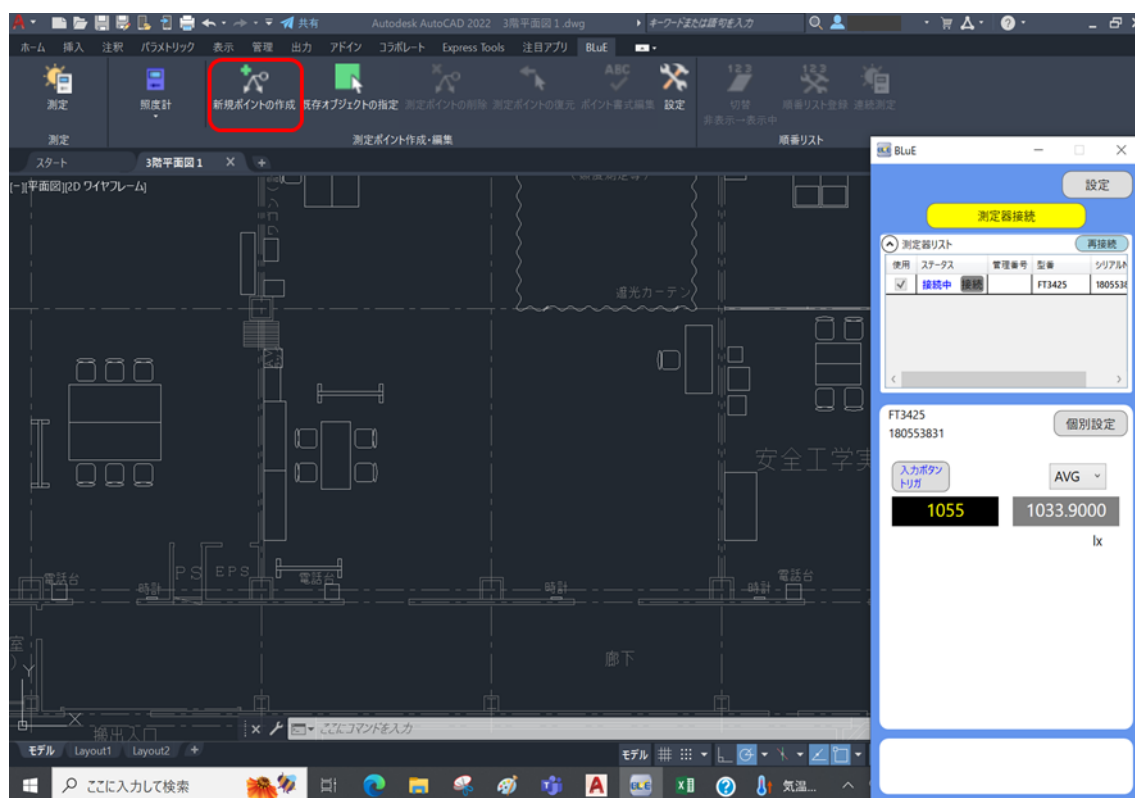
◇ 連続測定機能は「一括入力」には対応していません。

必ず設定を「個別入力」に切り替えてから測定してください。

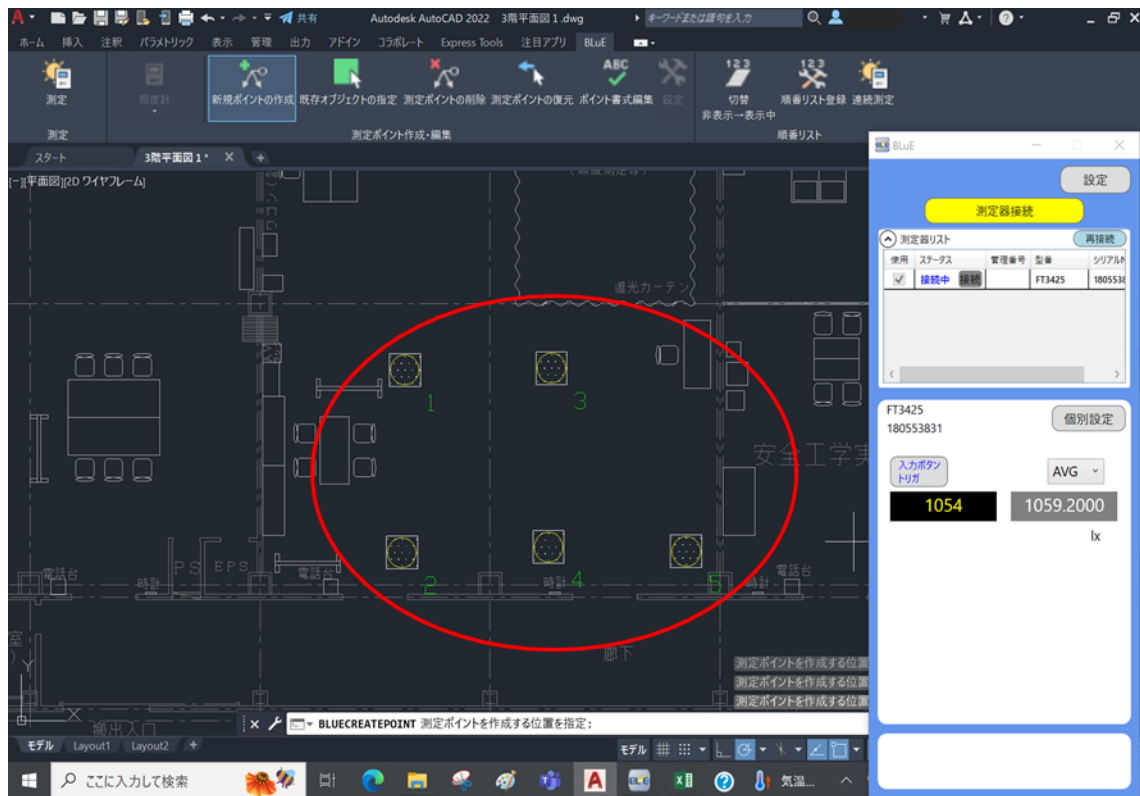
設定方法については、P.47「14.1 ④（オ）個別入力、一括入力」を参照してください。

入力ボタントリガを設定して測定する場合(FT3425 の場合)

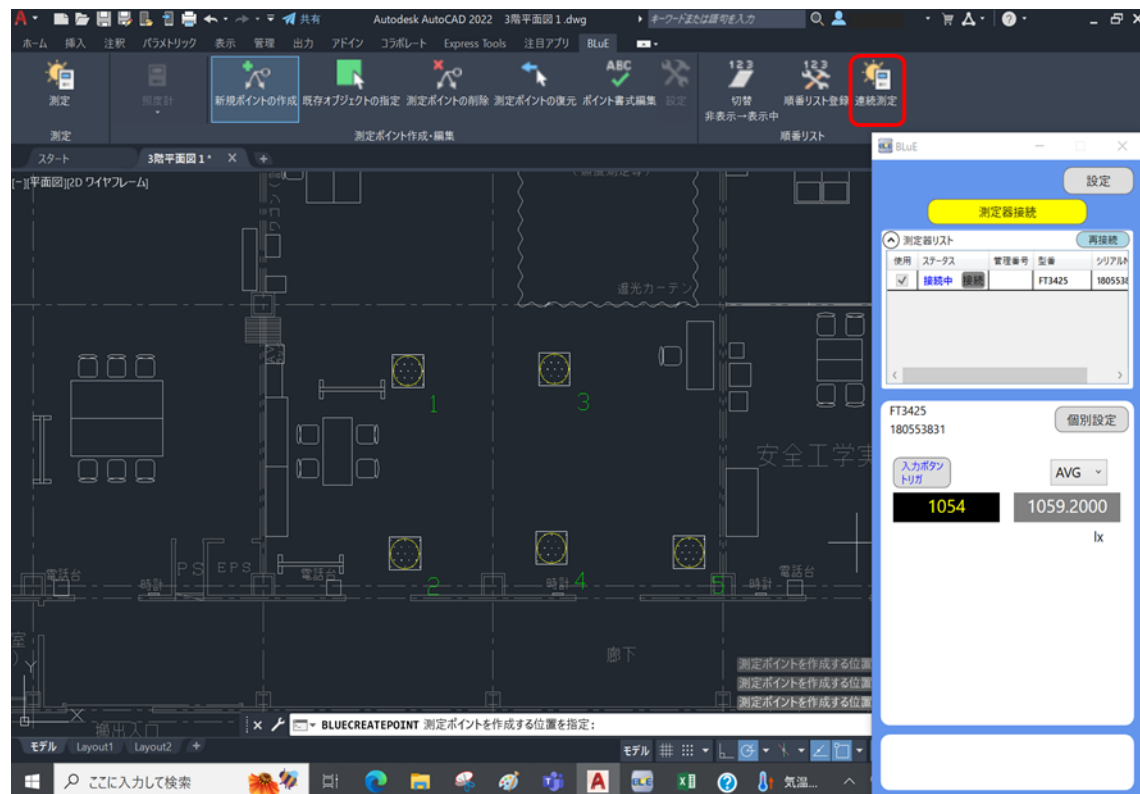
「測定ポイントの作成」ボタンを押します。



任意の箇所をタップし、測定ポイントを作成します。

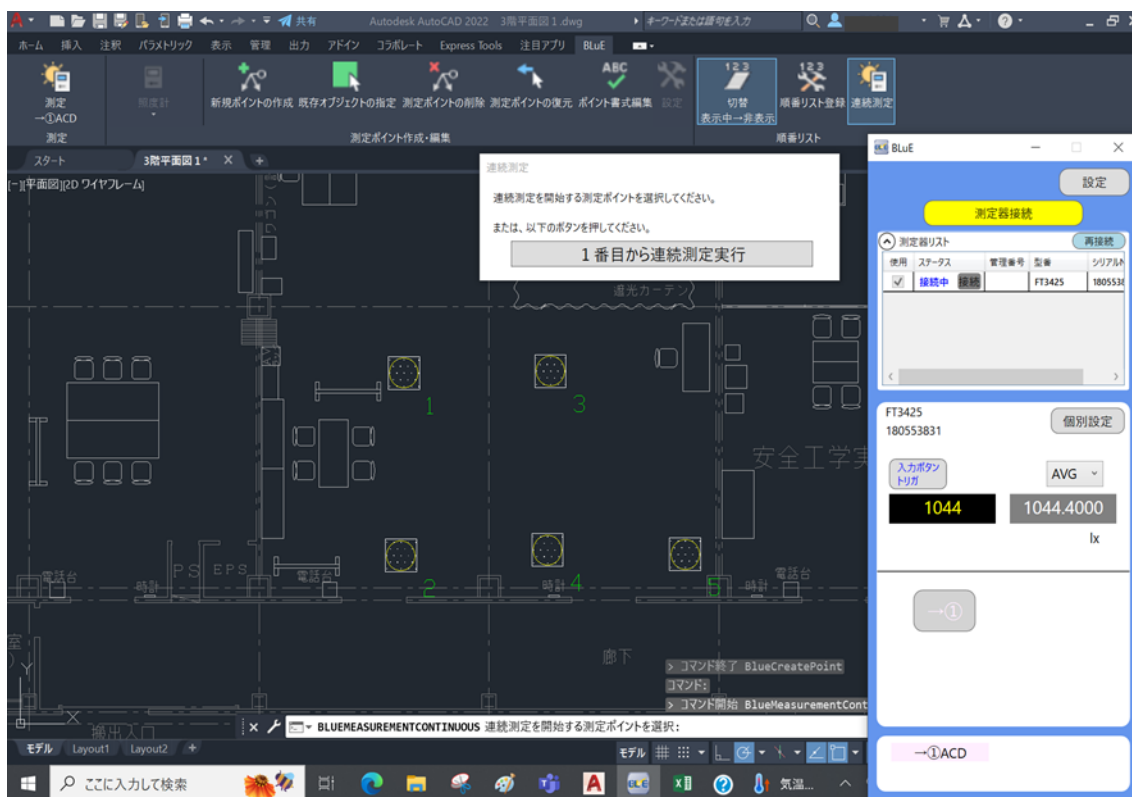


「連続測定」ボタンを押します。



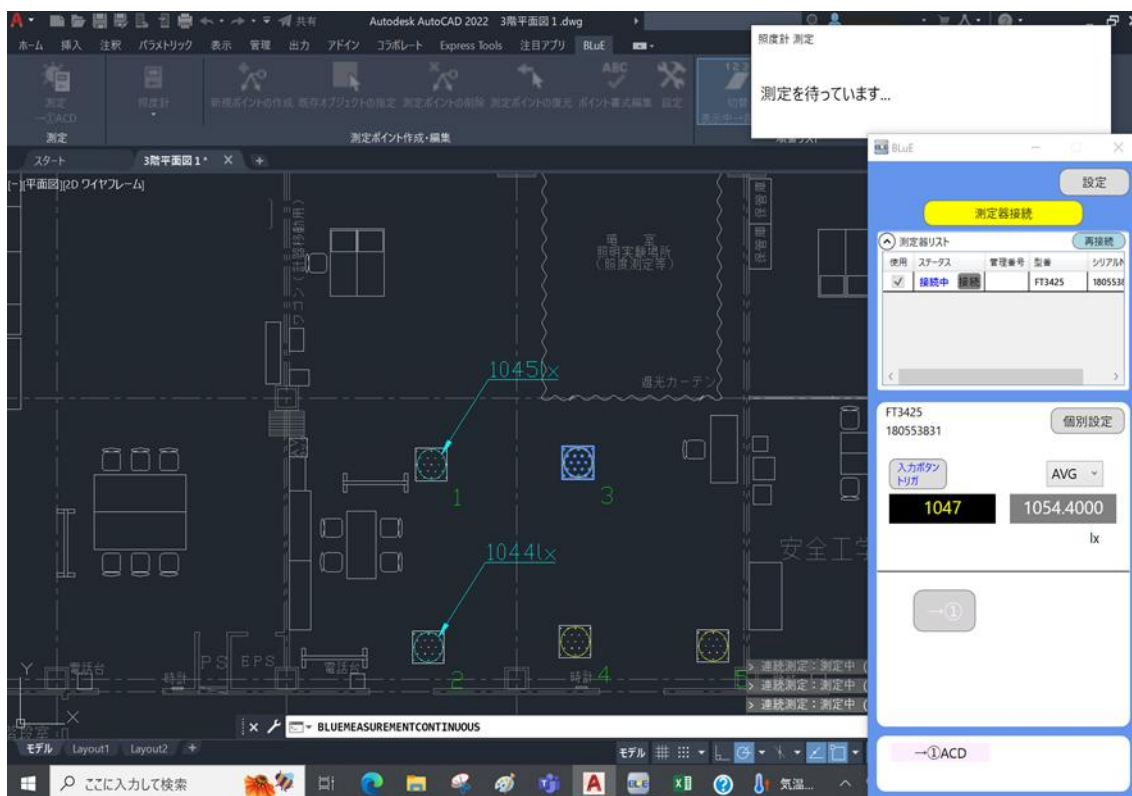
下記のダイアログが表示されるので、測定ポイント番号「1」から測定する場合は「1 番目から連続測定実行」ボタンを押してください。

それ以外の測定ポイント番号から測定する場合は、開始する測定ポイントを選択してください。

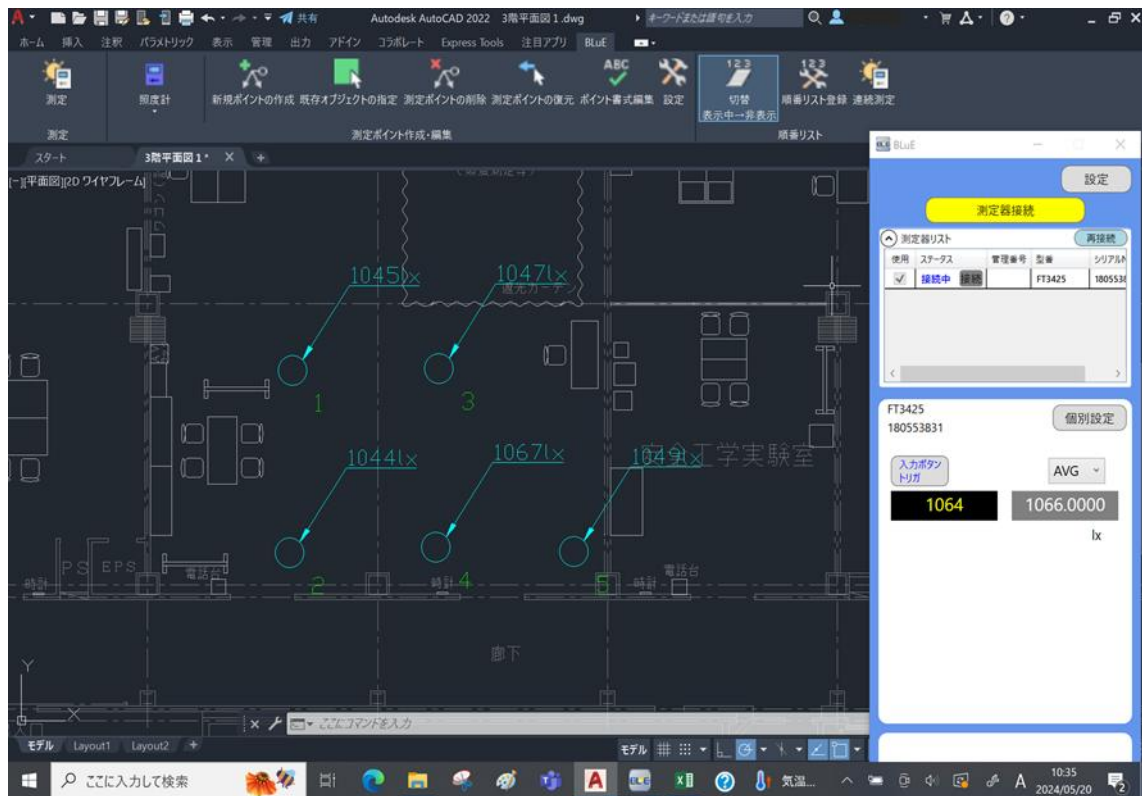


「測定を待っています」ダイアログが表示、測定値が入力され次のポイントへ自動で遷移します。

※以降、繰り返し

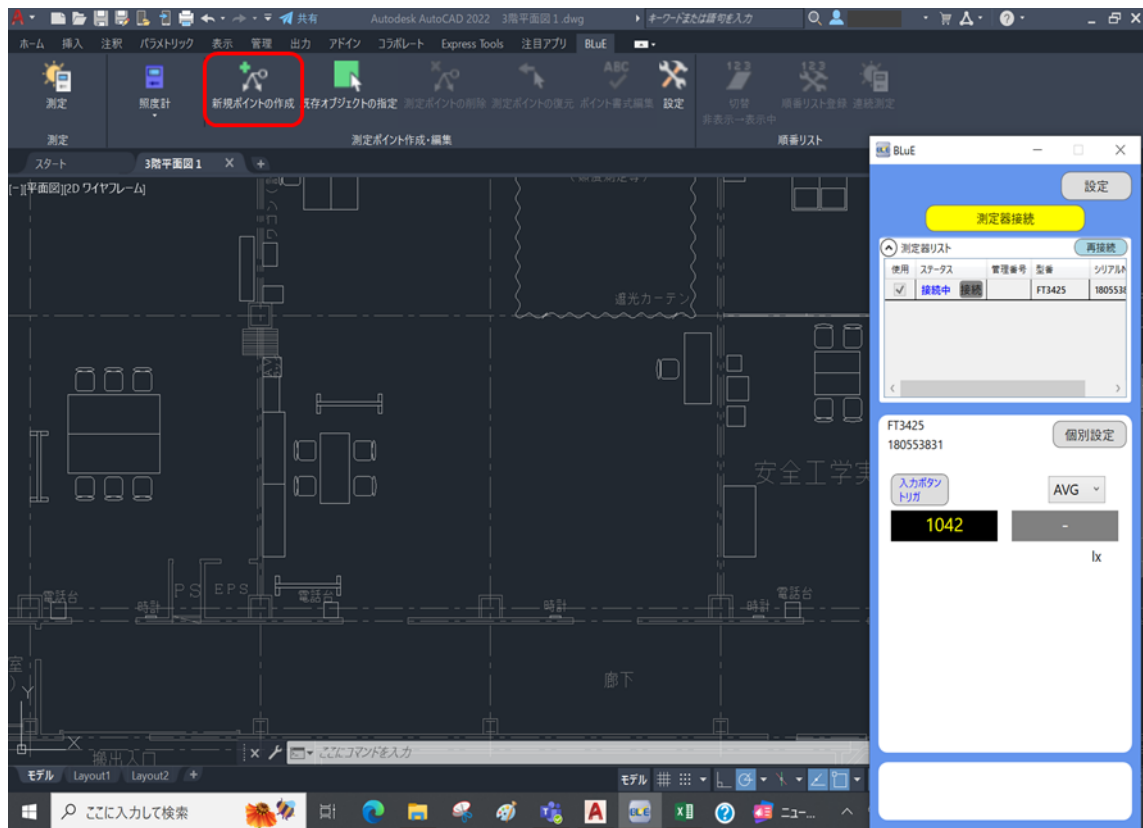


測定対象の測定ポイントに測定値が入力されると、自動で連続測定が終了します。

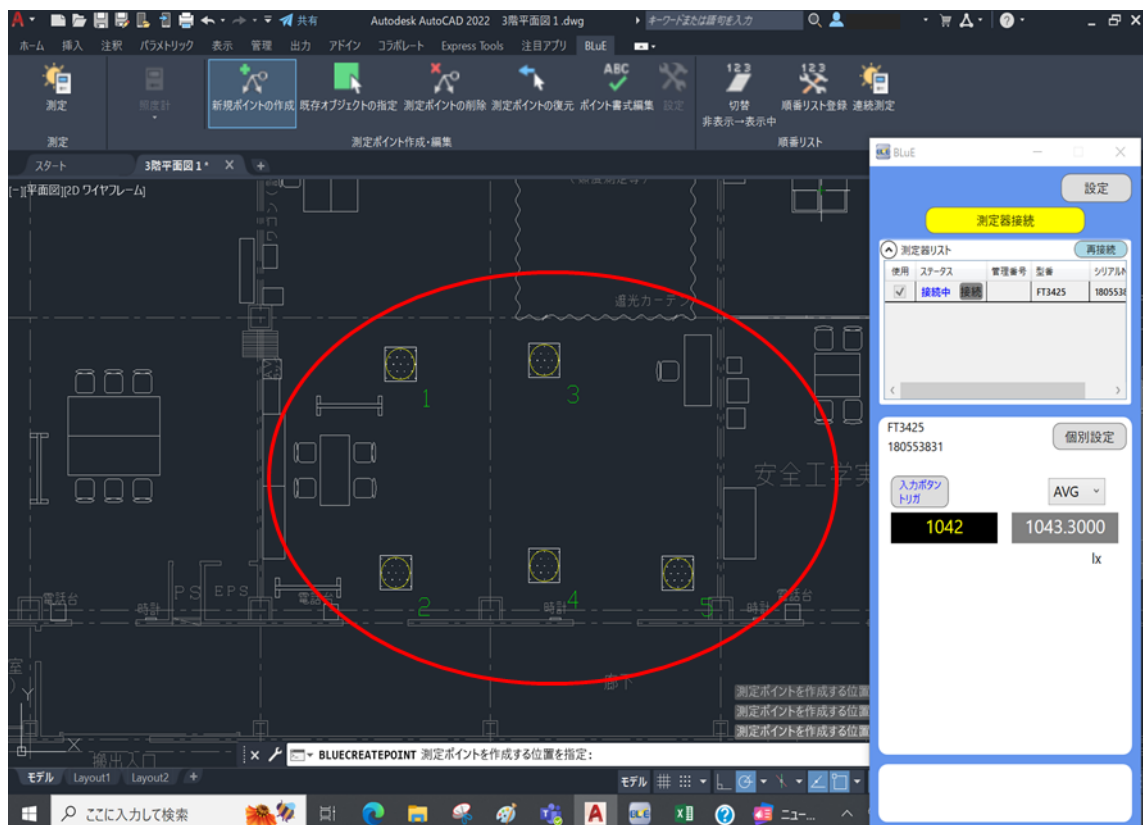


測定器本体トリガを設定して測定する場合(FT3425 の場合)

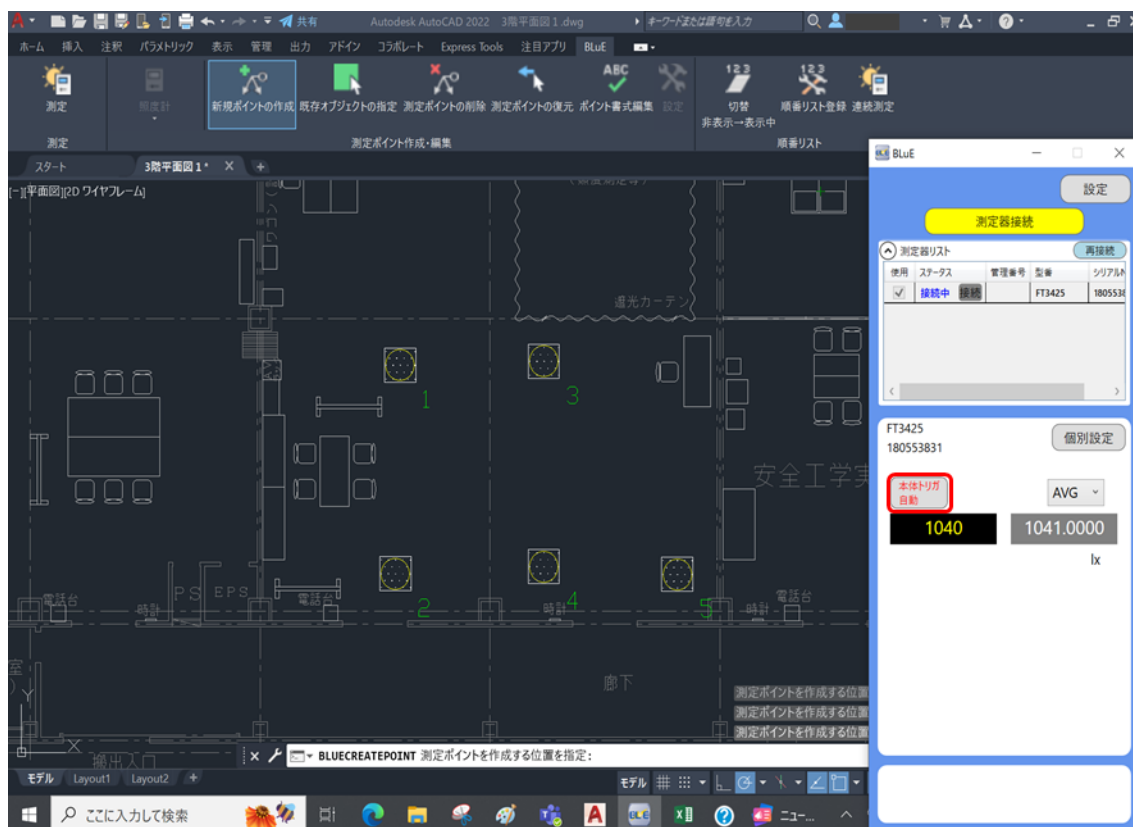
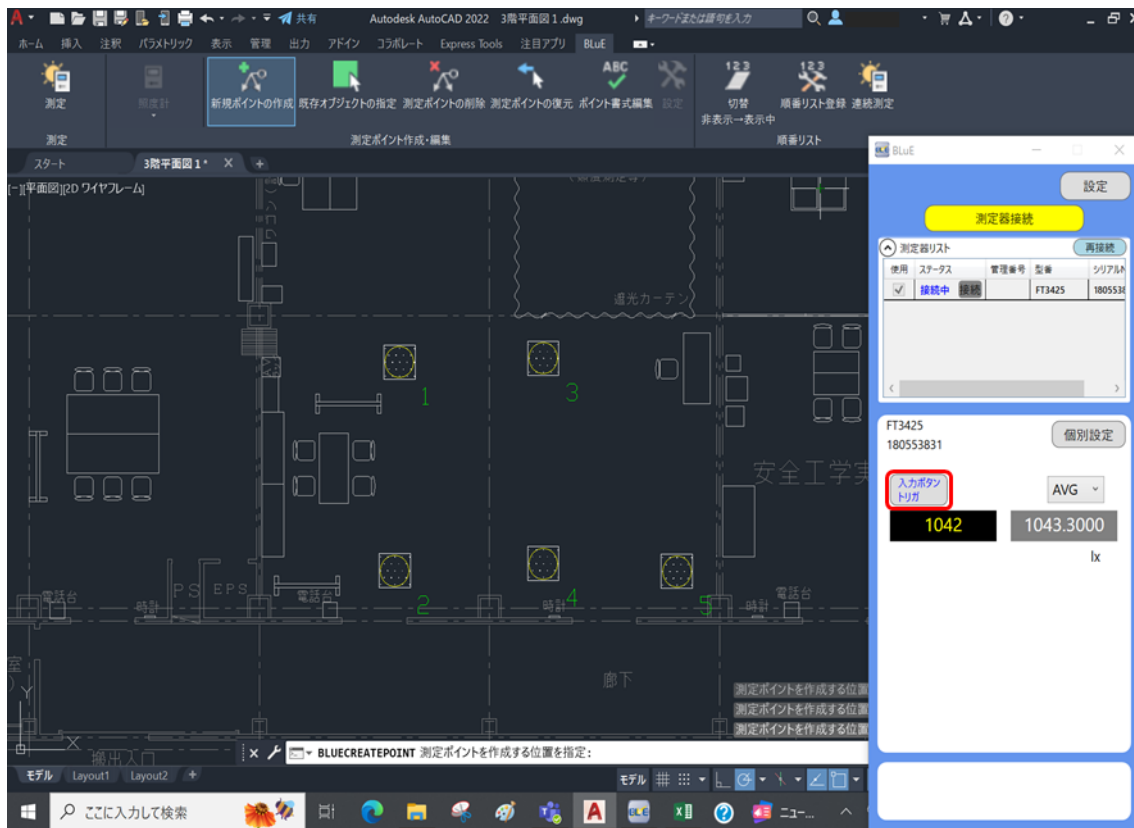
「測定ポイントの作成」ボタンを押します。



任意の箇所をタップし、測定ポイントを作成します。



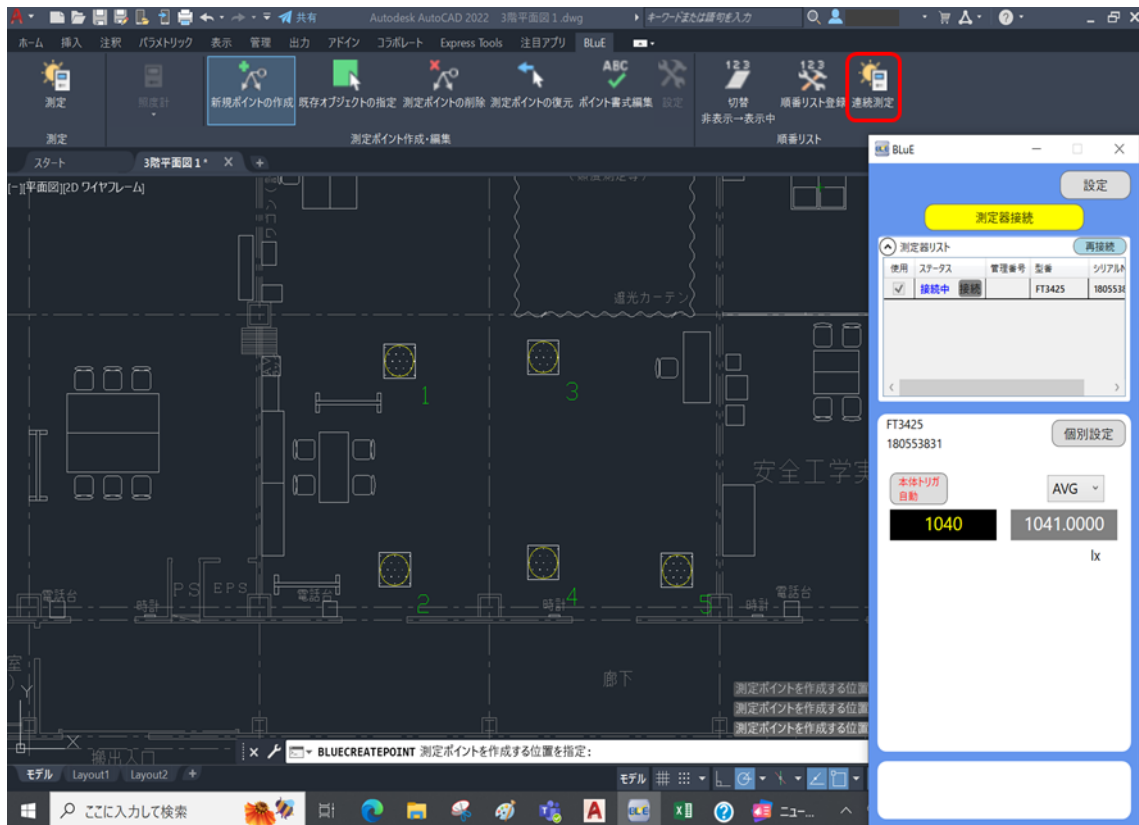
BLuEの「入力ボタントリガ」と表示されている箇所をクリックし、「本体トリガ自動」に切り替えます。



注記

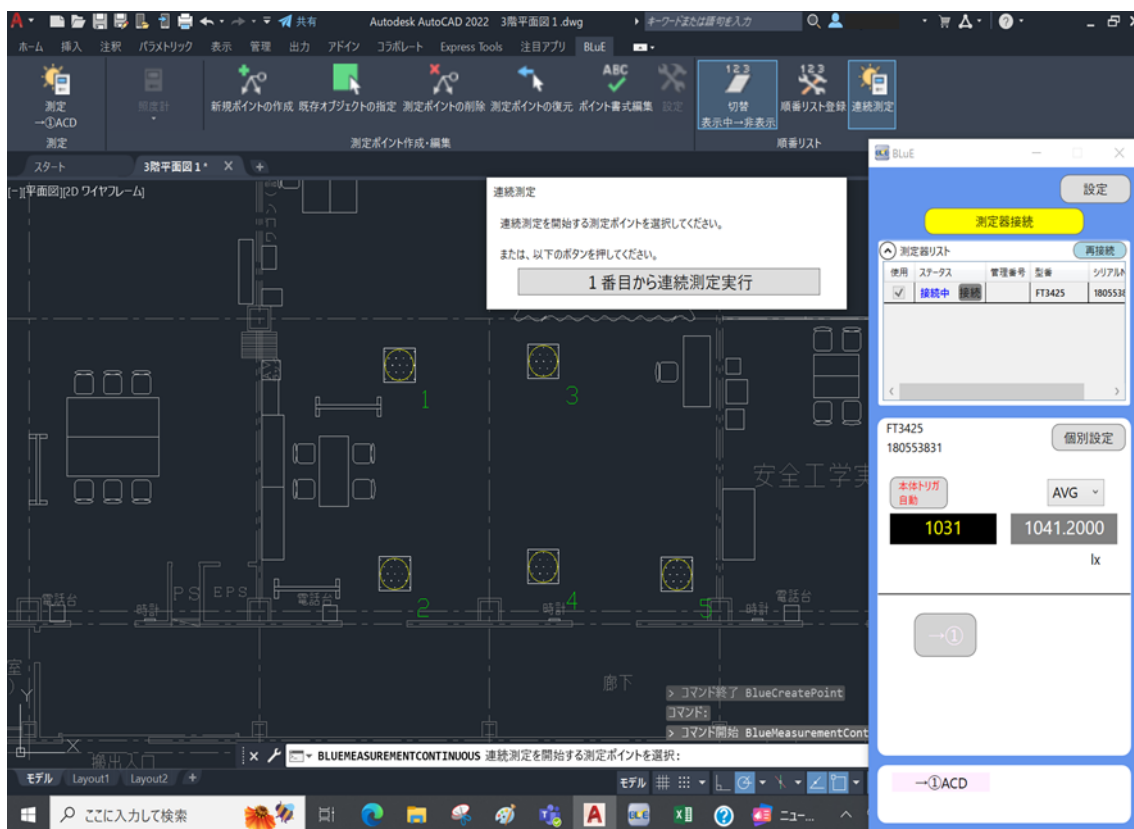
◇ 本体トリガ自動については、P.50「14.1④（カ）本体トリガの値取得方法」を参照してください。

「連測測定」ボタンを押します。

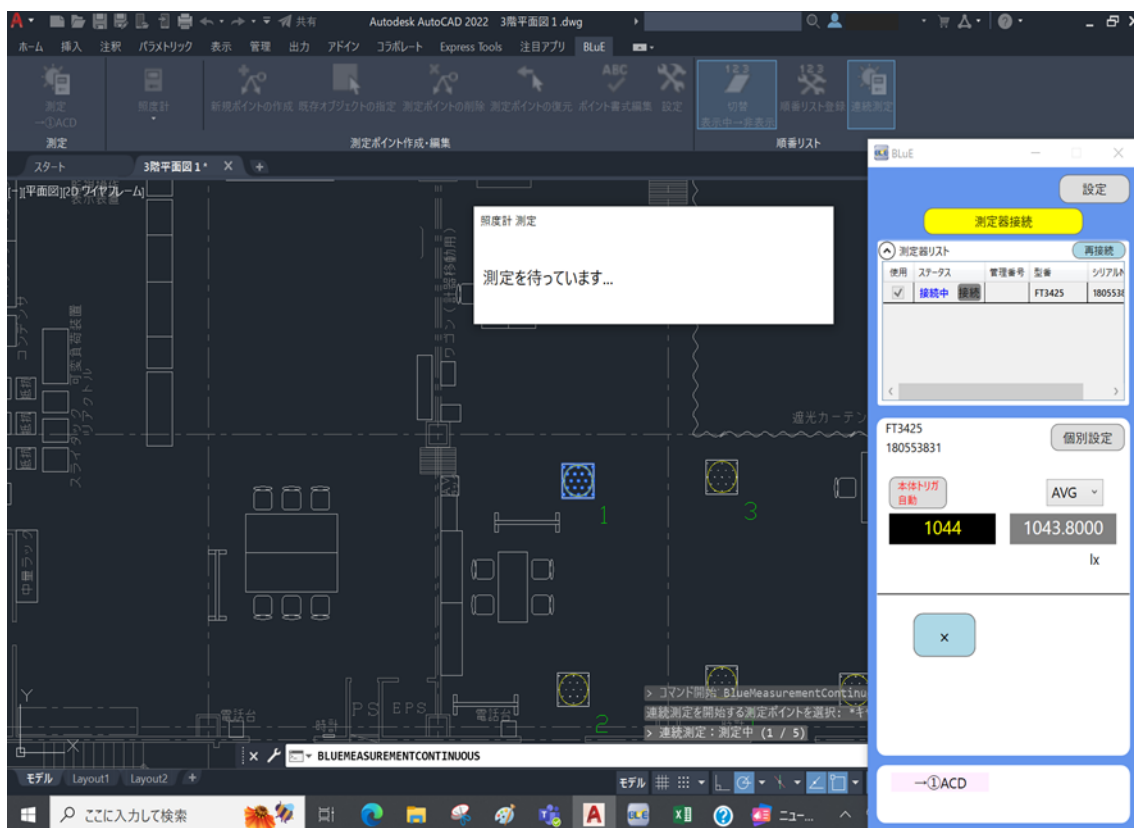


下記のダイアログが表示されるので、測定ポイント番号「1」から測定する場合は「1番目から連続測定実行」ボタンを押してください。

それ以外の測定ポイント番号から測定する場合は、開始する測定ポイントを選択してください。



「測定を待っています」ダイアログが表示されるので、測定器本体の「HOLD」ボタンを押してください。

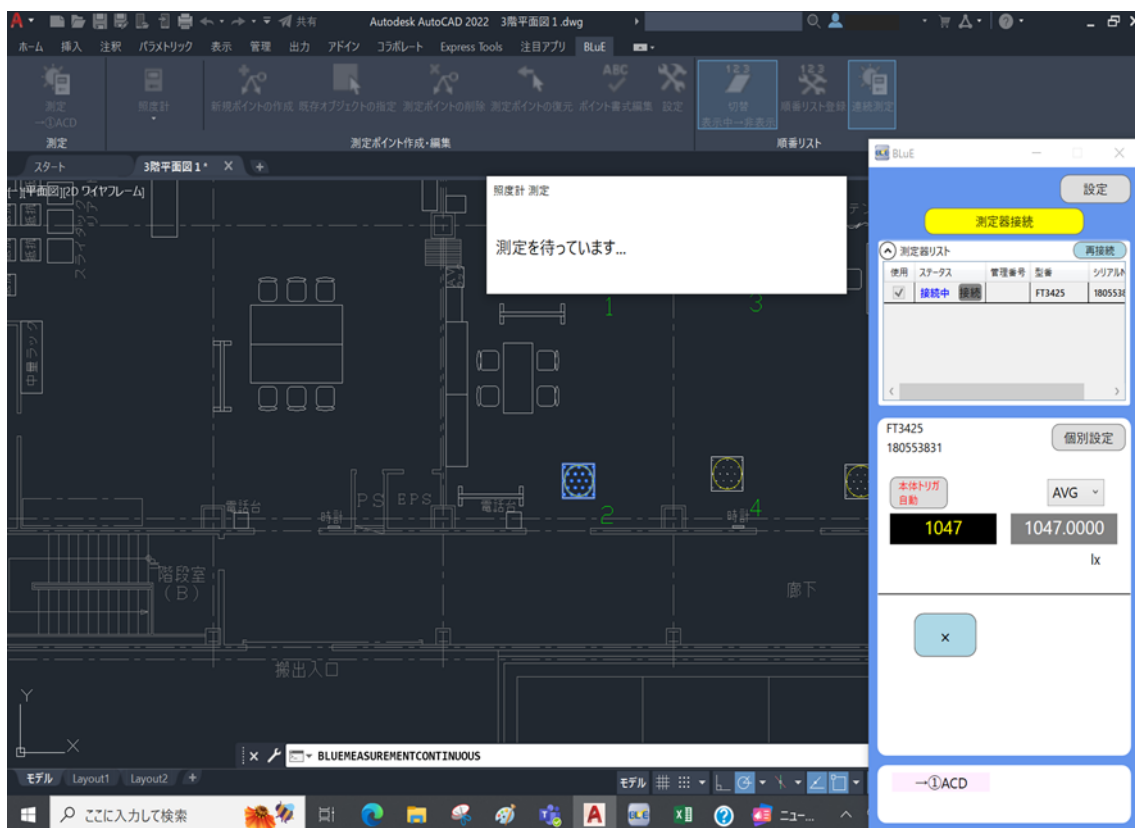


注記

◇ 測定器本体のボタンは、測定器ごとに異なります。

詳細については、P.35～P.37「表 2 各測定器の測定値入力方法」を参照してください。

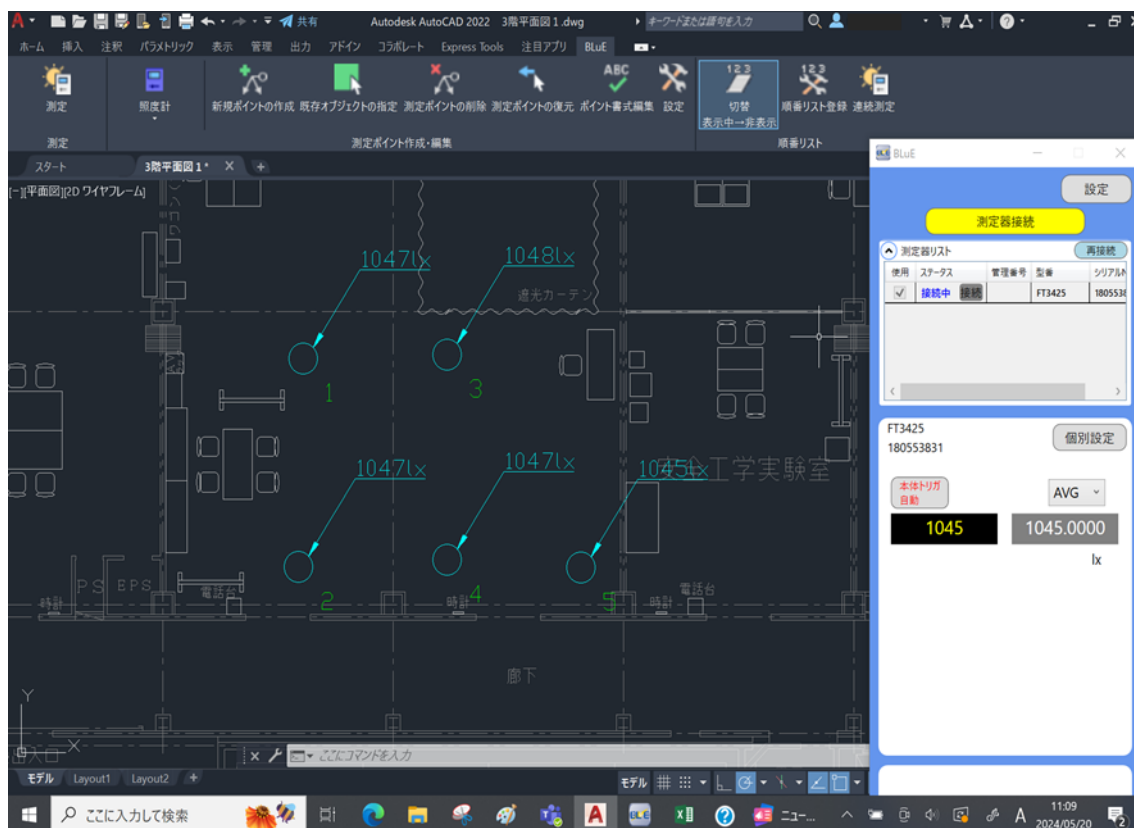
測定値が入力され、次の測定ポイントへ自動で遷移します。 ※以降、繰り返し



注記

- ◇ 連続測定を途中で中止する場合は、BLuEの「×（水色）」ボタンを押してください。

測定対象の測定ポイントに測定値が入力されると、自動で連続測定が終了します。

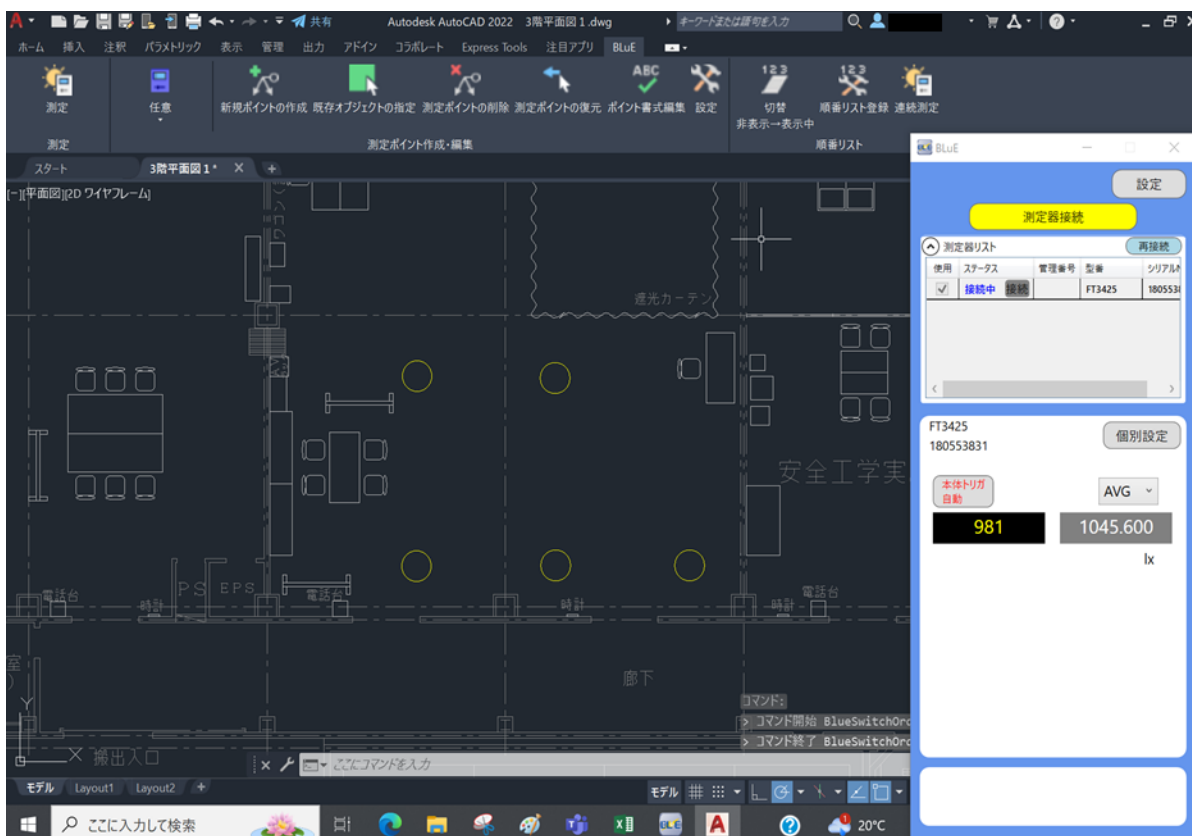
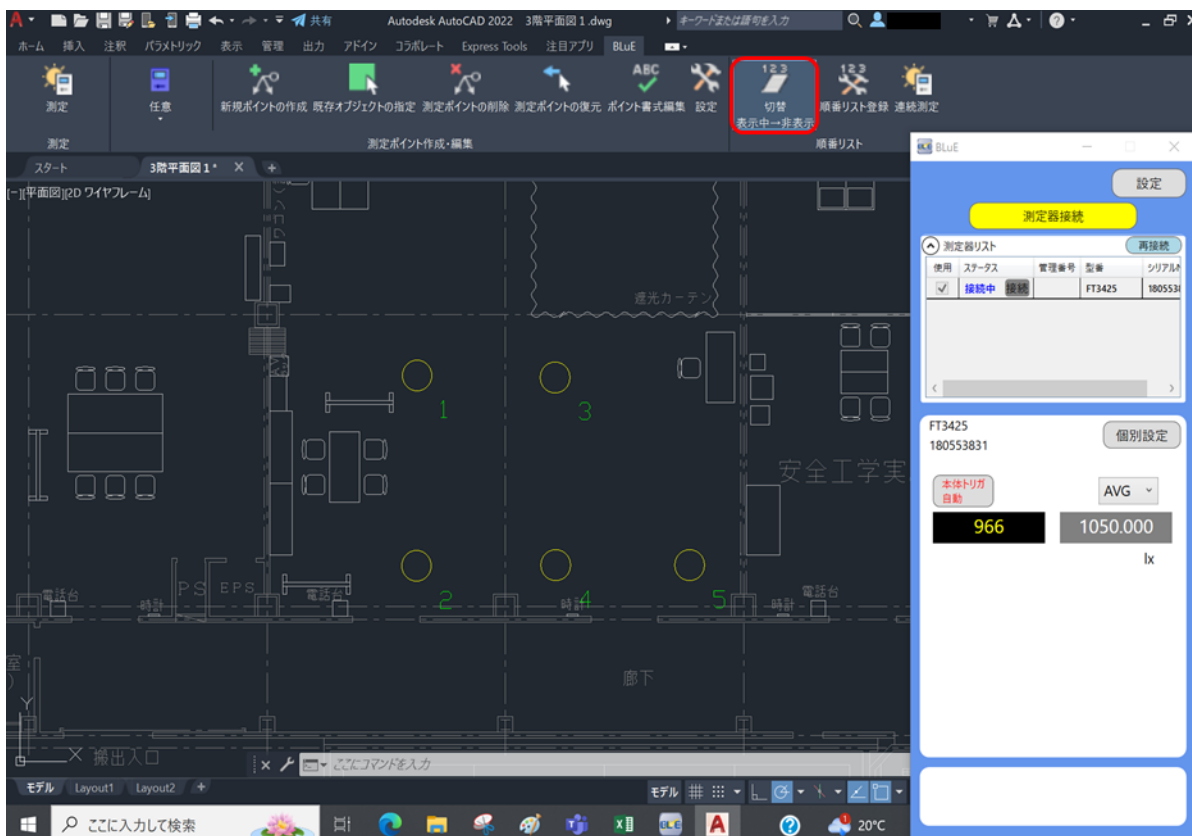


⑨ 測定ポイント番号の表示/非表示切替

「切替」ボタンを押すと、測定ポイント脇に表示されている番号の表示/非表示を切り替えられます。

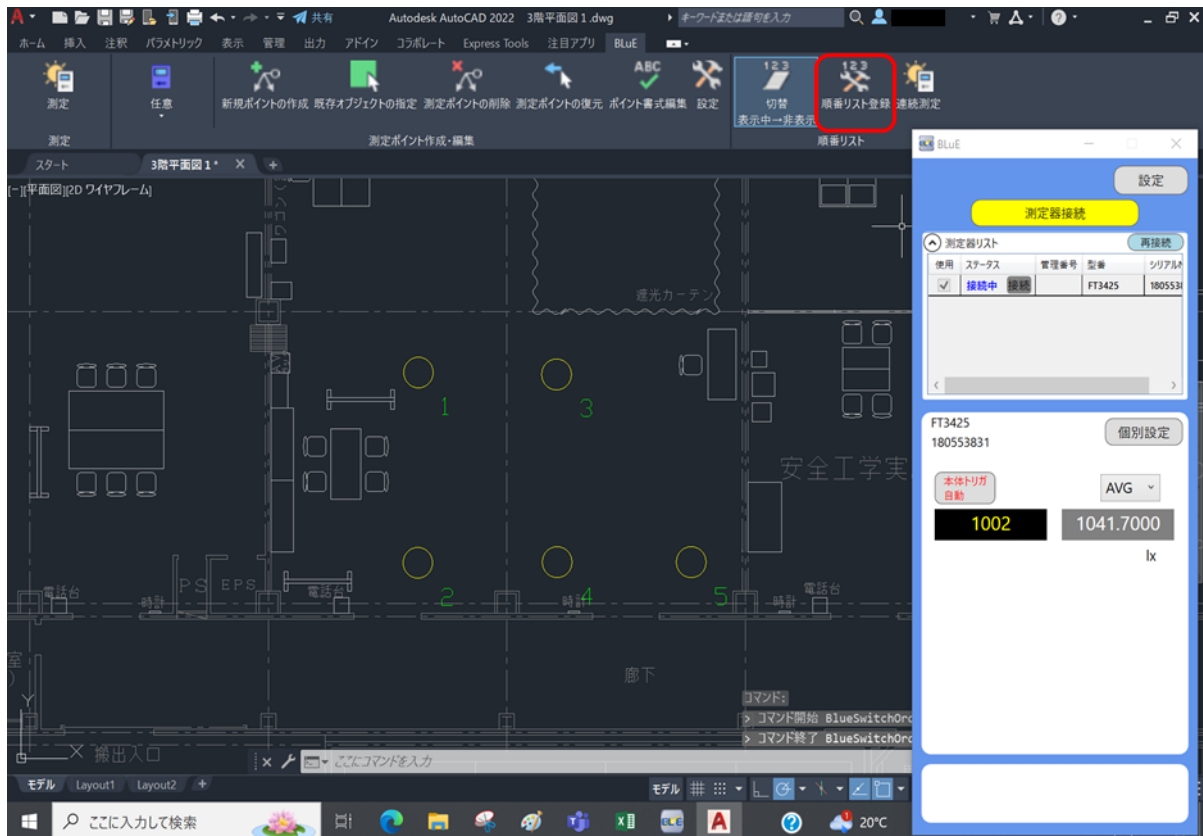
注記

◇ デフォルトは、表示状態になります。

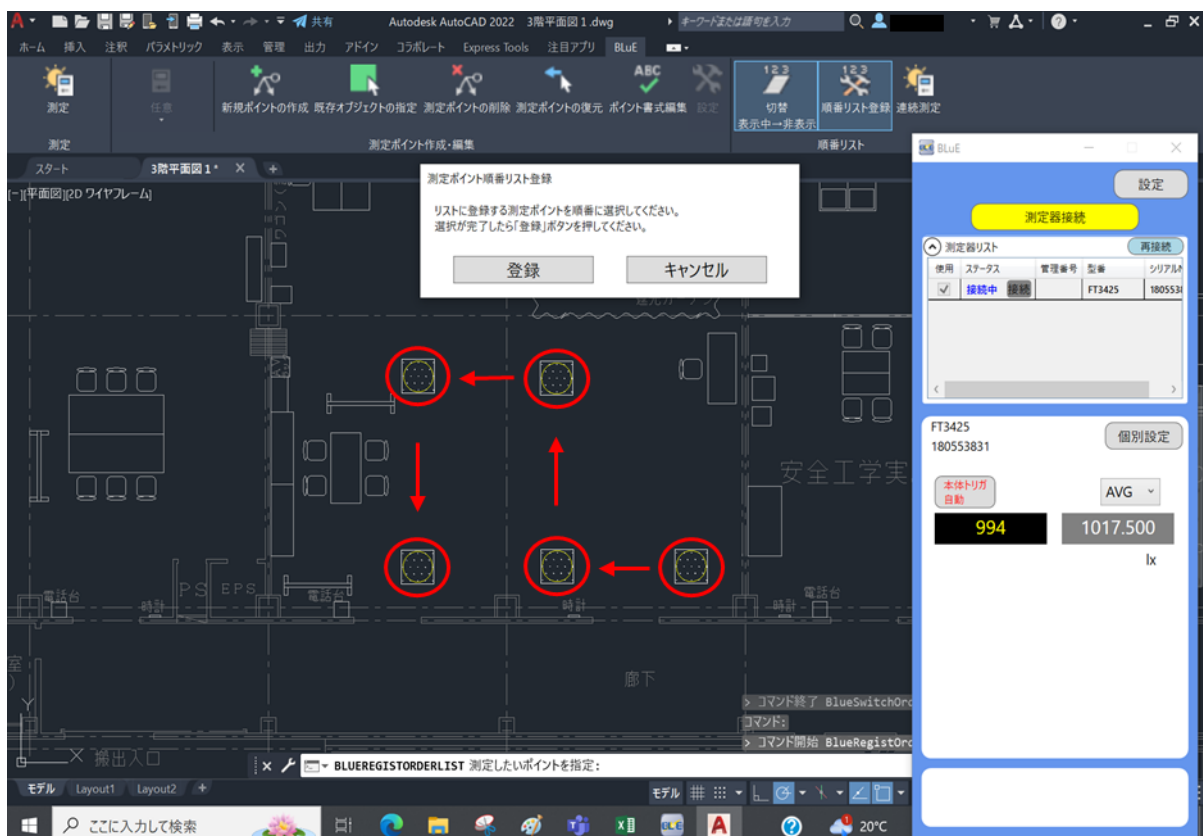


⑩ 測定ポイント番号の変更/登録

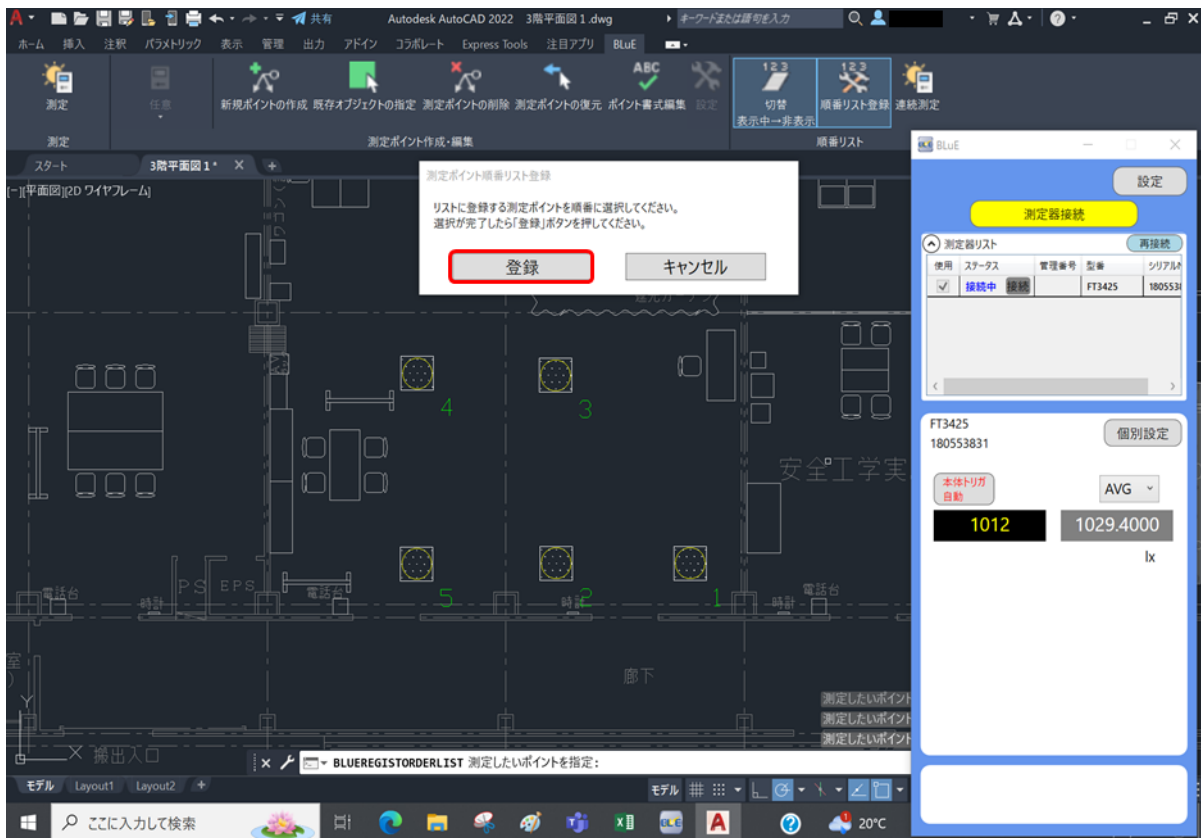
デフォルトは、測定ポイントを作成した順番に自動で番号が付与されますが、任意の順番に振りなおすことが可能です。「順番リスト登録」ボタンを押します。



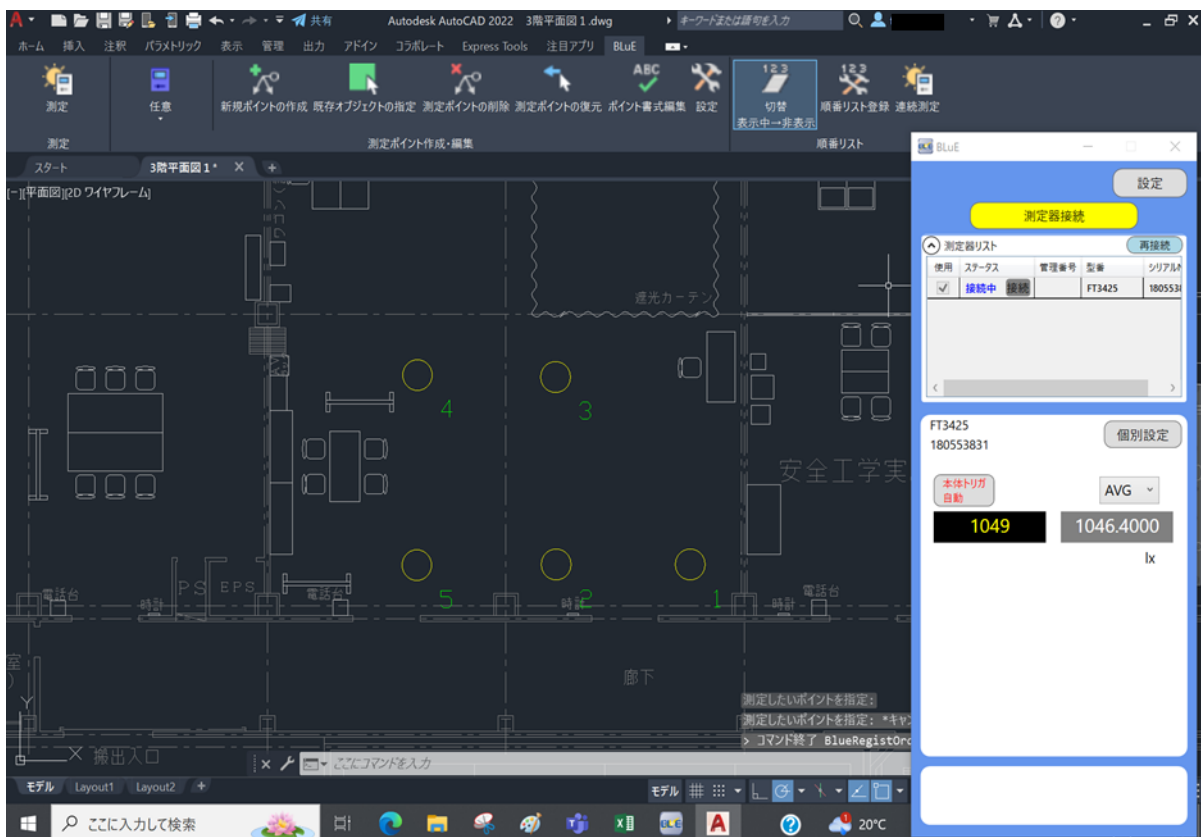
測定する順番に測定ポイントをタップします。



「登録」ボタンを押します。



定義した通りに、順番が振りなおされます。



15 FAQ

システム仕様

- Q. BLuE が前面に表示されていない状態で測定値を出力できますか？
A. BLuE が前面に表示されていない状態で測定値を出力することはできません。

起動/連携する

- Q. 専用アイコンをタップしてもシステムが起動しない。
A. 販売元に連絡してください。

- Q. ライセンス確認画面が出る。
A. ライセンス画面の閉じるボタンを押すと操作が可能になります。
→上記でも改善しない場合は販売元に連絡してください。

- Q. 測定値は表示されているが「→①」ボタンが表示されず測定値をセルに出力できない。
A. BLuE と Excel が連携されていない状態、Excel の BLuE タブに表示されている「測定」ボタンを押して BLuE と Excel を連携させてください。
測定ボタンの表示が「→①EXL」に変わると連携中となり、BLuE にも「→①EXL」ボタンが表示されます。

- Q. 測定器と BLuE for Windows がつながらない。
A. 下記(1)～(6)を順々に実施してください。
(1) Windows のエディションが Windows 10 64bit 版である事を確認してください。
当システムは Windows 10 64bit 版以外のバージョンでは動作しません。
(2) 測定器の電源が ON になっているか確認してください。
(3) PC と測定器を近づけた状態で再度接続を実施してください。
(4) Windows の Bluetooth 設定が ON になっているか確認してください。
(5) エラーが出続ける場合、測定器の電源 OFF/ON、Windows の Bluetooth 設定 OFF/ON を行ってから、再度接続を実施してください。
(6) それでも改善しない場合は、PC を再起動してから、再度接続を実施してください。
→上記でも改善しない場合は販売元に連絡してください。

接続/切断する

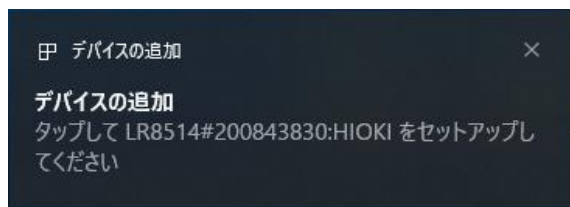
Q. トルクレンチ CEM3-BTS、温湿度計 LR8514、トルクドライバ STC2-BT、圧力計 KDM30、膜厚計 MP0R-FP-BT、バッテリー式トルクドライバ PTA-BT が測定器接続画面に表示されない。

A. 上記の測定器は機器の仕様上、あらかじめ Windows との Bluetooth ペアリングが必要です。Windows の設定画面（Bluetooth とその他のデバイス）でペアリングしてから、接続を試して下さい。

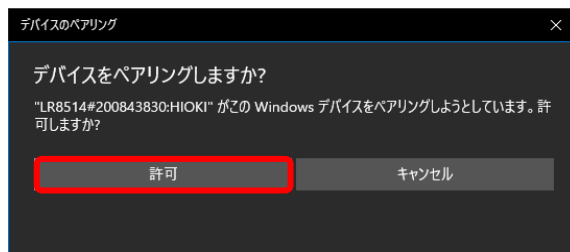
ペアリング方法については、P.13「9.2 測定器のペアリング」

接続方法については、P.26「11.1① 通常の接続」 をそれぞれ参照してください。

Q. 温湿度計 LR8514 のペアリング、接続ができたにもかかわらず、以下メッセージが右下に表示され、接続できない。

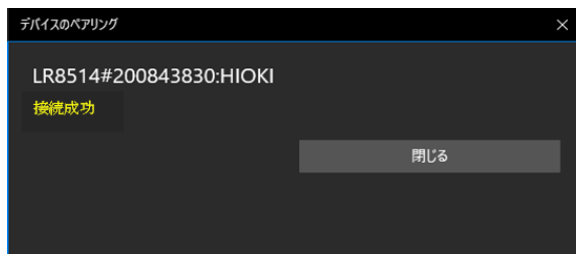


A. 稀にこの事象が発生します。上記メッセージが出た場合、メッセージをタップし、「許可」ボタンを押してください。



成功すると、下記メッセージが出ます。これで対応完了です。

上記手順を行っても解決されない場合は、お問合せください。



測定する

- Q. 「→①」ボタンをクリックしても測定値が出力できない。
- A. Excel 上で図形などのオブジェクトが選択されている状態、またはセルに対して文字の入力待ちになっている状態では測定値が反映されません。オブジェクトの選択をやめセルを選択する、文字の入力を終了しセルを選択する操作をしたのちに再度「→①」ボタンをクリックしてください。
- Q. 測定ポイントに測定値を反映できません。
- A. 測定ポイントが網掛け表示されていること。リボンメニューの「測定」を押下した段階で、該当の測定ポイントが網掛け表示されます。その後、測定値を反映する測定ポイントをピックアップします。
(青色の網掛けに変更)
- A. 測定器が接続されていること。測定画面に切り替っていること。(測定値が表示されていること。)
- A. 測定画面 (BLuE) に切り替わっており、測定値入力ボタン (→①) (グレー色) が表示されていること。

その他

- Q. 測定ポイントを作成したら、サイズが合わない。
- A. リボンメニューの「ポイント書式編集」で、サイズを変更可能です。0.5 倍～20 倍の変更が可能です。
- Q. 測定ポイントを作成したら、色が合わない。(コンセントテスト以外)
- A. リボンメニューの「ポイント書式編集」で、色を変更可能です。赤色、青色、緑色、黄色、水色、紫色、白色、ByLayer の変更が可能です。
- Q. 測定ポイントを作成したが、形状を変更したい。(コンセントテスト以外)
- A. リボンメニューの「ポイント書式編集」で、形状を変更可能です。○、□、△、×、◇の 5 種類の変更が可能です。
- Q. 測定ポイントを作成したが、色が合わない。(コンセントテストの場合)
- A. 「ポイント書式編集」では、色の変更はできません。測定ポイントの状態を表す「測定不可」機能にて色を変更してください。

Q. 測定ポイントを作成したら、形状を変更したい。(コンセントテストの場合)

A. リボンメニューの「ポイント書式編集」で、形状を変更可能です。“2極コンセント(2口)”、“2極コンセント”、“3極コンセント”、“防水コンセント”、“アースターミナル付きコンセント”、“3極コンセント(2口)”、“アースターミナル付きコンセント(2口)”、“引っ掛けコンセント”、“床付けコンセント”、“ジョイントボックス”の10種類の変更が可能です。

Q. 測定ポイントが削除できません。

A. 種別で選択されている測定器と削除しようとしている測定ポイントがあっていないと削除対象となりません。なお、既存オブジェクト指定で測定ポイント化すると、削除レイヤに移動しますが、図形(測定値も)としては表示された状態となります。

Q. 測定ポイントが復元できません。

A. 削除した際、測定ポイントに測定値が反映されていないと復元対象にはなりません。

Q. 測定値を反映すると測定の書式が変更されてしまいます。

A. 測定結果の書式は、リボンメニューの「設定」で保存された書式が優先されます。形状、色、サイズは、「ポイント書式編集」の変更が優先されます。

Q. 複数の AutoCAD (以降 CAD 1、CAD 2 と表記) を起動し、CAD 1 でリボンメニューの「設定」で形状を変更して測定後、CAD 2 で測定すると、CAD 1 で設定したはずの形状ではなく、変更前のままだった。

A. CAD 2 での測定前にリボンメニューの「測定」又は、「ポイント書式編集」、「設定」などを操作することにより CAD 1 の設定が反映されます。また、測定後にリボンメニュー「ポイント書式編集」から測定ポイントの形状などの変更は可能です。

Q. リボンメニューおよび AutoCAD のメニューも押下できない。

A. 図面もしくは、AutoCAD の「閉じる」ボタンを押下してください。表示されたダイアログで「キャンセルボタン」を押下すると元に戻ります。

Q. 測定器の使い方を知りたい。

A. 測定器の説明書をご確認ください。

Q. Excel の基本的な使い方を知りたい。

A. Microsoft のヘルプ、サポートをご確認ください。

Q. AutoCAD の基本的な使い方を知りたい。

A. Autodesk のヘルプ、サポートをご確認ください。

Q. AutoCAD のバージョンで"2020"よりも古いバージョンでも動作しますか。

A. インストールできません。

Q. AutoCAD のバージョンで"2020"よりも新しいバージョンでも動作しますか。

A. AutoCAD2021/2022/2023 用のインストーラーからインストールすることができます。

Q. IES-5000R において、外付け測定器（デジタル照度計 CANA-0010S 型（接続用ケーブル付）を本体に接続していない場合でも BLuEApp(測定画面)上に測定値を表示している。

A. ノンコネクション（機器未接続）の際にノイズ的な測定値を表示する場合がありますので、外付け測定器を本体に接続して照度を測定する場合のみ、測定値を参照してください。

Q. 測定器の「接続」ボタンを押下しても接続されず、「測定エラー」のメッセージが表示される。

A. 測定器の接続自体に問題はありません。

測定器によっては、接続できなかった場合に「測定エラー」のメッセージを表示する場合がありますが、「OK」ボタン押下でメッセージを閉じ、再度「接続」ボタンを押下することで接続は可能です。